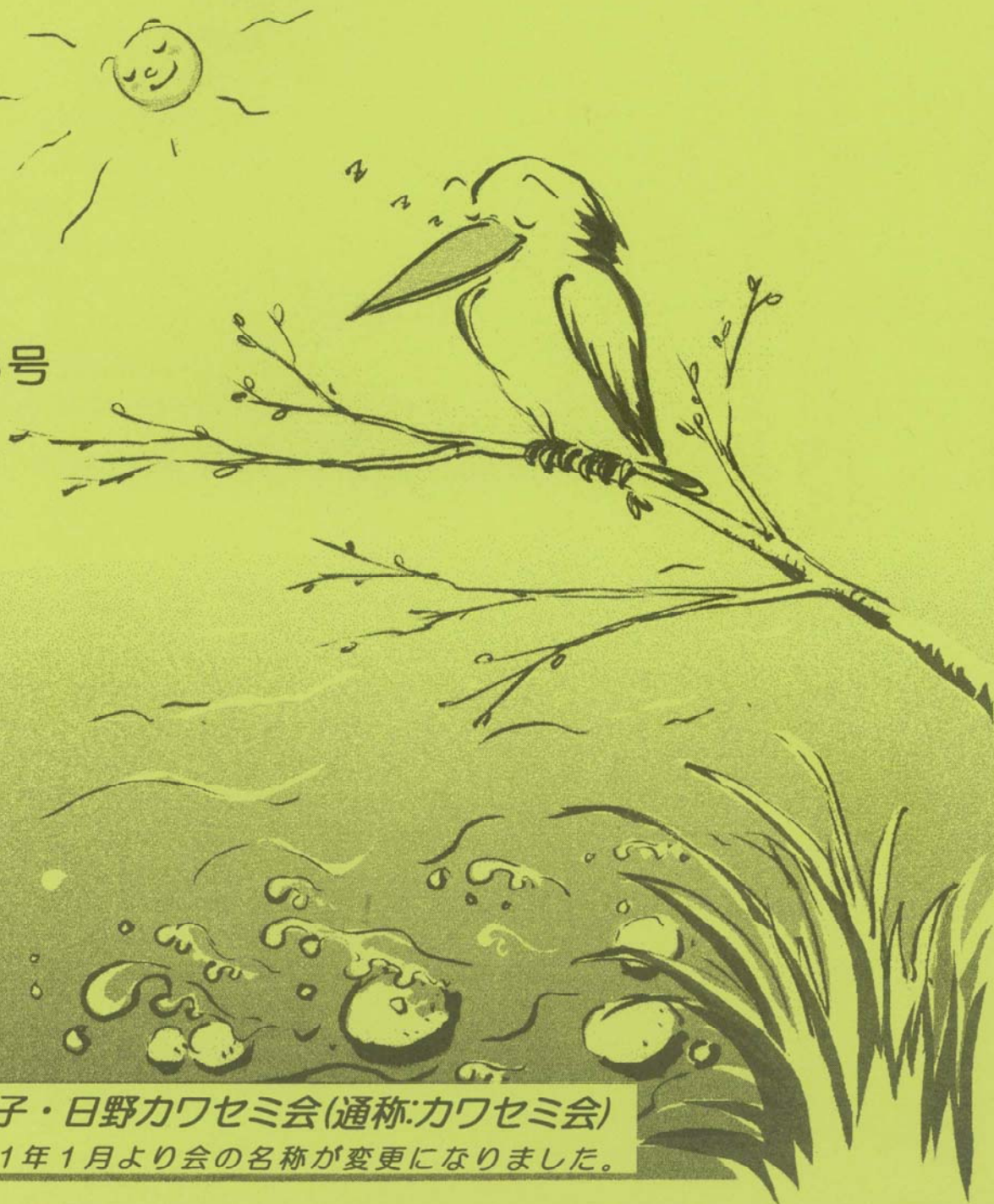


# かわせみ

kawasemi

26号



八王子・日野カワセミ会(通称:カワセミ会)

2001年1月より会の名称が変更になりました。

八王子・日野カワセミ会は  
浅川周辺の野鳥を観察する市民グループです





## 野鳥・風景

「八王子・日野カワセミ会」に名称変更について	・・・ 4
2000年カワセミ会の主な出来事	・・・ 5
2000年 1年間に見た野鳥の種類数	・・・ 6
平成13年定期総会開催される	・・・ 7
住宅地の庭に進出してきたガビチョウ	・・・ 10
安曇野だよりNO12	・・・ 11
板当沢に出現する野鳥	・・・ 12
銚子・茨城探鳥会に参加して	・・・ 14
醍醐川のワラ屋根	・・・ 16
探鳥日誌NO. (富山県海王バードパーク)	・・・ 17
「アホウドリ」を見た、あの瞬間 (3)	・・・ 18
探鳥記録用紙について	・・・ 22
「野鳥の密猟防止対策を求める要望書」の提出及び経過	・・・ 24
探鳥会の記録 (2000年7月～12月)	・・・ 28
鳥信 (主として2000年7月～12月までのもの)	・・・ 41
<b>調査報告</b>	
15周年記念浅川流域冬鳥一斉調査	・・・ 48
多摩川拝島橋下流ツバメ集団ねぐら調査	・・・ 52
ハクセキレイの集団ねぐら (2000年7月～12月)	・・・ 62
ヒメアマツバメの動向 (2000年7月～12月)	・・・ 64
2000年 我が家の庭に来る野鳥調査	・・・ 66
2000年 浅川流域のイワツバメ営巣調査	・・・ 69
2000年 秋のサシバ渡り調査	・・・ 73
2000年 片倉城跡公園の巣箱調査	・・・ 83
2000年 浅川定期カウント記録	・・・ 86

八王子カワセミ会の主な調査範囲



イワヒバリ・一ノ瀬高原・2000年12月(撮影:川上 志)



メジロ・元八王子町・2000年12月(撮影:川上 志)



鳥合わせ風景(撮影:阿江範彦)



片倉巣箱調査の面々(撮影:新田茂)



## 「八王子・日野カワセミ会」に名称変更について

八王子・日野カワセミ会 会長粕谷和夫

八王子カワセミ会は、1985年1月に発足しました。当時、浅川で出会った数人の鳥好きの仲間が中心になりバードウォッチングを始めました。会の名称は水辺の鳥のシンボルとして、また探鳥会のスターとして欠かせない「カワセミ」に会の発祥の地である「八王子」を冠して「八王子カワセミ会」としました。発足当初は数名の小さな家族的な雰囲気ของกลุ่มでしたが、その後会員が増加し、現在では200名近くになるとともに活動領域も八王子市から日野市の全域に拡大してきました。

本会は、①地元の浅川流域及びその周辺で毎月探鳥会を実施することを基本活動としながら、②浅川流域やその周辺の野鳥の生息状況を調査・記録するとともに、③浅川流域やその周辺で野鳥が安心して住める環境を作ることに協力する活動を行っています。

このように本会の活動領域（フィールド）は浅川流域及び谷地川、程久保川、大栗川であり、行政的には八王子市及び日野市であります。現在の会の名称は「活動領域の全てをカバーしていない」ので、八王子市内だけを活動領域としている会のような誤解を与えています。そこで平成13年の総会で今後の名称を「八王子・日野カワセミ会（通称カワセミ会）」に変更し、活動領域と会の名称を一致させることが提案され、全会一致で名称変更が決定されました。

今回の名称変更は「八王子カワセミ会」と定着してきた会の名称を大きく変えることなく、活動領域の一部である「日野」を加えたものです。これを機会に八王子市、日野市を代表し得る自然保護団体の一つとして認知され活動を今まで以上に展開し、浅川流域、谷地川流域、程久保川流域、大栗川流域と流域ごとに自然環境を考える市民団体として成長することを目指そうではありませんか。

## 2000年カワセミ会の主な出来事

### 野鳥の密猟対策を求める要望書を提出

平成12年10月26日、当会会長名及び当会推薦の東京都みどりの推進委員連名で八王子市長、高尾・八王子両警察署長及び東京都知事宛に要望書を提出、翌日の読売新聞多摩版にも取り上げられた。

### ホームページ開設準備

会員有志の提案、協力により当会の活動を広報するためのHPの開設準備を進め、平成13年からの本格的な立ち上げに向けて試行的にオープンした。

### 浅川堤防バードウォッチングウォークラリー

当会の15周年記念事業の一つとして、3月12日浅川の大和田橋～滝合橋で実施したが、天候不順（雨と寒風）により参加者は40名にとどまった。

### 木彫り教室開催

7月8日に由木市民センターで鈴木章七幹事が講師となり、野鳥の木彫り教室を開催した。

### 冬鳥一斉探鳥、ヤマザクラ補植

当会の15周年記念事業の一つとして、12月3日に八王子市・日野市域を5ブロックに分け、冬鳥の一斉調査をした。また10周年記念に小田野中央公園に植樹したヤマザクラの内、枯れた2本を補植した。

### ツバメねぐら予備調査、ツバメ巣調査実施に向けての検討

多摩川の平塚（八王子市平町）周辺に形成されるツバメの集団ねぐらの予備調査を6月～8月の土日の夕方を中心に実施した。

2001年から八王子・日野市全域を対象にツバメの巣の全数調査を行うための資料収集や実施に向けての検討を幹事会・実行委員会を中心に行った。

### 小学校その他からの支援要請

1月30日・小宮公園、2月26日・上川口小学校PTA、4月8日・宇津貫緑の会篠刈&探鳥、6月4日・八王子市環境フェスティバル、10月28日・八王子市水辺の環境教室、11月1日・日野市平山小学校、11月14日・日本野鳥の会 WING 小学生、11月19日・恩方育成園等で探鳥指導や野鳥の展示等を通じ要請に応えた。

### ゴミ拾い&探鳥会

例年実施しているゴミ拾い&探鳥会は4月9日浅川・松枝橋～小田野中央公園、6月4日環境フェスティバル時に浅川・大和田橋～鶴巻橋で実施した。

### 会長の全国集会での報告、バーダー・読売新聞掲載

8月26日～27日長野県奈川村で開催された「タカの渡り全国集会 in 信州2000」粕谷会長が八王子のサシバの渡り調査概要を報告するとともに翌日の分科会でパネリストに加わった。文一総合出版発行の月刊誌「バーダー」10月号に粕谷会長が投稿した「上空のサシバは何処まで見通せるか」が掲載された。11月23日付け読売新聞多摩版の「多摩川を歩く」シリーズ29に粕谷会長とカワセミ会の活動が掲載された。

## 2000年 1年間に見た野鳥の種類数

出典：鳥友会誌 取りまとめ：粕谷和夫

16名の会員から報告がありました。200種以上見たという人が6名（前年は7名）いました。井手龍世会員からは、「毎年見ていたカッコウ、ヤマセミ、ミソサザイ、ルリビタキ、バリケンを今年は遂に見ることが出来ませんでした。淋しい限りです。」とコメントがありました。今井達郎会員からは、「今年も対馬、道東探鳥会等遠出探鳥会参加により種類が増えた。」、大川征治会員からは、「本人にとっての初認が54種でした。」、千葉槇子会員からは、「はじめて見た鳥は、マガン、コアオアシシギ、ベスト3はカワガラス（小仏川）、キビタキ♂（城山手の林）、アオバト2羽（城山手の林、今までも声は聴いていたが、はじめて姿を見た）」、山崎悠一会員からは、「対馬の鳥たち、道東の鳥たち」が印象に残った」、山崎久美子会員からは、「エトビリカ、ヤマショウビン、キアオジ、シラガホオジロ、タマシギを見ました」というようなコメントがありました。

### 1年間に見た日本の野鳥の種類数

報告のあった会員名	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	
	種類数	種類数	種類数	種類数	種類数	種類数	種類数	種類数	(回数)
青木繁昌					210	197	236	173	(56)
井手龍世			102	97	94	96	98	101	(32)
今井達郎	167	166	144	203	183	166	158	174	(34)
大川征治			118	166	173	181	204	244	
大関 豊	183	150	171	165	195	169	129	132	(111)
粕谷和夫	163	164	169	181	203	178	215	170	(79)
木村信幸						105	123	99	(10)
倉本修						229	271	248	
佐伯直寛						156	228	186	(23)
千葉槇子				88	121	81	122	98	(24)
新田茂					141	156		138	(65)
平井豊						32		34	(20)
丸山二三夫			88	134	167	160	134	225	(126)
山崎悠一	153	172	197	228	208	218	213	228	(89)
山崎久美子	145	161	194	203		177	190	208	(74)
柚木育子	180	185	195	205	186	196	200	228	



## 第13回定期総会開催される

阿江範彦

平成13年1月14日(月)八王子労政会館で第13回定期総会が、55名の参加のもとに開催されました。

平成12年の事業報告、会計報告。そして平成13年の事業計画案、会計予算案が審議され、いずれも提案とおりに可決されました。特に平成13年の事業計画には、従来の探鳥会、各種調査の実施に加えツバメの営巣調査が予定されています。

この調査は、会結成20周年記念事業で発表する予定です。調査は、平成13年から3年間、とりまとめに1年間を予定しています。調査方法もこれまでの会員中心に加え市民参加の2本立てで計画されています。会員の方々には、積極的な参加をお願いします。

さらに、会のホームページの開設について報告があり、登坂久雄さんが担当幹事として新たに選任されました。平成13年の幹事は19名となります。

また、会の名称を、八王子カワセミ会から八王子・日野カワセミ会(通称カワセミ会)に改正する議案が提示され可決されました。

当日の午前に実施した恒例の冬鳥一斉カウントの結果は、65種、13,046羽の野鳥(ドバト等含む)を82名の参加のもと数え上げました。

昨年と比較して、種類数でマイナス4種、総数でマイナス609羽となります。確認された種類数は、調査19個所の平均で32種。一番多くの種類が確認されたのは浅川下流の一番橋から万願寺歩道橋の間で47種(昨年もこの区間が45種)で最高でした。

1羽しか確認できなかった野鳥として、ゴイサギ、アオゲラ、アカゲラなど5種。一番多く確認できた野鳥がスズメの3,301羽で全体の1/4に相当します。その他、大和田橋から長沼橋間でオオアカハラが、一番橋から満願寺歩道橋までの間でオオセグロカモメの報告がありました。

オオタカは5羽(昨年8羽)、カワセミは32羽(昨年33羽)でした。各区域ごとの内訳は以下のとおりです。詳細は、27号で報告の予定です。調査参加人数の82名は1997年の82名と共に最多でした

平成13探鳥会の予定

1月	7(日)	多摩川(日野駅⇒小宮駅)
	14(日)	浅川流域冬鳥一斉調査
	27(土)	渡良瀬
	28(日)	{小宮公園探鳥会支援}
2月	6(火)	高尾・森林化学園(桜公園)
	10(土)	{上川口小学校探鳥会支援}
	10(土)~11(日)	銚子
	18(日)	月例:北浅川(陵北大橋⇒松枝橋)
3月	24(土)	南高尾(梅ノ木平⇒城山湖)
	8(木)	長沼橋⇒長沼公園
	11(日)	公開:浅川(ふれあい橋⇒南平駅)
	25(日)	軽井沢
4月	4(水)	葛西臨海公園
	7(土)	宇津貫(篠刈り探鳥会)
	15(日午前)	公開:浅川(一番橋⇒長沼橋)
	15(日午後)	公開:ツバメ公園会
5月	22(日)	平山城址公園探鳥会
	13(日)	公開:小下沢(オオルリを探す会)
	19(土早朝)	高尾探鳥会
	19(土午後)	{四季の会探鳥会支援}
6月	3(日)	公開:浅川(大和田橋⇒鶴巻橋)
	3(日)	{八王子環境フェスタ探鳥会支援}
	9(土)~10(日)	奥日光
7月	8(日)	月例:高尾山
	20(金)~22(日)	夏山
8月	12(日)	月例:多摩川(小宮駅⇒平堰・燕遊)
	19(日)	瑞牆山麓
9月	2(日)	谷津干潟
	9(日)	月例:浅川(長沼橋⇒小和田橋)
	30(日)	陣場山(サシバ)
10月	6(土)~7(日)	伊良湖
	14(日)	月例:浅川(多摩川合流⇒ふれあい橋)
11月	11(日)	月例:浅川(松枝橋⇒陵北大橋)
	11(日)	{恩方育成園支援探鳥会}
	22(木)	彩湖(埼玉)
	23(金)~25(日)	沖縄
12月	5(水)	小宮公園
	9(日)	月例:浅川(一番橋~長沼橋)
	31(月)	大晦日探鳥会

注1 これは、予定であり、最終的には幹事会で具体的な内容を検討の上決定しますので変更も有り得ます。事前に連絡される事務局からの案内にご注意下さい。

注2 {}内は他団体主催の支援で、原則として幹事対応とします。

13年冬鳥一斉調査結果

調査区域		延長 (Km)	総数 (羽)	種類数 (種)	参加者 (人)
北浅川	大沢橋～陵北大橋	3.3	721	36	8
	陵北大橋～松枝橋	2.7	860	39	5
浅川本流	松枝橋～鶴巻橋	2.1	368	33	1
	鶴巻橋～大和田橋	3.1	1,751	36	6
	大和田橋～長沼橋	2.7	969	35	3
	長沼橋～一番橋	3.5	855	37	7
	一番橋～ふれあい橋	2.1	1,126	47	4
	ふれあい橋～合流部	2.3	375	33	4
川口川	川口橋～明治橋	3.1	576	27	7
	明治橋～合流部	3.8	588	27	6
南浅川	案内橋～敷島橋	3.3	316	23	5
	敷島橋～合流部	4.2	731	30	3
城山川	月夜峰新橋～合流部	2.7	620	27	4
山田川	山田橋～合流部	4.5	567	29	3
湯殿川	白旗橋～時田橋	2.3	654	32	5
	時田橋～合流部	3.8	361	22	4
程久保川	小宮橋～合流部	2.9	352	26	1
谷地川	月見橋～左入橋	3.2	809	26	4
	左入橋～合流部	4.1	447	34	2
合 計		59.7 (Km)	13,046	65	82





## 住宅地の庭に進出してきたガビチョウ

取りまとめ及び報告先：粕谷和夫

浅川流域へのガビチョウの侵入経緯は、会報「かわせみ・2000年冬号(第24号)」に掲載されています。この鳥は独特の大きな声で良く鳴きますが、警戒心が強く手入れの悪い雑木林の藪の中や見通しの悪い林の中のような所を好んで生息しています。このように用心深い鳥ですが、ここ数年來の数の増加とともに、遂に住宅地の庭にも進出してきました。特に2000年になって庭への進出が目立ちます。以下報告のあった事例を掲げます。外来種の分布拡大経過の記録は貴重ですので、今後もこのような観察例を報告願います

(住宅地の庭に進出したガビチョウの観察例)

96.05/23 声	八王子市川町、住宅地	今井達郎	拝島2A
98.08/13 声	散田町・自宅から	木村晴美	八王子5H
98.08/15 1羽	散田町・自宅前の家の庭の梅の木のとっぺんで鳴いていた。	木村晴美	八王子5H
00.02/10 1羽	住宅の庭、中野山王2丁目、2/10我が家の庭に来た。	佐伯直寛	拝島6A
00.04/05 20羽	自宅前の篠竹の林に住み着いている20羽ほどのガビチョウは、春と共に、あるいは数の威なのかなかなか大胆になってきました。今朝はついに庭にまで進出です。隣の家の庭に飛び込むのは何度か目撃しましたが、猫の額ほどの庭までとは驚きです。	清水盛道	拝島0A
00.04/09 声	自宅からガビチョウの声を聞くのは始めてです。かなり住宅地にも進出してきているようです。	大川征治 ・香	拝島8A
00.05/24 1羽	高尾町1532-2・自宅庭のサルスベリの木でさえずり、採餌	福本順吉	八王子2G
00.05~ 06 1羽	住宅の庭、宇津木町923。5月中旬から6月中旬の間3、4日ほど我が家の庭に姿を見せておりました。ヒマワリの種を頭を上下しながら割って食べている様子の写真を撮影しました。	森賀玲子	拝島8B
00.07/09 3羽	元八王子3丁目。霞ヶ丘住宅内。隣接には妙観寺の雑木林(一部墓地)がある。2~3羽の群で囀っている姿を見た。	川上憲	八王子2H
00.07/12 1羽	自宅の庭の竹に止まり直ぐ飛び立つ	杉森ユリ	拝島4B
00.07/19 1羽	自宅前方50mくらい離れた広場の植え込みで囀る。こんな住宅地にも現れるんですね	大川征治	八王子8K
00.08/21 1羽	八王子市石川町自宅前。何とガビチョウの声。自宅前のケヤキとコナラ?の木の高いところを忙しく枝渡り。葉に着いている虫を捕っているようだ。緑は多いものの、ついに住宅地にまで出現した。	神谷古牧	立川0B
00.11/11 1羽	高尾町1799番地・住宅地の庭(京王線高尾山口手前のトンネル付近の甲州街道沿いの家の庭。植木に止まり、囀っていた)	粕谷和夫	八王子1F
00.11/21 2羽	元八王子・自宅庭植え込み内、ガラス窓越しに見ると正しくガビチョウ2羽が植え込み下で何かを採餌していた。翌11月22午後3時頃、北側隣家の庭にガビチョウ3羽が採餌していた。低い所を移動しながら何かを採餌、高尾台住宅東公園へ飛び去った。	川上憲	八王子2H

## 安曇野だより No.12

大関 豊

### 1. 近づく遭遇

野生の生き物で出くわしたくないものがいて、私のなかではその代表が熊ということは以前この「安曇野だより」にも掲載しましたが、じつは過去に二度、自然の熊さんに会っています。というより、見えています。

最初は立山の鳥類調査での移動中のことでした。早朝でしたが、前方の林道脇のやぶで黒い物体が動くのを目撃し、近づいた時はもう姿がなく消え去っていましたが、車の中でよかったなあ…というのが実感で、出会った感激とかはありませんでした。

二度目は長野県との県境に近い愛知県の山中で、クマタカの調査をしている時でした。プロミナーで何気なく対山を見ていたところ、疎林の斜面をころがるようなスピードでクマさんが走り去って行きました。そういえば、その前からパンパンと時々、車のパンクのような音がしていましたが、改めて考えると熊の目撃と照らし合わせれば、それは猟銃の音で、おそらく追い立てられていたものと推測しました。おもわず自分のまわりの山林を見渡し、此処に出てきたらどうしようと考えた事がありました。

人の話でしか係わっていなかった野生のクマさん、しかも人生のもう後半も過ぎ、残りの人生も出くわすはずがない、と思っていただけに、たった一、二年で二度も目撃する経験をするとはまさに「塞翁が馬」で人生とは分らないものだと感じます。

以前、この「安曇野だより」でも触れたように穂高町では過去に何度となく熊の出没があり、自宅近くでもありました。それでも距離的には、まだまだ遠く、一番近かったもので500m、しかも川を挟んでいましたので、対岸の火事と思っていました。が、昨年八月、ついに目と鼻の先に出没しました。私たちの地区のゴミステーションに現れたのであります。距離にして150mほどでしょうか、自宅とは同じ道路で、そのまま下りてくれば五軒目が私の家であります。まかり間違えば私が遭遇してもおかしくない所です。

後で知ったことですが、近くの別荘の裏屋根に蜂の巣があり、それを狙ってクマが入り込み、そうこうしているうちに天井が抜け、慌てふためいたクマは窓ガラスを割って逃げたそうです。クマもびっくり、人間もびっくりで、慌てふためくクマさんの様子が目に浮かんで可笑しくもありますが、自分では経験したくないことで、人の話しとして聞き手のままでいたいと思います。

## 板当沢に出現する野鳥

粕谷和夫

### 1. はじめに

板当沢は、八王子市を東西に流れる浅川の支流、北浅川に流入する小さな流れの一つで、八王子市内をはしる国道20号の追分け交差点から「夕焼け小やけ」の童謡が生まれた陣場街道を約9kmたどった所にある。北浅川分岐点の海拔が209m、ここから幅約3mの林道が沢沿いに1.8km続き、林道の終着点が海拔330m、標高差121mのゆったりした上りである。関東山地の最南端にあたるこのあたりは、地質は小仏層の粘板岩が中心で、幼年期の山は急峻、沢筋の浸食は激しい。

沢の両岸は、スギ・ヒノキの人工林が多く、林道沿いにはケヤキ・イタヤカエデ・クリ・クルミ・コナラ・アブラチャン・イヌシデ・コクスギ・クヌギ等の落葉樹も茂り、植林されたメタセコイヤの大木も20本程度そそり立っている。四季折々の野草が林道の路肩を優しく飾り、ヤマメ釣りや、サワガニ取り、キノコ狩り、犬の散歩等訪れる人も多く、開かれた環境である。

この林道沿いに陸産のホタルがたくさん棲息している。発生数の多い順にあげてみるとオバポタル・ムネクリイロポタル・クロマドポタル・オオオバポタル・カタモンミナミポタル・ヒメポタル。沢筋には分岐点から1500m地点までゲンジポタルが少ないながらも棲息している。東京都下に棲息するホタルは、現在9種が確認されているが、そのうち7種をここ板当沢で見ることができる(以上、板当沢ホタル調査団報告第1集、2000年4月)。

筆者は板当沢ホタル調査団の一員として野鳥の調査を担当した。1998年12月から2000年12月まで、毎月1回、計25回、野鳥の調査を行った。毎回、朝(主として早朝)、調査地(1800m)の林道をゆっくりした速度で歩き、林道の両側それぞれ50m程度の範囲に現れる全ての野鳥を種類別にカウントした。調査に要した道具は双眼鏡だけで、視認したもの及び野鳥の声だけでも聞き分けできるものをカウント対象とした。調査スタート地点は、北浅川本流の板当橋とし、橋の上から見て上流、下流約50m範囲内に出現する北浅川本流の野鳥もカウント対象とした。スタート地点から1800m地点までの調査区間を往復し、カウント対象は基本的には往き(登り)に出現したものとし、帰りは往きの調査時に出なかった種や出た種でも明らかに別な個体や集団と思われるものは加算対象とした。調査時に上空通過のものも加算対象とした。調査は全て粕谷一人で行ったもので、見落としがあることは前提としているが、少なくともカウントしたものは、調査時にそこにいたという精度のものである。なお、野鳥の繁殖調査は実施していない。以下、25月分の結果概要を報告する。



## 2. 50種を記録

1999年に44種、2000年に37種が記録され、全体では50種となった。50種を出現率（1998年12月から2000年12まで25回調査の内、出現した割合）で区分したのが次表である。この場所で81%以上の出現率となった普通種と思われる野鳥は9種、逆に20%以下の稀にしか出現しなかった野鳥は30種で全体の半分以上を占めた。なお、ガビチョウの出現率が高いことが注目される。また人里の鳥スズメが低いのはこの場所には人家がないことによるものである。

（板当林道に出現した野鳥の出現区分）

出現率	種名	種数	割合
81%以上	コゲラ、ヒヨドリ、ウグイス、ヤガラ、ジヨウカ、メジロ、ホソメ、バブトガラス、ガビチョウ	9	18%
51～80	キジバト、キセキレイ、ミソサザイ、エガ、アオジ、カス	6	12
21～50	ルビタキ、クロツグミ、ヤサメ、ヒガラ、カワレワ	5	10
20%以下	アオサギ、カガモトビ、オオカ、コジュケイ、キジ、アオバト、ホトキス、カゼ、アケラ、アカゲラ、ツバメ、セウロセキレイ、モズ、カガラス、ジョウビタキ、トラツグミ、シロハラ、セダ、イムシクイ、キイタダキ、オオルリ、キタキ、サンコウチョウ、コガラ、カワラカ、クロジ、イカル、シメ、スズメ、バボソガラス	30	60
計		50	100

50種を留鳥、夏鳥、冬鳥等で区分したのが次表である。留鳥が圧倒的に多く、64%を占めたが、夏鳥、冬鳥もそれぞれ8種出現した。

（板当林道に出現した野鳥の区分）

区分	種名	種数	割合
留鳥	アオサギ、カガモトビ、オオカ、コジュケイ、キジ、キジバト、アオバト、カゼ、アケラ、アカゲラ、コゲラ、キセキレイ、セウロセキレイ、ヒヨドリ、カガラス、ミソサザイ、トラツグミ、ウグイス、エガ、ヒガラ、ヤガラ、ジヨウカ、メジロ、ホソメ、カワレワ、イカル、スズメ、カス、バボソガラス、バブトガラス、ガビチョウ	32	64%
夏鳥	ホトキス、ツバメ、クロツグミ、ヤサメ、セダ、イムシクイ、オオルリ、キタキ、サンコウチョウ	8	16
冬鳥	ルビタキ、ジョウビタキ、シロハラ、キイタダキ、コガラ、カワラカ、クロジ、シメ	8	16
漂鳥	モズ、アオジ	2	4
旅鳥		0	0
計		50	100

## 3. まとめ

50種が多いか、少ないか一概に判断できないが、1800mという短い区間であること、月1回で2年間という調査回数が少ないという条件を勘案すれば、比較的多くの種類が出たのではないと思われる。また、内容的にもトビ、オオタカのワシタカ類2種、サンコウチョウ、オオルリ、キビタキを含む夏鳥が8種、ルリビタキ、シロハラ、クロジを含む冬鳥が8種出ていること、留鳥の中にアオバト、アカゲラ、トラツグミ等希少種的なものが含まれていること等は特筆される。このことから、この場所が、多種類の野鳥の生息に適した比較的多様性に富んだ自然環境を維持しているのではないと思われる。その理由は、調査地が溪流沿いであり、その兩岸や林道に接した部分に雑木林的な要素や渓谷自然林が残り、低木類や多くの草本類も混じり、また、実生木も多いことによるものと考えられる。なお、この他にホタル調査団長の小俣軍平氏がフクロウ及びヨタカを夜間ホタルの調査中に観察したことを追記する。

## 銚子・茨城探鳥会に参加して

佐伯 直寛

立春も過ぎたが、まだまだ厳しい寒さの早朝、有志19名にて出発。多くの水鳥が観察できる思いを描き、霞ヶ浦、銚子に向かう、途中真赤な太陽の昇る美しい姿を見て、天候も我々に見方、これは期待出来ると確信した。北浦には、オオホシハジロが飛来しているとの情報により向かったが、私たちが迎えてくれたのは、コブハクチョウ、オオハクチョウと多くのホシハジロ、キンクロハジロの群れであり、この中の1羽が期待のオオハシハジロとの事であった。早速探索したが、未熟者の私には嘴が長く、先端近く銀の色が無いものを探するのは至難の技であり、やはり経験豊富な先輩がオオハシハジロを確認し、私もホシハジロとの違いをはっきり見極め、その姿を観察することができた。

神の池は人工池であるが、とても広くカモ類が飛来するのに最適な環境と思われる。トモエガモ、ヨシガモ等の群れに出会い、大部分のカモ類の姿を観察することが出来、満たされたひとときであった。

今回のメインイベントの銚子港では、防波堤にカモメ、ウミウ、カワウ等の休息している姿を確認できたが、この機会に先輩に見分ける方法を教示頂き、カモメに対する今まで以上の目的意識をもって観察し、ワシカモメ、シロカモメ、若鳥、成長等の深さを知り有意義に過ごすことが出来た。

次の屏風ヶ浦に向かう途中、岩山にシノリガモの姿が美しく、素晴らしい光景だった。屏風ヶ浦で夕日の沈む海を眺め、改めて地球の丸さを感じながら沖合いに浮かぶクロガモの群れを観察できた。翌日の早朝探鳥では、海に浮かぶ岩にウミウ、ヒメウの群れを、近くではアカエリカイツブリ、カンムリカイツブリが観察出来た。

二日目、再度銚子港に行き、さらにカモメの探鳥に興味を覚えた。また波崎では、日本で見られる5種のカイツブリに加えて、ミヤコドリが近距離からじっくりと観察でき満足できた。

浮島では、広大な葦原の中にチュウヒ、ノスリが悠然と飛び姿に感動した。成田インターに向かう途中、江戸崎入干拓地にオオヒシクイを求め立ち寄ったが当日の午後0時10分頃霞ヶ浦に飛び立ったあとで大変残念・・・次回に期待する。

今回の探鳥会は、73種の多くに鳥たちに会えたことに大変満足出来ました。これは一重に門口さんを始め先輩方の数々の教示とご支援の賜物と心から感謝いたします。

	北浦	神ノ池	鏡子港	屏風ヶ浦	行島周辺	波崎	浮島	江戸崎
カイツブリ	○	○						
カンムリカイツブリ		○	○		○	◎		
アカエリカイツブリ			○		◎	○		
ミミカイツブリ			○			○		
カジロカイツブリ						○		
カワウ	○	○	○		○		○	
ウミウ	○	○	○		○			
ヒメウ			○		○			
コサギ			○					
アオサギ			○					
マゴモ	○	○				○		
カルガモ	○	○						
コガモ	○	○						
オカヨシガモ		○						
ヒドリガモ		○		○				
オナガガモ	○	○						
ハシビロガモ		○						
ヨシガモ		○						
トモエガモ		◎						
スズガモ	○	○				○		
クロガモ				◎				
キンキロハジロ	○	○						
ホシハジロ	○	○				○		
シノリガモ			◎	○				
オオハシハジロ	◎							
ホオジロガモ		○				○		
ミコアイサ		○						
トビ			○	○			○	
チュウヒ							○	
ミサゴ							◎	
ハイイロチュウヒ								○
ノスリ								○
ヤマドリ				○				
バン	○							
オオバン	○	○						○
ミヤコドリ						◎		
イソシギ				○				
タシギ								◎
ユリカモメ	○		○			○		
セグロカモメ	○		○		○	○		
オオセグロカモメ			○		○	○		
ワシカモメ			○			○		
シロカモメ			◎			○		
カモメ	○		○		○	○		
ミツユビカモメ			○			○		
ウミネコ			○		○	○		
キジバト	○			○	○	○		○
カワセミ			○					
ヒバリ							○	
ハクセイキレイ			○	○	○			
セグロセキレイ			○	○	○			
タヒバリ	○							
ヒヨドリ		○	○	○	○		○	
モズ					○			
ジョウビタキ				○				
アカハラ		○						
ツグミ	○	○		○	○		○	
ウグイス				○	○			
イソヒヨドリ				○		○		
メジロ				○	○	○		
ホオジロ				○	○			
アオジ					○			
オオジュリン							○	
コジュリン							○	
カワラヒワ				○	○		○	
スズメ		○	○	○	○	○		○
ムクドリ		○	○	○	○	○		○
ハシボソガラス			○	○	○	○		○
ハシブトガラス		○	○	○	○	○		○
ドバト	○	○	○	○	○	○		○
アヒル								○
コブハクチョウ	○							
オオハクチョウ	○							

73種 : ◎ベスト

## 醍醐川のワラ屋根

小沢 芳治

遠い昔歩いた丘陵、溪谷などが再三、バードウォッチングのコースに紹介されると、懐旧の念やみがたく、元気で歩ける頃はその日が待ち遠しかった。たってみると50年の歳月は恐ろしいもので、所によっては跡形もなく消えていた。1996年9月29日、小仏峠のサシバ観察の折、1955年（S30年）4月から41年ぶりまで小仏路を辿った。嘗てケーブル・カーで登り、見晴台を経て、小仏峠を下るのが毎回のコースで、1935年（昭和10年）4月このハイキングコースが整備された時、始めて城山を訪れた。峠から九十九折りの山道を下り、小仏トンネルの上を過ぎて、最初に出あう2軒の農家、竹垣沿いの道近くへ来ると思わずも溜息がもれた。当時はまだまだ浅川（高尾）駅まで、汗にまみれ、ほうけたツラでテクった。高速道路工事でどこがどう変わったのか、昔の記憶も、うすれ、当日は往復共バスを利用したので肝心の農家は見落とした。NHKのテレビで筑波で夏を過ごすサシバの生態をみていた。当日は、さぞかし小仏上空をとび去るサシバの大群に感嘆の声をあげるものと期待した。あにはからんサシバ2、クマタカ1、頭上を舞いしのみ。疲れた脚を引きずる下り坂はつらかった。

1948年（昭和23年）5月2日夏時間が始まった年、五日市戸倉の部落へ下り急峻な一筋道を一挙に500mの陵線まで登り、和田峠へ向かって歩き出す。戦時中手入れが届かず、苅寄山（9時、夏時間）の西斜面は杉林で薄暗くあれ放題の、木の下道を辿って行くと前方に突然褐色の塊がうきあがった。一瞬身がまえる。野兎がワナにかかっていた。半日歩き、この先で始めて獺師姿の老人に出あう。一人歩きの私の返事に驚いていた。戦場で鍛えた脚力も空腹ですっかりへたばり、目標をかえ醍醐川（14時30分夏時間）へ下りた。人里へ入り、どこかで見た二軒並びのワラ屋根の農家が50年後の今もハッキリ覚えていた。予定表では1998年7月12日が探鳥会と知り、その日のくるのを心待ちにした。

あいにく集合時間頃小雨で視界不良、関場周辺何一つ覚えていなかった。もやに包まれた行く手に何が現れるか、宝探しの思いでひたすら歩く。家並もつきた最奥右手一段高い所に一軒ワラ屋根が残っていた。おそらく山を下り、最初に眼にして人心地を取り戻したのはこのワラ屋根であつたらう。参加のつど新しいトリの名前をリストにふやしてきた。

今回はカワガラスをねらったが、むなしかった。



## 探鳥日誌No.6 (富山県：海王バードパーク)

(8) 阿江範彦

海王バードパークは、富山新港西側に位置します。観察舎1棟の他、観察小屋2棟、観察壁4ヶ所を有する面積4.6haの臨海野鳥園です。

JR高岡駅から万葉線で約40分海王丸駅下車、軌道と直角に交わる道路を左側に直進すること5分で海王丸パーク入口につきます。バードパークは海王丸パークの西(左)側になります。海王バードパークは、日本海側における渡りのコース上に位置することから、平成8年11月の開園以来、既に130種を超える野鳥が記録されています。

当日は、2月にしては温暖な気候で行き交う人も無く、貸し切り状態のバードウォッチングでした。野鳥園上空には、20数羽のトビが鷹柱を形成し、観察舎からはアオサギ、ハシビロガモ、オオバンなど17種の野鳥を観察することができました。観察舎のガラスには暗褐色のシールが貼ってあります。このためか、鳥たちは人の気配を気にすることなく自然な行動を備え付けのスコープで手に取るように観察ができました。

少し歩いては立ち止るタゲリは、片足を小刻みに震わせ、あたかも医者が患者を指で打診するかのごとく地面を調べ虫の所在を探っているようでした。たまに首を傾げる動作がおもしろく、なかなか思うように食事に有りつけないようでした。ハシビロガモは、観察舎周辺を幾度となく旋回し白色の胸が良く観察できました。ちょっとした寄り道には、最適な野鳥園でした。



## 「アホウドリ」を見た、あの瞬間。(3)

倉本 修

夜明けと共にデッキに立つ。光のしみこんだ深い青が、どこまでも広がっている。圧倒的な量感をたたえた海水が、荒々しくうねり、刺すような冷たい海風が顔を叩く。海の臭いに全身が包みこまれてゆく。突然「水の惑星」という言葉が頭に浮かび、文字でしか知らなかったその正体に、始めて五感が触れている新しい感覚が起こってきた。この惑星上で揺れ動く膨大な水の塊。地球の表面の約7割は大海原なのだ。

海面に目を凝らしていると何かが飛んでいるのを感じた。双眼鏡を覗いてみて「アッ」と声がでた。無数の海鳥が途切れることなく船と平行して飛んでいる。犬吠埼沖が有数の漁場であることは知っていたが、これほどの鳥の飛翔を見て、何という海の豊かさだろうと、目を開かされる思いだった。

やがてその鳥たちが、ある一定の方角に向かっていくのに気付いた。右舷斜め前方へどンドン離れてゆく。目指す先には水平線すれすれに遥か遠く、鳥山ができていて、白い波しぶきも見える。一隻の漁船が海鳥の大群に取り囲まれて、船体が見えなくなっているのだ。双眼鏡で見つめる私の目に四方八方から吸い寄せられるように、鳥たちが集まってくるのが分かり、その場の興奮が伝わってくるようだった。聞こえはしないが、海鳥の騒然たる叫喚の中、漁師の気持ちも昂ぶり、海面は突っ込んでくる鳥や、跳ね上がる魚で沸き立ち、人間も鳥も魚も、海が与える、生きる糧を奪い合って無我夢中になっている。記憶に刻み込まれた忘れられない光景だった。

昭和24年3月、アメリカの鳥類学者オースチン博士が鳥島周辺を調査して一羽も見つけることができず、アホウドリは地球上から絶滅したと発表した。昭和26年1月6日、当時の鳥島測候所の山本所長が偶然、燕崎という断崖の下の窪地に大きな白い鳥が数十羽いるのを発見した。撲殺されていった一千万羽から、辛うじて生き残った子孫の数十羽。この記録を読んだ時、アホウドリは私の胸の中で未だ見たことのない海鳥の、単なる一種ということを超えて、ひとつのシンボルとなった。人間が犯した大きな過ちを、その全身に封じ込めた象徴となった。

繁殖期の3月という時期、洋上でもし出会う事ができるとすれば、若鳥の筈だ。4歳以上の成鳥はほぼ全て鳥島にいる。私の持っている図鑑では幼鳥から成鳥までが6段階に描かれており、2歳までは全身がほぼ黒褐色に近かった。クロアシアホウドリとの違いを自分はきちんと識別できるだろうかと不安だっ

た。ポイントは嘴なのだ。嘴とその基部周辺の色のパターンだ。それらしき黒褐色の鳥を見つけたら、全身の比較は後にして、唯ひたすら嘴にだけ注意を集中すること。私は何度も自分にそう言いきかせた。日が昇ると晴れ間がひろがり、右舷側は太陽と向き合う形になった。激しい逆光で海面を長く見つめることができない。私は後部デッキの左舷側に移動した。

まずコアホウドリが姿を現した。翼上面の黒、頭、腰の白、そのコントラストは明瞭で間違えることはない。私にとっては始めて見るアホウドリ科の鳥だった。両翼を一杯に開き殆ど羽ばたくことなく、うねる波の上を這うように、時には初列風切の先端が波を切りながら、すごいスピードで船から遠ざかっていった。美しかった。見惚れてしまった。しばらくその残像が瞼から消えなかった。コアホウドリはその後何度も見ることができ、クロアジアホウドリも2度現れた。私は少しずつ目がなれていった。

11時10分頃、船は塩屋崎沖にさしかかっていた。双眼鏡を目に当てた俛、何度もしてきた様に正面から左舷前方にずらせてゆく。すると遥か先に全身が黒っぽい、それらしき大きな海鳥が視野に入ってきた。今までの2種とは何処かが少し違うと直感した。「ドキッ」とした。それは左舷前方から現れ、船の進路とは逆向きに、船尾方向へ斜めに遠ざかるコースをとっていた。緊張した。双眼鏡を持つ手に力が入った。嘴、嘴と自分に言いきかせた。

大きくうねる波の上すれすれに、細長い翼をピンと張り、振り子のように左右にジグザグを切りながら飛んでいた。船にやや近づき斜め前方に来た時、見えた。陽光を受けた薄桃色の嘴が。「ヤッタ！」と思わず小さく叫んでいた。アホウドリの若鳥だ。私は確信した。この瞬間を長いこと待ちわびたのだ。心臓が高鳴った。

船から離れるにつれ海上には波の壁が何枚も立ちはだかってくる。アホウドリは殆ど羽ばたくことなく、盛り上がるうねりの上に、一瞬、舞い上がっては反転して谷間に突っ込んでゆく。風の強弱に瞬時に反応し、滑るように波から波へと風の道を辿って飛び続ける。深い谷間に入ると見えなくなる。私は飛ぶスピードに合わせて双眼鏡を横にずらせてゆく。すると波の谷間から姿を現す。オオミズナギドリと交差した。その瞬間、巨大さに目をみはる。まさに「沖の太夫」だった。昔の船頭は畏敬をこめて、そう呼んでいた地方もあった。やがて遠ざかってゆき、大海原のかなたに見えなくなった。

その時、私の脳裡には100年前の鳥島の光景がフラッシュバックのように明滅した。抱卵中を追いたてられ、一つしか産めない卵を踏み潰され、頭骨を狙って振り下ろされる棍棒のうなり。全身の羽毛をむしり取られても息を吹き返し、ヨロヨロと歩き出す悲惨な姿。枯れ草に火をつけられ一斉に狩りたてられ

る場面。それをやったのは人間なのだ。野犬の群れが毎年、毎年襲い続けた訳ではないのだ。われわれ人間がやったのだ。野生の現場を殺戮の場に変えた破壊者。自分も同じ人間だという事の意味の重さ。奇跡的に生き延びることが出来たのは、人間が近寄れない断崖の下に、営巣する遺伝子を持った家族の子孫のみだった。その数、僅か数十羽。島が無人島になってからも、彼らは決してその場を離れなかった。島には平坦な草地があるにも拘わらず、人間が姿を消してしまったにも拘わらず、巣作りに最も不利な崩れやすい土砂地を離れなかった。

そして私は長谷川氏のことを思った。1977年、初めて単身で鳥島に上陸してから23年間、アホウドリの保護に打ち込んできた、その一途な情熱を支えてきたものは何だったのかと。何が氏を駆り立ててきたのだろうか。なんとしても絶滅させてはならない、という強い意志だろうと思う。それは氏だけが特別に強く持っている資質なのだろうか。もしかしたら、そうでは無いかも知れない。

アホウドリを見た瞬間、私の胸の内にも熱いものが烈しく呼び醒まされた。それは欲望を満たすため殺戮を行う暴力衝動と同じく、人間の心の奥深いところで、表裏一体、密やかに存在しているのだ。どちらに視線を注いで育てるかは、その人間にかかっている。私の内部には矛盾するものが詰まっている。そのどれを選び出すか。選択した質の内容がその人間を決める。根底にあるべきものは、野生生物と共存してゆかねばならない、という意味。

それから2ヵ月後の5月上旬、私は古山氏と二人で鳥島を巡る船に乗船した。憧れていた成鳥をついに見る事ができた。頭部の山吹色の羽毛が美しく輝いていた。白い細長い翼を張りつめて、鳥島の海の濃い青の上を、滑るように飛んでいた。船は島の周りをゆっくりと7回巡った。断崖の下の燕崎を7回スコープから見た。赤茶けた土砂が剥きだしになった急斜面だった。消え行くローソクの炎のようになった、種の生命に奇跡をもたらした断崖だ。島は深い静寂に包まれていた。かって、あのような出来事は何ひとつ存在しなかったかのように、静まり返っていた。海は陽光を反射してキラキラ輝いていた。

しかし私は目を閉じると、血だらけになったアホウドリの死体を積んだトロッコの鉄輪の響きが、男たちの罵声が、鳥たちのいまわの際の息の音が、はっきりと聞こえてくるようだった。

終わり。





## 探鳥記録用紙について

神谷古牧

カワセミ会の探鳥会に行くと幹事の方が記録用紙を配ってくれます。私は会員になってまだ日が浅いので、会の発足当時のことは解りませんが私の知る限り少なくとも二回変わっています。私が入会した当時はB5版の「鳥合わせ・カウント結果」と言う一枚物でした。それが今の「探鳥のしおり」となったとき、上着のポケットに直接納められて、大変コンパクトでよいと思いました。

ところで、私も随分前から自分で決めたコースを回って、記録をつけていました。最初は当時住んでいた八王子市大谷町から裏大谷・小宮公園・浅川大橋・大和田橋と廻るものでした。このように廻ると野山の鳥と水辺の鳥が両方見られるので、とても楽しかったことを覚えています。この当時は手帳にランダムに記録をつけて、出現した種類を記録するのみでした。また自宅に帰ってまとめようとすると、同じ名前が二回書いてあることもしばしばでした。

今の谷地川下流部に移り住んでからは違うコースを設定しましたが、今度は数も記録しようとして、今までのチェック方法ではとても大変になりました。例えばオナガが二回目に出現すると、「エーと、さっきも書いたが何処にあったかな」となるのです。そこで、カワセミ会の一枚物をコピーしてバインダーにとじ、腰に(首だと双眼鏡のじゃまになる)ぶら下げて使って見ました。ところが第一の問題点として、「3」とか「5」と次々に書き入れて行くには記入欄が小さすぎました。第二に(これが最大の問題)並んでいる順番が頭に入らず、探すのに時間がかかるのです。

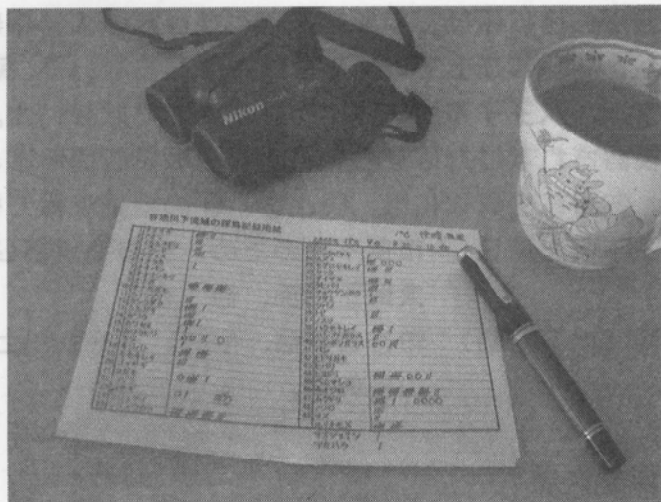
丁度この頃、たまたま仕事の必要に迫られてワープロからパソコンに乗り換えていたため、探鳥のデータもついでに記録し始めていました。そのデータを元に、私がカウントしていたコースで出現した鳥約80数種だけに限定したものを自作しました。記録していたデータを「アイウエオ順」に並べ替え、また記入欄も大きく作りました。「アイウエオ順」にする事によって素早く見つけることが出来るようになりました。また、記入欄を大きくしたことと、チェックによって数量を把握する記入方法(「正」の字ではなく縦四本に横一本で五とする方法を採用した)とすることで、記入が飛躍的に楽になりました。

ところが、ここでも新たな問題が出て来ました。腰にぶら下げているバインダーが煩わしく、何よりもあまり格好良くないのです。また歩いている内にせっかく記入した記録用紙がバインダーからはずれ、どこかに飛んでいってしまったこともありました。そこで、今カワセミ会で使っている「探鳥のしおり」の半分のサイズのものを作れば、ズボンのポケットに入るものができるだろうと考えました。しかし単純に小さくすれば見にくくなりますし、複数頁にするとまた使い勝手が悪くなります。

過去の探鳥記録を見直してみると、当然のこととして80数種がいつも観察出来る訳ではありません。クロジ、イソヒヨドリなどは一年に一回見られるかどうか、それこそハイイロチュウヒなど、或る年にだけ観察されたものなどもあるのです。それらのものを削除し「年に三回以上観察記録のある鳥」を基準にすると約50種に絞り込みました。

そうやって完成したものが右の写真のもので

す。B6版見開き二頁に作って有るので、二つ折りにすればズボンの後ろポケットなどにも容易に入れることが出来、



夏などの上着がないときにも大変重宝しています。

ちょっと探したのがケースです。サイズが同じなので、健康保険証のものを利用しました。某社製の「BCH-保険証」と言う型式のものが差し込み易く、下敷き代わりに葉書ほどの厚さの紙を二枚重ねで一番下に敷き、この記録用紙を5~6枚入れるとしっかりとっていて、とても使い易いものが出来ました。

実際に使ってみると、当然番外が出るのですが今までもっとも多いときでも4種でしたので、欄外に充分書くことが出来ます。また、スズメやムクドリなどがまとまって十羽以上現れたときには「○」一つが十羽としました。また移動中の群等の時などは○の中に数を書いています。

皆様も、オリジナル記録用紙を作ってみては如何ですか。

## 「野鳥の密猟防止対策を求める要望書」の 提出及び経過

下重光正

表記の件、平成12年10月26日、関係各機関を訪ね、要望書手渡しと主旨説明を行ってきました。各機関での対応の様子を要約して報告します。

### 1. 八王子市

粕谷会長から要望書提出と主旨説明。3項（立て看板設置、林道パトロール、広報紙などでのPR/以下3項と略）の説明と、特に「市の鳥オオルリ」が密猟ターゲットにされている点を強調。

市側からは、主旨に賛同するとした上で、①広報に関しては、4、5月頃発行の市広報紙で対応することが可能。②看板に関しては、各関係方面と検討した上で対応しなければならないが、民地より官地（国又は東京都、八王子市所有）の方がよいのではないか。③景観の観点からも検討されなければならない。④看板設置場所はどんなところがよいか。⑤設置の具体化は、②、③、④の結論を得て行う、の返答。

八王子市側出席者：市長不在のため、都市整備部公園緑政課課長  
大塚正和氏、他1名。

本会側（以下省略）：粕谷会長他、今井、三好、川上、門口、下重  
の各幹事。

### 2. 高尾警察署

粕谷会長から要望書提出と主旨説明。3項の説明と、特にパトロールの強化と不法飼育の取締りを要望。

高尾署からは、主旨に賛同するとした上で、最近の密猟取締まり状況の説明があり①高尾山で、この7年間に87羽のオオルリを密猟した人（町田在住）を現行犯で逮捕した。②現行犯で年間、3～4件の逮捕者が上がっている。③署管轄区内で、イヌワシをこの2年間飼っている者がいるので、DNA鑑定に持ち込んで逮捕する段取りをしている、などが知らされた。



そして、高尾署から①パトロールはさらに強化したい。②かわせみ会の者が密猟現場を見つけたら、すぐに110番で通報してほしい。署からすぐに対応する。③密猟だけでなく、不法飼育も厳しく取り締まる、などの返答。

高尾警察署側出席者：保安係主任・警視庁巡查部長天野俊彦氏。

### 3. 八王子警察署

生活保安課を訪問。担当官不在のため、門口事務局長から課員に要望書を手渡し。

### 4. 東京都多摩経済事務所

粕谷会長から要望書提出と主旨説明。3項の説明と、特に東京都と八王子市との連携対応と鳥獣保護委員のパトロールの強化を要望。

多摩経済事務所からは、主旨は理解するとした上で、①関係各方面と検討した上で対応したい。②看板設置場所の具体的な指定はあるか。③鳥獣保護委員は現在7名いるが、野鳥密猟取締まりなど特定した対応をしていない、などの返答。

多摩経済事務所側出席者：所長熊倉慧氏、他1名。

以上、4機関訪問の結論として、①密猟、不法飼育などの情報をさらに積極的に収集し、関係機関に知らせること。②そして、高尾山などで密猟現場に出くわした場合は即座に通報する＝このため密猟多発期の探鳥会、観察会などには携帯電話を持つこと。③引き続き関係機関への働きかけ、先の要望書を全面実現すること、などである。

2001年2月16日に東京都南多摩経済事務所から粕谷会長宅に20枚の看板を立てた旨の連絡がありました。私たちの活動が認められ目に見える成果が出るのは嬉しいものです。(編集人)

平成12年10月26日

野鳥の密猟防止対策を求める要望書

八王子市長 高尾警察署長 八王子警察署長  
東京都南多摩経済事務所長 あて

八王子市天神町 3-6

八王子カワセミ会 会長 粕谷和夫

東京都みどりの推進委員 三好恒雄

(八王子カワセミ会推薦委員)

東京都みどりの推進委員 門口裕子

(八王子カワセミ会推薦委員)

東京都みどりの推進委員 古山 隆

(八王子カワセミ会推薦委員)

八王子カワセミ会は、浅川流域の野鳥を観察し調査を行っている市民団体です。私たちが野鳥の調査観察を始めて10数年経ちました。野鳥の観察を行っている  
と、野鳥を密猟していると思われる人に時々出会います。特に、オオルリ、ヤマ  
ガラ、メジロ等がアシ原、丘陵地や山間の林道等で多く捕られているようです。  
①  
会員が密猟と思われる現場に遭遇した時の様子は別紙の通りです。野鳥を密猟す  
ることは、鳥獣保護法で禁じられていることです。私たち、野鳥と人の共生する自  
然を求めるものにとっては断じて見過ごすことはできません。

つきましては、下記の密猟防止対策を講じることをお願いします。

記

- 1 各林道の入口や河川敷等に、野鳥の捕獲は法により禁じられていることの看板を立てること。
- 2 林道等のパトロールを行うこと（特に早朝）。
- 3 広報紙等で野鳥を捕ることや許可なく飼うことは禁じられている旨のPRをすること。



## 探鳥の記録（2000年 7月～12月）

とりまとめ：門口一雄

### ○室内例会；木彫り教室

日時；7月8日（土） 2時～5時

場所；八王子市由井市民センター

講師；鈴木章七さん

鳥仲間（敬称省略、順不同；以下同じ）

白川司 白川史子 福土和江 高橋節子 小塩菊子 大川征治 大川香  
山崎久美子 矢ヶ崎 矢ヶ崎 栗原友子 小笠原敏子 大木圭佑 木村正子  
保坂 斉藤 近藤 森賀 森賀 石井よし子 杉森熊二 下重光正 下重喜代  
加藤六郎 門口裕子 山崎悠一 檜垣修 粕谷和夫 門口一雄

（受講者25名）

担当者の記録

会員が、多くの友だちを誘って参加して頂いたため、定員を超える盛況でした。休み無しの3時間、出来上がったオオルリのブローチに満足して頂いたと思います。講師の鈴木さんありがとうございました。

（門口）

### ○月例；醍醐川探鳥会

日時；7月9日（日） 8:00～12:30 天気；晴

場所；関場～龍神淵（往復）

確認した野鳥

オオタカ キジバト ホトトギス コゲラ ツバメ キセキレイ ヒヨドリ  
ミソサザイ クロツグミ ヤブサメ ウグイス オオルリ サンコウチョウ  
ウ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ イ  
カル スズメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ガビチョウ  
（25種）

鳥仲間

青木繁昌 大川征治 大川香 粕谷一雄 門口一雄 川上恵 川戸恵一  
佐伯直寛 島崎太郎 清水盛道 白河司 白河史子 鈴木章七 関谷 中村  
和麻子 平井豊 丸山二三夫 三好恒雄 森賀夫妻 山浦秀雄 山崎悠一  
新田茂（23名）



## 担当者の記録

台風一過の晴天で、猛暑の予報だったが、川添いの木陰は風が通り涼しかった。強い陽射の下で囀るホオジロ、イカル、クロツグミを聞き、増水した流れの付近からはミソサザイの囀りも聞かれた。台風と暑さの影響か鳥の姿は少なかった。(新田)

## ○夏山探鳥会

月日；7月20日～22日

場所；会津磐梯山、東吾妻山、一切経山、安達太良山

確認した野鳥

アオサギ マガモ カルガモ オシドリ トビ ノスリ キジバト カッコウ  
ホトトギス アマツバメ アオゲラ コマドリ コゲラ イワツバメ  
ハクセキレイ キセキレイ ビンズイ ヒヨドリ チゴモズ モズ ミソサザイ  
カヤクグリ ルリビタキ オオジシギ アカハラ ヤブサメ ウグイス  
メボソムシクイ キクイタダキ キビタキ オオルリ コサメビタキ  
コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ ゴジュウカラ メジロ ホオジロ  
アオジ クロジ カワラヒワ ウソ イカル ホシガラス ハシボソガラス  
ハシブトガラス (47種)

今回のベスト

1日目 磐梯山のベスト (天気；晴) クロジ アマツバメ

2日目 東吾妻山、一切経山のベスト (天気；晴後雨)  
ビンズイ ホシガラス マガモの親子 ウソ チゴモズ

3日目 安達太良山 (天気；晴、山頂付近は風雨)  
ビンズイ オオルリ ホオジロ

早朝探鳥会 (裏磐梯高原、五色沼周辺)

オシドリ コサメビタキ

鳥(山)仲間

山崎悠一 山崎久美子 白川司 白川史子 丸山二三夫 柚木鎮夫 柚木育子  
馬場裕 門口裕子 門口一雄 (10名)

担当者の記録

久し振りの夏山登山探鳥会。梅雨が明けきらないのか、今しがたまでの快晴が、土砂降りや風雨と急変し油断できない。山の天気の高さを体験した。

1日目の磐梯山では、車を降りたらカッコウが樹上で鳴き、ブナ林ではクロジが次々に囀り、探すのに時間がかかったが、心行くまで観察できた。そして、頂上直下の、お花畑に近くでアマツバメの群れが超低空飛行を見せた。山頂からは、遠くの山々は雲が掛かっているが、南真下に猪苗代湖、反対に目を転じれば裏磐梯高原の大小の湖が美しく広がる。地図を広げ明日登る東吾妻や安達太良山の方角を確認し、お互いに記念の写真を撮り合い登頂を喜び合った。

2日目は、登り始めのダケカンバ、モミの森で小鳥が囀り、湿原ではモズ、ピンスイを堪能する。東吾妻山頂上のウソ。草原を飛び交うホシガラスの家族。識別に苦労した鎌沼に浮かぶマガモの親子。そしてチゴモズと次々に出現し、厳しかった東吾妻山、一切経山の登りの疲れも吹っ飛ばす。瓦礫の一切経山では、風が強く、ガスに覆われたが、時々神秘的な五色沼が眼下に見え隠れする様に見とれる。最後の30分は土砂降りタ立に遭ったが、木道の側に咲く数々の高山植物と夏山の鳥を堪能した一日であった。

3日目の安達太良山は、スキー場から造林地さらに灌木帯と長い登りが続く。樹林の中や遠くの林で小鳥が鳴くが確認できない。森林限界付近でピンスイが囀りよく観察した。最後の登りにかかるころ天候が急変し風雨となる。昼食をとり回復を待ったが、ガスがかかり視界が悪くなったので断念した。途中の沢でオオルリのつがいをじっくり観察し無事下山した。(門口)



○8月例会；早朝高尾山 雨天中止

○シギ・チドリ探鳥会

日時；8月27日（日） 9:30～14:30 天気；快晴（猛暑）

場所；三番瀬・谷津干潟（千葉県）

確認した野鳥

カイツブリ カワウ カンムリカイツブリ ダイサギ チウサギ コサギ  
アオサギ カルガモ スズガモ ハシビロガモ バン コチドリ シロチドリ  
メダイチドリ ダイゼン キョウジョウシギ トウネン サルハマシギ  
オバシギ アオアシシギ イソシギ ソリハシシギ オオソリハシシギ  
ダイシャクシギ ホウロクシギ チウシャクシギ セイタカシギ キアシシギ  
ミユビシギ ハジロコチドリ ウミネコ キジバト ヒヨドリ セッカ  
カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシブトガラス ドバト  
（40種）

本日のベスト；ハジロコチドリ ミユビシギ ダイゼン

鳥仲間

青木繁昌 井形定子 大川征治 大川香 川上恵 倉本修 佐伯直寛 高橋稔  
田中英吉 新田茂 古山隆 丸山二三夫 三好恒雄 本島てるみ 山崎悠一  
山崎久美子 柚木鎮夫 柚木育子 横山由美子（19名）

担当者の記録

30数度の猛暑の中の探鳥となる。三番瀬は干潮で、沖まで干潟が広がり人が多く鳥は少なくミヤコドリも見えない。はやめに谷津干潟に移動した。谷津干潟では、ハジロコチドリ、ミユビシギ、ダイゼンなどよく見られた。暑い暑い一日ご苦労様でした。（大川）

○平日探鳥会

日時；9月6日（水） 11:00～14:00 天気；晴

場所；東京港野鳥公園

確認した野鳥

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ トビ オオタカ  
コチドリ キアシシギ イソシギ ソリハシシギ オグロシギ アオアシシギ  
コアオアシシギ ソリハシシギ セイタカシギ メダイチドリ ウミネコ  
キジバト カワセミ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ

カワラヒワ スズメ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス ドバト  
(30種)

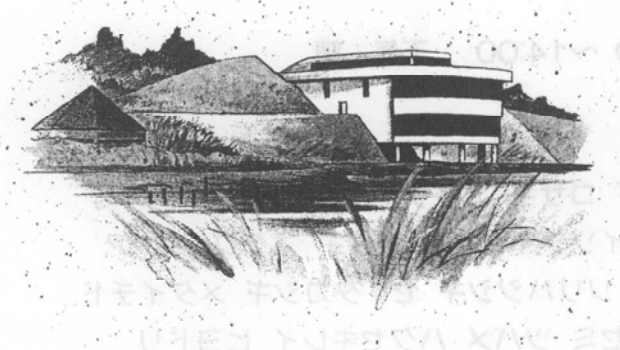
鳥仲間

井上典子 大川征治 大川香 木村春美 杉田陽子 傍島玲子 高橋稔 千葉  
葉榎子 新田茂 平井国二 丸山二三夫 川上恚 (12名) 審三：酒蔵

担当者の記録

朝 8時頃まで雨が降り、小雨決行とはいえ、実施を心配したが、12  
名が集合、9時15分中央特快に乗り品川駅よりバス利用で11時に  
到着。早速シルバーガイドさん数人のご案内を受け、東観察広場で東淡  
水池周辺をウォッチング、そのあとネイチャーセンター2階観察室と東  
側の2号観察小屋から潮入の池周辺をウォッチング。

弁当休憩後、1時からスライド「東京港野鳥公園の生きものたち」を  
観賞したのち、西淡水池周辺をウォッチング、2時頃芝生広場で鳥合せ  
を行い 2時39分品川駅行バスで帰路についた。東京港野鳥公園は始  
めての方も多く、セイタカシギの親子やオグロシギ、コアオアシシギな  
どを間近で観察でき満足だった。(川上恚)





○月例；浅川

日時；9月10日（日） 8:00～9:40 天気；晴

場所；ふれあい橋～一番橋

確認した野鳥

カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ イカル チドリ  
クサシギ イソシギ キジバト ツバメ コシアカツバメ キセキレイ  
ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ セッカ シジュウカラ  
カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラ  
スドバト（25種） 解散後にササゴイ ムナグロ  
本日のベスト イカルチドリ クサシギ  
鳥仲間

阿江範彦 井形定子 井手龍世 今井達郎 岩本嘉之 大川征治 大川香  
粕谷和夫 川上恵 小塩菊子 佐伯直寛 清水盛道 白川司 白川史子  
杉森熊二 鈴木章七 高橋芳子 千葉慎子 中村和麻子 新田茂  
馬場裕 馬場百合亜 平井国二 平井智恵子 丸山二三夫 本島てるみ 山  
崎悠一 山崎久美子 柚木鎮夫 横山由美子 檜垣修 門口一雄

（32名）

担当者の記録

残暑厳しいせいか、鳥は少ない。めあてのオオタカは飛ばず、ムナグ  
ロ、タシギは現れず。早々に鳥合せ解散とした。帰路の、一番橋上流の  
対岸でササゴイ、中州でムナグロが現れ参加者の大方が観察できた。本  
日の探鳥コースは南平駅までとすべきであった。（門口）

○白樺峠ワシ・タカ渡り探鳥会

日時；9月23日（土）～24日（日） 天気；曇、雨、晴

場所；長野県白樺峠、乗鞍高原国民宿舎周辺

確認した野鳥

サシバ 19 ハチクマ 10 ツミ モズ ヒヨドリ キジバト イカル キセ  
キレイ ハクセキレイ カケス アオゲラ ハシボソガラス ハシブトガ  
ラス マガモ イワツバメ トビ ミサゴ ウグイス ホオジロ コガラ  
ヒガラ シジュウカラ ホシガラス ヤマガラ アオバト アマツバメ  
（26種）  
今回のベスト サシバ ハチクマ ホシガラス

## 鳥仲間

川上恚 関根伸一 佐伯直寛 山崎悠一 山崎久美子 大川征治 大川香  
白川司 白川史子 丸山二三夫 青木繁昌 倉本修 門口裕子 門口一雄  
(14名)

### 担当者の記録

1日目は、到着したところから雨が降り出し早々にビジターセンターに避難し、乗鞍高原の自然の展示を心行くまで見た。

2日目は、昨夜のお神酒が効きタカ見日和となった。はるか向こうの尾根から湧きだしてくるタカを双眼鏡で探す。巡回しながら上昇し、滑空し、頭上に近付き、飛び去るタカを凶鑑と見比べながら、サッチャン、クマちゃんと識別し、渡りの醍醐味を楽しんだ。(門口)

### 〇月例；多摩川探鳥会

日時；10月8日(日) 8:30~10:45 天気；晴後曇

場所；多摩川と谷地川合流～平の堰

### 確認した野鳥

カイツブリ カワウ コサギ アオサギ カルガモ トビ オオタカ キジ  
バン キジバト アマツバメ カワセミ ツバメ イワツバメ キセキレイ  
ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ シジュウカラ ホオジ  
ロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシブトガラス ハシボソ  
ガラス ドバト アヒル (30種)

本日のベスト；カワセミ、ヒヨドリの渡り、モズの高鳴き

### 鳥仲間

石橋公子 今井達郎 大川征治 小沢礼子 小沢節子 加藤岸男 川上恚  
川戸恵一 河村洋子 木村正子 小塩菊子 佐伯直寛 杉森ユリ 鈴木章  
七 鈴木了一 中村和麻子 傍嶋玲子 高橋芳子 千葉慎子 新田茂 平井  
国二 平井智恵子 平井牧 平井芳子 平井豊 三富恒男 三好恒雄 山浦  
秀雄 山崎久美子 柚木育子 (30名)

### 担当者の記録

年初計画の多摩川滝山下コースは、雑草の繁茂で一部危険な箇所もあることから、急遽コースを変更しました。当コースは歩き易く且つ野鳥の種類も比較的多く、冬鳥は未だでしたが、楽しみになるコースと思います。ただ休日のためか、途中1~2ヶ所で模型飛行機を飛ばすグルー

ブが居り、騒音などちょっと野鳥観察に障害になる気がしました。  
(三好恒雄)

## ○伊豆沼探鳥会

月日：11月3日（金）～5日（日）

場所：宮城県伊豆沼、蕪栗沼

### 確認した野鳥

カイツブリ ハジロカイツブリ カンムリカイツブリ ゴイサギ ダイサギ  
チュウサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ ヨシガモ コガモ  
オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ キンクロハジロ  
ホシハジロ トモエガモ カワアイサ トビ オオタカ コチョウゲンボウ  
チュウヒ ミサゴ ノスリ ハイイロチュウヒ ハヤブサ チョウゲンボウ  
キジ オオバン イカルチドリ ツルシギ アオアシシギ ハマシギ クサ  
シギ オオソリハシシギ ソリハシシギ タシギ キジバト カワセミ キ  
セキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ シ  
ョウビタキ ウグイス エナガ シジュウカラ ホオジロ カシラダカ ア  
オシ オオジュリン カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガ  
ラス ハシブトガラス ミヤマガラス マガン ヒシクイ オオハクチョウ  
コハクチョウ ヘラサギ (68種)

### 今回のベスト

マガン ヒシクイ オオハクチョウ コハクチョウ ヘラサギ ハジロカ  
イツブリ コチョウゲンボウ チュウヒ ツルシギ ミヤマガラス  
(10種)

### 鳥仲間

山崎悠一 川上恵 関根伸一 馬場裕 大川征治 大川香 柚木鎮夫 柚木  
育子 田中英吉 本島てるみ 平井国二 門口裕子 門ロー雄 (13名)

### 担当者の記録

3年ぶりの伊豆沼探鳥会、天候に恵まれ快適であった。暖冬のためか、  
それとも時期が早かったせいか、2日とも濃霧が発生し朝の飛び立ちは  
観察できなかった。今回は、蕪栗沼を中心に探鳥した。沼は、遊水池を  
広げ、周囲の堤防を整備し観察し易くなっていた。夕方の落雁、ねぐ  
ら入りしたヘラサギ、霧の中を鳴きながら飛び交うガン、ハクチョウ、  
カモの仲間、広い水田の中で餌を啄むガンの群れなど心行くまで堪能で

きた。

また、蕪栗沼の南方の用水池では、ツルシギ、アオシギ、ソリハシシギなどを、水田では、チョウゲンボウ等のワシタカやミヤマガラスを観察した。シジュウカラガン、カリガネ等の珍鳥を探したが鳥運なく断念した。(門口)



### ○月例；浅川探鳥会

日時；11月12日(日) 8:00~10:00 天気；曇

場所；鶴巻橋～榎原小学校

確認した野鳥

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ イカルチドリ  
イソシギ タシギ ユリカモメ キジバト ヒメアマツバメ カワセミ  
アオゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨ  
ドリ モズ ジョウビタキ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ  
カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラ  
ス コジュケイ ドバト (33種)

本日のベスト イソシギ タシギ アオゲラ



鳥仲間

井形定子 今井達郎 川上恵 白川司 白川史子 鈴木章七 粕谷和夫 高橋稔 山崎悠一 千葉模子 杉森ユリ 山浦秀雄 原田佳世 門口一雄 (14名)

担当者の記録

寒く、今にも降り出しそうな天候のためか、参加者14名と月例にしては少なかった。開始早々、鶴巻橋の上からタシギ3羽を心行くまで観察した。川原では、イソシギ、モズ、セキレイなどいつもの鳥が現れ楽しんだ。道路に出て、鶏舎前の雑木でアオゲラが出て盛り上がる。最後は川上さんの計らいで、私立学校研修所の池にコースを変え、オシドリ、ヤマドリ探しに挑戦した。(門口)

〇八王子城址探鳥会

日時：11月19日(日) 8:30～10:45 天気：晴

場所：八王子城址

確認した野鳥

コゲラ キセキレイ ヒヨドリ モズ ショウビタキ ウグイス ヤマガラ シジュウカラ メジロ アオシ カワラヒワ スズメ カケス ハシブトガラス コシユケイ ガビチョウ (17種)

本日のベスト キセキレイ カケス

鳥仲間

石井よし子 石橋公子 大川香 久保田ヤス子 小塩菊子 佐伯直寛 島崎太郎 杉田陽子 杉森熊二 杉森ユリ 鈴木章七 永見博子 平井国二 平井智恵子 平井豊 山崎悠一 門口裕子 門口一雄 (18名)

担当者の記録

霜が降り寒い朝であった。山一面が樹齢数十年の杉林に覆われているためか、野鳥は少ない。その代わりに、八王子城落城にまつわる話、冬いちごのつまみ食いや本丸へのハイキングなど、また、違った楽しく思い出に残る探鳥会となった。(鈴木章七、門口)

○平日探鳥会

日時：11月24日(金)

場所：松枝橋～陵北大橋

確認した野鳥 36種

本日のベスト アカゲラ ツグミ チョウゲンボウ

鳥仲間

佐伯直寛 永見博子 井形定子 傍嶋玲子 大川征治 大川香 今井達郎

白川司 柚木育子 木村晴美 河村洋子 (11名)

担当者の記録

穏やかなお天気にもぐまれ、まず幸先よく出現してくれたのがチョウゲンボウ。木に止まっていたのでみんなでじっくり堪能できた。参加者のほとんどが、今年の冬の初認のツグミも人気者でした。最後に出たアカゲラは、日の光が当たり赤い色の美しかったこと。(河村洋子)

○12月例会；浅川探鳥会；公開

日時：12月10日(日) 8:00～11:30

天気：曇

場所：一番橋～長沼橋

確認した野鳥

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ  
ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ オオタカ ハヤブサ チョウゲンボウ  
キジ イカルチドリ ハマシギ イソシギ ユリカモメ セグロカモメ  
キジバト カワセミ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ  
タヒバリ ヒヨドリ モズ ショウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ  
メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス  
ハシブトガラス ドバト マルガモ (42種)

本日のベスト コサギ ハマシギ カワセミ

鳥仲間

阿江範彦 秋山侑司 井手龍世 今井達郎 大川征治 大川香 粕谷和夫  
加藤六郎 門口裕子 川上恵 河村洋子 倉本修 栗原友子 清水盛道 杉田陽子  
鈴木章七 傍嶋玲子 千葉慎子 中村和麻子 新村哲也 新田茂原 原田佳世  
馬場隆進 馬場啓子 平井国二 平井智恵子 平井牧 丸山二三夫 山浦秀雄  
山崎悠一 山崎久美子 柚木育子 横山由美子 近藤幹夫 牧野治之 横田進一  
須崎国夫 松浦由雄 鈴木佳雄 西川シゲ 小暮利子

矢崎富司 山崎範子 餘多分明男 目黒廣 森重作 小山栄治 佐藤サヨ子  
吉田奎子 今井治和 小倉善二 小張義雄 福里和子 中川輝夫 小林真一  
小林啓子 高下満子 杉山三郎 一幡未嗣 設楽登 設楽敏子 中田関子  
塩井邦子 青木京子 岡本多賀子 河住稔 遠藤道子 遠藤寛玄 矢田摩耶  
子 門口一雄 (70名)

#### 担当者の記録

公開探鳥会に、たくさんの参加者があり、またこの日は鳥もたくさん  
集まってきていて、絶好の日和でした。一週間前には一番橋の下流にし  
かいなかったハマシギ80羽ぐらいがエサをたべていたり編隊を組んで  
動いてくれたり、コサギの大集団が何回も見られたりしました。  
ユリカモメも多数が上流に移動して、長沼橋の所で羽根を休めていまし  
た。珍しく、オオタカ、ハヤブサ、チョウゲンボウの猛禽類も出ました。

(山崎)

#### ○大晦日探鳥会

日時：12月31日 8:40~13:15 天気：曇

場所：埼玉県戸田市 道満・彩湖

#### 確認した野鳥

カイツブリ ハジロカイツブリ カンムリカイツブリ カワウ ダイサギ  
コサギ アオサギ オオバン マガモ カルガモ コガモ オカヨシガモ  
ハシビロガモ ミコアイサ ホシハジロ キンクロハジロ オオタカ チ  
ョウゲンボウ コミミズク イソシギ ユリカモメ セグロカモメ キジ  
バト カワセミ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒ  
ヨドリ モズ ショウビタキ ツグミ ウグイス ホオジロ カシラダカ  
アオジ オオジュリン カワラヒワ ベニマシコ スズメ ムクドリ オナ  
ガ ハシボソガラス ハシブトガラス ドバト (45種)

本日のベスト3：カンムリカイツブリ コミミズク ベニマシコ

#### 鳥仲間

青木繁昌 今井達郎 岩本嘉之 大川征治 小沢礼子 粕谷和夫 白川司  
鈴木章七 関根伸一 新田茂 三好恒雄 山崎悠一 柚木鎮夫 柚木育子  
川上恵 (15名)

#### 担当者の記録

今回は、北西部の駐車場を8:40スタートし、時計の反対回りで歩い





# 鳥信 (主として2000年7月~12月)

## 1. 冬鳥の初認

089・コガモ	00.09/22	4羽	浅川・大和田橋下流北野清掃所の前	新村哲也	八王子8J
369・モウ	00.09/17	1羽	多摩川・拝島橋下流側河原・高鳴き初認	粕谷和夫	拝島8D
387・シヨビク	00.10.22	1羽	西浅川町金南寺境内♂1	川上憲	八王子2G
402・ソバウ	00.11/14	声	八王子市別所の蓮生寺公園	登坂久雄	武蔵府中1D
405・ツグミ	00.11/24	1羽	北浅川・上巻分小200m下流	河村洋子他	拝島3B

## 2. 通過

388・ヒビク	00.10/24	1羽	浅川・大和田橋上流のニセアカシアの茂みの近くの文の高い草の穂先	倉本修	八王子7K
409・ツグミ	00.10/30	1羽	長沼公園井戸たわ沢見晴台の崩れた斜面でガビチョウを探していた傍らの藪(ウグイスも直後に来た、小鳥の探餌場らしい処)で。	馬場裕・百合 壘	八王子9G
422・センガクイ	00.05/07	声	小宮公園	本島てるみ	拝島7A
427・ヒビク	00.09/25	1羽	長沼公園霧降の道西側の沢:ミズキの実を喰う。地鳴き。	馬場裕・百合	八王子9G
430・材木	00.04/29	1羽	片倉城跡公園・住吉神社登り口・さえずりと姿確認	小池一男	八王子7G
430・材木	00.10/12	1羽	高尾山頂・♂形の幼鳥	粕谷和夫	与瀬9E
431・ツグミ	00.10/05	1羽	陣馬山頂	大川征治他	与瀬3H
432・ツグミ	00.10/03	1羽	陣馬山頂	大川征治他	与瀬3H
432・ツグミ	00.10/05	1羽	高尾山6号路頂上付近の樅の木のテッペン	木村晴美他	与瀬9E
432・ツグミ	00.10/06	2羽	小峰公園ビジターセンター	丸山二三夫	五日市8F
433・ツグミ	00.09/09	1羽	高尾山頂西下の木の上	粕谷和夫	与瀬9E
433・ツグミ	00.10/05	3羽	高尾山6号路琵琶滝手前	木村晴美他	八王子1F
433・ツグミ	00.10/07	1羽	小田野中央公園の雑木林	今井達郎他	拝島1A

## 3. 希少種

047・シヨクイ	00.08/20	2羽	多摩川・多摩大橋下流右岸のひょうたん池	神谷古牧他	立川0C
056・アマキ	00.09/17	8羽	多摩川・平堰付近の中州	粕谷和夫	拝島8C
058・チュウキ	00.07/27	6羽	多摩川・滝山下(高月休耕田で採食していた)。9/29も同所で1羽	三好恒雄、佐伯直寛	拝島6E
058・チュウキ	00.07/30	1羽	八王子市石川町自宅前(谷地川新鶴見橋)	神谷古牧	立川1B
058・チュウキ	00.08/24	1羽	湯殿川・白旗橋~時田橋	三富恒男	八王子6G
086・オトリ	00.09/09	1羽	北浅川・元木橋下流60m、川の中の石に止まっていた。間もなくカルガモとともに移動	今井達郎他	拝島1B
086・オトリ	00.12/02	2羽	北浅川・松竹橋上流50m川の屈曲部にカルガモとともにいる♀	今井達郎他	八王子0K
095・ツグミ	00.08/06	1羽	浅川定期カウント中・滝合橋下流の中州に1羽だけオナガガモの♀と思われる個体がありました。この時期にはいくらなんでもおかしいと思います。よくよく見ると、私はくちばしの先が黄色く見えます。家内は賛成しませんが。とりあえず、写した写真を添付します。どう思われますか。→(粕谷コメント: Eメールで送られてカラー写真を見るとまさしくオナガガモ♀型です。越冬でしょうか?)	山崎悠一・久美子	武蔵府中0H
115・ミコ7仔	00.12/10	1羽	多摩川・浅川合流部	柚木鎮夫	武蔵府中4K
167・バン	00.08/13	1羽	多摩川・平堰上流側	粕谷和夫	拝島8C
167・バン	00.09/10	1羽	北浅川・松枝橋上流100m、幼鳥、イソシギ、クサシギと一緒に水辺を歩いていた。	河村道寛・洋子	拝島4B
167・バン	00.10/15	1羽	北浅川・天使病院より300m上流右岸・幼鳥・岸辺の倒木に止まっていた	河村道寛・洋子	拝島2B
167・バン	00.12/23	1羽	川口川・山王橋、日枝神社付近、12/29にもいた	杉森ユリ	拝島3C
298・アハト	00.09/23	10	陣馬山山頂を旋回	阿江範彦	与瀬3H
298・アハト	00.09/24	33羽	陣馬山山頂・群で南南東へ向かう、レース鳩の群のような感じ	神谷古牧	与瀬3H
298・アハト	00.10/03	1羽	陣馬山頂	大川征治他	与瀬3H
298・アハト	00.11/26	声	八王子市別所の蓮生寺公園	登坂久雄	武蔵府中1D
336・アケウ	00.10/12	1羽	高尾山・蛇滝コース・ケーブルカー山上駅西側	粕谷和夫	八王子0F
368・チヨモス	00.07/01	2羽	北浅川・深沢橋~松竹橋(番と思われる♀)	今井達郎他	八王子0K
375・ウカラス	00.12/03	1羽	小仏川 冬鳥一斉カウントの時に確認しました	丸山二三夫他	八王子0G
409・ツグミ	00.07/10	声	八王子市石川町 鳴き声のみ	神谷古牧	拝島9B
422・センガクイ	00.07/14	声	八王子市石川町 鳴き声のみ	神谷古牧	拝島9B
422・センガクイ	00.08/31	2羽	長沼公園・頂上園地南	馬場裕・百合	八王子9G

422・セダ'ムシイ	00.08/31	1羽	長沼公園・頂上園地南	馬場裕・百合	八王子9G
424・キイタキ	00.07/04	1羽	高尾山6号路入り口から約200m付近	木村晴美他	八王子1F
427・ヒ'ヒ	00.05/03	1羽	小宮公園、♂、5/7も同所で♂1	本島てるみ	拝島7A
427・ヒ'ヒ	00.06/21	1羽	小宮公園、♂、6/22も同所で♂1	本島てるみ	拝島7A
434・ソウコウ	00.07/02	2羽	板当林道650m地点、杉林	粕谷和夫	与瀬9K
462・カシ	00.12/17	2羽	板当林道(1700m地点♂1, ♀1, アオジ約10羽の中)	粕谷和夫	与瀬8J
481・ヘニシ	00.11/27	1羽	多摩川・谷地川合流付近の桜並木前、声は二羽以上と思われませんが、視認したのは一羽だけでした。	神谷古牧	立川1B
54・サゴイ	00.08/28	1羽	谷地川左滝橋付近(若鳥)	新田茂	拝島7B

#### 4. 猛禽類

123・オオカ	00.07/01	2羽	北浅川・松竹公園で北方上空を飛翔中	今井達郎他	八王子OK
123・オオカ	00.08/05	1羽	北浅川・小田野中央公園から心源院南の一本松に止まる1羽を視認	今井達郎他	八王子OK
123・オオカ	00.08/09	1羽	谷地川下田橋上空。東から飛んできて、近くの雑木林に止まる	神谷古牧	立川0B
123・オオカ	00.08/16	1羽	多摩川八高線鉄橋上流の中洲から飛び立ち平の堰を越えて多摩川の中洲方向に飛ぶ	神谷古牧	拝島8C
123・オオカ	00.09/10	1羽	多摩川・平堰	粕谷和夫	拝島8C
123・オオカ	00.10/11	1羽	八王子夕焼け小焼け文化農園・伝書鳩を追踪するが逃げられる	新田茂	五日市8A
123・オオカ	00.12/02	1羽	北浅川・恩方小付近から城山上空を飛翔中、その後1本松に止まる	今井達郎他	八王子OK
123・オオカ	00.12/02	2羽	川口川・観音橋付近から天合峰方面に飛ぶ	鈴木章七他	拝島2C
123・オオカ	00.12/03	1羽	浅川中州の林・八高線～新浅川橋	粕谷和夫他	八王子8J
123・オオカ	00.12/10	1羽	浅川・平山中学校付近	探鳥会	武蔵府中1H
123・オオカ	00.12/11	4羽	北浅川・宝生寺団地東の無線アンテナに1(拝島2C)、松竹公園北西の樅に1(五日市9A)、恩方中学裏山の枯木に1(五日市9A)、松竹公園上空を飛翔中(八王子OK)	今井達郎他	拝島2C、五日市9A、八王子OK
123・オオカ	00.12/11	2羽	北浅川・宝生寺団地上空	河村道寛・洋	拝島1C
123・オオカ	00.12/16	1羽	天合峰・紙屋入	粕谷和夫他	拝島1C
123・オオカ	00.12/20	3羽	多摩川・滝山下水管橋付近若鳥(拝島7D)、♂拝島堰上流中央の木(拝島6E)、♀拝島堰上流左岸の木(拝島6E)	佐伯直寛・三好恒雄	拝島6E、拝島7D
125・ツミ	00.12/02	1羽	川口川・堀口橋上流150m左岸TVアンテナに止まっていたが、上流方向に飛び去る。	鈴木章七他	拝島3C
125・ツミ	00.12/11	1羽	北浅川・河原橋宿大橋上空・ノスリ、カラスと飛翔中を観察	今井達郎他	拝島0A
126・ハイカ	00.12/02	1羽	北浅川・河原橋と大橋との間で北方上空を飛翔中	今井達郎他	拝島1A
126・ハイカ	00.12/16	1羽	天合峰・紙屋入	粕谷和夫他	拝島1C
129・ノリ	00.07/09	1羽	恩方・タヤけこやけ公園上空旋回	粕谷和夫他	与瀬6K
129・ノリ	00.08/05	2羽	北浅川・陵北大橋上流10m付近から北方上空飛翔中の1羽(拝島1B)、松竹公園(八王子OK)で1羽を視認	今井達郎他	拝島1B、八王子OK
129・ノリ	00.09/09	2羽	北浅川・松竹公園(八王子OK)で1羽、北浅川屈曲点(八王子OK)で1羽	今井達郎他	八王子OK
129・ノリ	00.10/07	1羽	北浅川・河原橋上流20mの上空飛翔	今井達郎他	拝島1A
129・ノリ	00.12/11	3羽	北浅川・河原橋宿大橋上空で1(拝島0A)、深沢橋と松竹橋の間で1(拝島0A)、松竹公園上空で1(八王子OK)	今井達郎他	拝島0A、八王子OK
129・ノリ	00.12/02	2羽	北浅川・河原橋と大橋との間で北方上空を飛翔中1(拝島1A)及び深沢橋上空から北西の山の樅の木に止まる1(拝島0A)	今井達郎他	拝島1A、拝島0A
129・ノリ	00.12/02	1羽	川口川・観音橋付近から天合峰方面に飛ぶ	鈴木章七他	拝島2C
129・ノリ	00.12/03	1羽	浅川中州の林・大和田橋上流側	粕谷和夫他	八王子7K
129・ノリ	00.12/11	1羽	北浅川・天使病院対岸の上空	河村道寛・洋	拝島2C
129・ノリ	00.12/16	1羽	天合峰・紙屋入	粕谷和夫他	拝島1C
129・ノリ	00.12/20	1羽	多摩川・滝山下の崖	佐伯直寛・三好恒雄	拝島6D
141・ハイブ	00.10/03	1羽	滝山公園	新田茂	拝島6D
145・チョウ'ンボ'ウ	00.07/27	1羽	多摩川・滝山下(滝山城方向より飛来し、2回程ホバリングした後多摩川上流方向に飛び去る)	三好恒雄、佐伯直寛	拝島6E
145・チョウ'ンボ'ウ	00.09/10	1羽	浅川・平山橋～一番橋・平山橋寄り	探鳥会	武蔵府中0H
145・チョウ'ンボ'ウ	00.10/14	1羽	浅川・一番橋～多摩川合流	門口一雄、青	武蔵府中4K
145・チョウ'ンボ'ウ	00.11/24	1羽	北浅川・松枝橋200m上流左岸の木に止まっていた	河村洋子他	拝島4B
145・チョウ'ンボ'ウ	00.12/10	1羽	浅川・平山中学校付近	探鳥会	武蔵府中1H

145・チウケンボウ	00.12/20	1羽	多摩川・み拝島堰上流左岸の木	佐伯直寛・三	拝島6E
145・チウケンボウ	00.12/23	1羽	小津・熊野神社付近・北側砕石場跡	粕谷和夫他	五日市9B
145・チウケンボウ	00.12/27	2羽	浅川・大和田橋～長沼橋(2羽ともカラスに追われる)	新村哲也	八王子8J
315・アノウ	00.12/06	1羽	北浅川・夜11時陵北大橋バス停付近の電線に止まっていた	柚木育子	拝島1B

## 5. シギ・チドリ類

183・ムナグロ	00.09/09	2羽	浅川・一番橋下流400m桜並木前の中洲	門口一雄、青	武蔵府中1K
183・ムナグロ	00.09/10	3羽	浅川・平山橋～一番橋(グランド前)	探鳥会	武蔵府中1H
214・クサシギ	00.09/09	1羽	浅川・ふれあい橋下流200m右岸	門口一雄、青	武蔵府中3K
214・クサシギ	00.09/10	4羽	北浅川・松枝橋上流100mで1羽(拝島4B)、北浅川・松枝住宅グランド下で1羽(拝島3B)、北浅川・天使病院裏堰付近で2羽(拝島2B)、飛び立った時、尾の白いを確認	河村道寛・洋子	拝島 2B, 3B, 4B
214・クサシギ	00.10/14	1羽	浅川・高橋橋下流200mの中洲	門口一雄、青	武蔵府中2K
214・クサシギ	00.10/15	1羽	北浅川・右岸松枝住宅グランド下・川岸を歩いていた	河村道寛・洋子	拝島3B
214・クサシギ	00.12/11	1羽	北浅川・松枝住宅グランド下・川べりを歩いていた	河村道寛・洋子	拝島3B

## 6. 託卵鳥

302・カクウ	00.07/07	声	谷地川と多摩川の合流部で鳴き声、6/22・6/28も同所で声	神谷古牧	立川1B
303・ツツドリ	00.04/29	声	今熊山	探鳥会	五日市7E
304・ホトトギス	00.05/28	1羽	裏高尾・日影沢園地西方ポンプ小屋東側から声	小池一男	与瀬9F
304・ホトトギス	00.06/01	声	小宮公園	本島てるみ	拝島7A
304・ホトトギス	00.07/01	1羽	北浅川・陵北大橋～元木橋の間で声	今井達郎他	拝島1B
304・ホトトギス	00.07/09	声	醍醐林道	探鳥会	五日市5A
304・ホトトギス	00.07/27	1羽	20号(甲州街道)水野橋から大平林道中程南側林内	川上憲	与瀬9E

## 7. 繁殖

151・シ	00.08/05	1家	北浅川・陵北大橋上流150m付近(親子連れ親♀と子3羽)	今井達郎他	繁殖4 拝島1B ②
167・ハン	00.08/13	1番	多摩川・多摩大橋下流右岸のひょうたん池。ガマの茂みに営巣抱卵中	神谷古牧	繁殖5 立川0C
354・ヒレヒ	00.04/30	1羽	裏高尾・日影沢ウッドハウス「愛林」の看板の裏へ餌をくわえながら入り込む	小池一男	繁殖4 与瀬9F ①
367・ヒドリ	00.07/01	1家	北浅川・陵北大橋上流(餌運び)	今井達郎他	繁殖4 ① 拝島1B
440・ヤマガラ	00.04/30	1羽	裏高尾・日影沢市有林管理小屋の煙突の中へ餌をくわえながら入り込む	小池一男	繁殖4 与瀬9F ①
326・カセミ	00.06/04	1羽	小宮公園・弁天池から魚をくわえて大谷方向に飛ぶ。7/12弁天池で親1+子1:親から魚をもらっていた。	本島てるみ	繁殖4 拝島7A ①②
355・ヒレヒ	00.07/13	1家	浅川・大和田橋から長沼橋(子連れ)	新村哲也	繁殖4 ② 八王子8J
356・ヒレヒ	00.07/01	1家	北浅川・松竹公園(子連れ、親1+雛3)	今井達郎他	繁殖4 ② 八王子0K
367・ヒドリ	00.08/05	1家	北浅川・福祉園裏親子連れ(親1、子2)	今井達郎他	繁殖4 拝島1A
367・ヒドリ	00.08/06	1家	板当林道600m付近、巢立ち雛連れ親子(親2+子4)	粕谷和夫	繁殖4 与瀬9K ②
409・ヤブサメ	00.07/01	1羽	巢材運び・高尾山ケーブルカー山上駅西側下登山道(何回も登山道に出てきて枯葉や枯れ草をロープにくわえて巣のあると思われる方へ運ぶ)	粕谷和夫	繁殖4 八王子0F ③
441・シユウカ	00.05/27	3組	片倉城跡公園・3組とも親子連れ	小池一男	繁殖4 八王子7G
441・シユウカ	00.07/01	1家	北浅川・元木橋上流100m右岸(子連れ、親1+雛4)	今井達郎他	繁殖4 ② 拝島1A
441・シユウカ	00.08/05	1家	高尾山4号路・巢立ち雛連れ親子(親2+子3)	粕谷和夫	繁殖4 ② 八王子0F
444・シユウカ	00.09/09	1家	北浅川・元木橋～河原宿橋(親と同じ大きさの雛に餌を与えていた)	今井達郎他	繁殖4 拝島1A ②
493・ムナドリ	00.07/13	3家	浅川・大和田橋から長沼橋(子連れ)	新村哲也	繁殖4 ② 八王子8J
503・ハボウガ	00.07/13	1家	浅川・大和田橋から長沼橋(子連れ)	新村哲也	繁殖4 ② 八王子8J

## 8. 集団囀

056・マナヅク	00.07/31	混群	高月浄水場の池にある桜の木。一方方向から見るだけで約四十羽が囀入り。全体ではその倍以上と推定。コサギが6~7割。残りがダイサギ。但し二羽のアマサギが混じる	神谷古牧	拝島6E
493・ムドリ	00.07/08	1000羽	高倉町新田公園 南西方向から200~300羽の群で断続的にやってきて、1000羽以上が公園のケヤキの木に囀入り	神谷古牧	八王子9K
特ねぐら	00.07/31	30羽	高月浄水場の池にある一番東側の桜の木。遠くから飛んでくるサギも、ためらうことなくこの一本の木をめがけて降りてきます。その数(片側から見るだけで)30羽以上で混群比率はダイサギ3~4割、残りがコサギです。但し、特筆すべき事として、少なくとも2羽のアマサギがいました。	神谷古牧	拝島6E

## 9. 行動

040・カワ	00.11/11	600羽	多摩川・浅川合流部、大群の飛来	阿江範彦	武蔵府中4K
040・カワ	00.11/18	500羽	浅川・大和田橋上空から上流へ(コサギ120羽、ダイサギ2羽とともに久しぶりに大群の飛来)。11/28に250羽、11/29も100羽の飛来	田中英吉	八王子7K
040・カワ	00.12/16	70~80羽	AM9:45ころカワウの群れ、70~80羽が我が家(宝生寺団地)の上空を北西に向かいまた南へ戻って行きました。北浅川を上ってきたのが団地まで来たものと思います。珍しい現象でした	丸山二三夫	八王子6J
059・コサギ	00.11/11	400羽	多摩川・浅川合流部、大群の飛来	阿江範彦	武蔵府中4K
245・ユリガモ	00.11/11	450羽	多摩川・浅川合流部、大群の飛来	阿江範彦	武蔵府中4K
339・コガラ	00.07/19	1羽	今日コゲラが自宅前電線に止まったり木に移ったりをしていた。コゲラも電線に止まるこちもあるんですね	大川征治	八王子8K
410・ウグイス	00.10/30	1羽	長沼公園霧降の道東斜面でウグイスのさえずりを鳴き真似。長沼公園「鳥山」西側の谷戸でホーホケキョと囀る。	馬場裕・百合亜	八王子9G
485・イカル	00.08.26	1羽	自宅前の電線/いつも聞く声とは少し違った鳴き方で5分程気持ちよさそうに鳴いてとびました。ここでははじめてで、まして電線で鳴くとは。	大川征治	八王子8K
503・ハシホリガラス	00.05/27	2羽	片倉城跡公園付近湯殿川でコイの死骸をつづっていた	小池一男	八王子7G

## 10. 事故

402・シロハラ	00.11/08	1羽	元八王子3-2750高尾台住宅内・死体(高尾台住宅の住人から庭にガビチョウのような鳥がおちているとの連絡があり、行ってみるとシロハラが既に死亡していた。	川上憲	八王子1H
488・スズメ	00.08/04	1羽	家の裏(蓮生寺公園近く)でスズメがヘビに食べられているところを見てしまいました。ヘビのほうは、親指程度の太さしかないので、スズメを丸ごと飲み込んでいて、口から足だけが出ている状態で、ツチノコ状態でした。ヘビの正体は、その後の写真鑑定でアオダイショウの幼蛇と判明しました。でもどうやってスズメをつかまえたのか不思議です。	登坂久雄	武蔵府中1D
504・ハシホリガラス	00.12/20	1羽	多摩川土手・滝山下・死骸(眼以外は損傷なし)	佐伯直寛・三好恒雄	拝島6E

## 11. その他

ガビチョウ	00.02/10	1羽	八王子市中野山王2丁目・朝、自宅の庭で囀る。他の鳥はスズメ、メジロ、シジュウカラ等が近くの梅の木にいた。餌台には粟、ミカン、ヒマワリのたね。2/10以降は我が家から喜福寺にかけての雑木林で囀る声が聞こえた。	佐伯直寛	拝島6A
ガビチョウ	00.04/08	声	宇津貫緑地	探鳥会	八王子6D
ガビチョウ	00.04/28	1羽	みつうい台2丁目・自宅から鳴き声を聞き、②④⑤は直ぐ現場に行き姿も確認、いずれも1羽。①4/28多摩病院林、②5/28多摩病院林、③6/2谷野西公園、④7/28多摩病院林、⑤9/17多摩病院林	井手龍世	拝島6B
ガビチョウ	00.04/29	声	今熊山山麓	探鳥会	五日市8E
ガビチョウ	00.04/30	1羽	みつうい台2丁目・自宅から南側丘陵雑木林からの鳴き声を聞く。7/4まで。4/30まではさえずりを聞くことはなかった。	新田茂	拝島6B



がびつお	00.05/03	1羽	暁町1-42-10自宅後ろの雑木林で5月の連休すぎでからよく囀っていた。	本島てるみ	拝島7A		
がびつお	00.05/07	1羽	八王子市暁町1丁目日立社宅の裏の雑木林でさえずっているのを見た(5/18も)	本島てるみ	八王子7K		
がびつお	00.05/24	1羽	高尾町1532-2・自宅庭のサルスベリの木でさえずり、採餌	福本順吉	八王子2G		
がびつお	00.05~数回	数羽	八王子市楢原町の楢原小学校の近くの雑木林。楢原小学校正門脇の林と浅川に面した林で確認。正門わきの林では、声と姿。浅川に面したところでは声のみ確認。	南波興之	拝島4A		
がびつお	00.06/25	3羽	裏高尾・日影沢園地付近、「日影」バス停付近、いずれも藪の中	小池一男	与瀬9G/9F		
がびつお	00.07/01	5羽	小仏川・駒木野公園付近2、高尾山・蛇滝1、4号路吊り橋1、いろはの道出合い1	粕谷和夫	八王子 1G, 0F, 与瀬		
がびつお	00.07/01	3羽	北浅川・陵北大橋~元木橋	1羽、深沢橋~松竹橋	2羽	今井達郎他	拝島1B, 0A, 与瀬9K
がびつお	00.07/02	6羽	板当林道・200m地点1, 600m地点4, 900m地点1			粕谷和夫	
がびつお	00.07/04	3羽	高尾山6号路第2ベンチ付近1、木段の左側1、3号路1			木村晴美他	八王子0E
がびつお	00.07/09	声	醍醐林道入り口付近			探鳥会	五日市8A
がびつお	00.07/12	1羽	自宅の庭の竹に止まり直ぐ飛び立つ			杉森ユリ	拝島4B
がびつお	00.07/16	4羽	北浅川・松枝橋左岸200m上流、東京天使病院対岸、浅川渓谷付近、陵北大橋~木の橋			河村道寛・洋子	拝島4B, 2B
がびつお	00.07/19	1羽	自宅前方50mくらい離れた広場の植え込みで囀る。こんな住宅地にも現れるんですね			大川征治	八王子8K
がびつお	00.07/22	1羽	片倉城跡公園・二の丸西側			小池一男	八王子7G
がびつお	00.07/27	10羽	20号(甲州街道)水野橋から大平林道中程南側林内と北側林内			川上憲	与瀬9E
がびつお	00.07/27	4羽	多摩川・滝山下(中央の道路高月に向かって右側第8球場多摩川側竹藪の近くの芝生に出て虫を採食していた。4羽のうち2羽は幼鳥と見えた)			三好恒雄、佐伯直寛	拝島6E
がびつお	00.07/29	声	高尾山・1号路、4号路、6号路			山崎悠一・久	八王子
がびつお	00.08/04	4羽	高尾山6号路(入り口付近1、木段の左側1)、3号路(橋の下藪1、琵琶滝の上1)			木村晴美他	八王子0E, 0F
がびつお	00.08/05	12羽	高尾山・蛇滝林道入り口4、蛇滝上1、4号路釣り橋1、4号路山頂手前2、江川杉1、山頂1、1号路金比羅台1、1号路第1屈曲点1			粕谷和夫	八王子 0G, 0F, 0E, 1F 与瀬9E
がびつお	00.08/05	声	高尾山・清滝駅(ケーブル)のうしろの川沿いの木で、さえずっている姿をはっきり見られた。			山崎悠一・久美子	八王子1F
がびつお	00.08/05	数羽	高尾山・一丁平、城山(小仏)、景信山、明王峠、陣馬山のすべてで囀き声を聞いた。陣馬山の手前で姿も見られた。			山崎悠一・久美子	与瀬 8E, 7F, 7H, 5H, 3H
がびつお	00.08/05	4羽	北浅川・元木橋~夕焼け橋右岸から左岸に移動した2羽を視認(拝島1A)、他の2羽は八王子0Kで声のみを聞く。			今井達郎他	拝島1A、八王子0K
がびつお	00.08/06	15羽	板当林道: 入り口1, 300m4, 500m2, 800m1, 1300m, 31600m1, 1800m3			粕谷和夫	与瀬9K, 9J, 8J
がびつお	00.08/09	数羽	長沼公園・2~3ヶ所で囀き声を聞いたが姿は見られなかった。野猿峠および周辺の野猿街道沿いでも時々囀き声を聞かれる。			山崎悠一・久美子	八王子9G
がびつお	00.08/12	14	天合峰・谷戸の沖7羽、松木入4羽、紙屋入3羽			粕谷和夫他	拝島0C, 1B
がびつお	00.08/13	声	多摩川・平堰上流中州の林			粕谷和夫	拝島8C
がびつお	00.08/15	3羽	北浅川・北浅川・上巻分方小裏の林で1羽(拝島2B)、北浅川・天使病院対岸の林で1羽(拝島2B)、陵北大橋手前の木の橋付近の林で1羽(拝島2B)、			河村道寛・洋子	拝島2B
がびつお	00.08/16	声	みつい台住宅東側隣接雑木林内			新田茂	拝島6B
がびつお	00.08/21	1羽	八王子市石川町自宅前。いつもはコジュケイやヒヨドリで目を覚ますのだが、何とガビチョウの声。観察機材を持って、飛び出すが、自宅前のケヤキとコナラ?の木の高いところを忙しく枝渡り。フィールドスコープにとらえるのがやっとで、写真を撮れる程じっとしていない。葉に着いている虫を捕っているようだ。緑は多いものの、ついに住宅地にまで出現した。もっとも既に確認されている滝山からは緑が続いているので、不思議はない。			神谷古牧	立川0B
がびつお	00.08/23	4羽	20号(甲州街道)水野橋から大平林道に入って直ぐ南側林内			川上憲	与瀬9E
がびつお	00.08/26	2羽	裏高尾・日影沢園地付近、NTTゲート手前200m、いずれも藪の中・視認			小池一男	与瀬8F/9F
がびつお	00.08/31	2羽	長沼公園			馬場裕・百合	八王子9G

ガビチョウ	00.08/31	1羽	長沼公園・頂上園地南	馬場裕・百合	八王子9G
ガビチョウ	00.09/01	2羽	高尾山6号路(大山付近1声、飛び石1声)	木村晴美他	八王子0E
ガビチョウ	00.09/02	1羽	川口川・堀口橋上流右岸側雑木林の中(声)	鈴木章七他	拝島3C
ガビチョウ	00.09/09	4羽	北浅川・深沢橋上流70m付近(拝島0A)で1羽(声)、深沢橋と松竹橋の間(八王子0K)で3羽を視認	今井達郎他	拝島0A、八王子0K
ガビチョウ	00.09/09	2羽	小仏川・梅郷橋付近1、高尾山・4号路いろはの道合流付近1	粕谷和夫	八王子0G、与瀬9E
ガビチョウ	00.09/10	4羽	北浅川・元八市民センター裏の林で1羽(拝島3B)、北浅川・松枝住宅下の公園横の林で1羽(拝島3B)、北浅川・上巻分方小裏の林で1羽(拝島2B)、北浅川・天使病院近くの林で1羽(拝島2B)	河村道寛・洋子	拝島3B、拝島2B
ガビチョウ	00.09/15	2羽	板当林道(400m地点1、700m地点1)	粕谷和夫	与瀬9K
ガビチョウ	00.09/18	7羽	天合峰・谷戸の沖5羽、松木入1羽、紙屋入2羽	粕谷和夫他	拝島0C、1B
ガビチョウ	00.09/21	4羽	大平林道中腹林内に一群4羽	川上憲	与瀬9E
ガビチョウ	00.09/25	4羽	長沼公園霧降の道中程の沢で2羽、やや下流の東側尾根で張り合うごとく囀り、地鳴きの2羽。	馬場裕・百合 亜	八王子9G
ガビチョウ	00.09/30	声	北浅川恩方・駒木野	粕谷和夫	与瀬8K
ガビチョウ	00.10/01	声	恩方・カ石・恩方マス釣り場	粕谷和夫	五日市8A
ガビチョウ	00.10/05	6羽	高尾山6号路4箇所声、3号路2箇所声	木村晴美他	八王子1F、0E
ガビチョウ	00.10/06	1羽	八王子夕焼け小焼け文化農園第1駐車場西側山の傾斜雑木林	新田茂	五日市8A
ガビチョウ	00.10/07	4羽	陵北大橋上流10m(拝島1A)、松竹橋下流(八王子0K)及び松竹公園(八王子0K)で姿並びに声で確認	今井達郎他	拝島1A、八王子0K
ガビチョウ	00.10/12	4羽	高尾山・蛇滝手前2羽、4号路吊り橋1羽、4号路頂上トイレ下1羽	粕谷和夫	八王子0F、与瀬9E
ガビチョウ	00.10/14	8羽	天合峰・谷戸の沖2羽、松木入3羽、尾根2羽、紙屋入1羽	粕谷和夫他	拝島0C、1B
ガビチョウ	00.10/15	2羽	北浅川・陵北大橋下流の木の橋200m下流左岸、木の枝に止まったり草藪に入ったりしていた	河村道寛・洋子	拝島2B
ガビチョウ	00.10/22	7羽	20号(甲州街道)水野橋際西側林内3羽、大平林道中腹林内に一群4羽	川上憲	与瀬9E
ガビチョウ	00.10/22	2羽	裏高尾・小仏城山頂上手前400mの林内・音をたてて歩き回るのを視認	小池一男	与瀬8F
ガビチョウ	00.10/22	6羽	板当林道(200m地点1、300m地点1、700m地点1、900m地点1、1300m地点2)	粕谷和夫	与瀬9K、8J
ガビチョウ	00.10/28	1羽	浅川・松枝橋～鶴巻橋	福井司郎他	拝島4A
ガビチョウ	00.10/30	8羽	長沼公園霧降の道の路上で、コナの実を啜って谷戸に飛び去った。	馬場裕・百合 亜	八王子9G
ガビチョウ	00.11/11	2羽	北浅川・右岸上巻分方小学校下流の林	河村道寛・洋子	拝島3B
ガビチョウ	00.11/11	1羽	高尾町1799番地・住宅地の庭(京王線高尾山口手前のトンネル付近の甲州街道沿いの家の庭。植木に止ま	粕谷和夫	八王子1F
ガビチョウ	00.11/11	7羽	高尾山・蛇滝上2羽、4号路吊り橋2羽、4号路頂上トイレ下1羽、1号路入り口付近2羽	粕谷和夫	八王子0F、1F、与瀬9E
ガビチョウ	00.11/18	1羽	天合峰・谷戸の沖4羽、松木入3羽、尾根3羽、紙屋入1羽	粕谷和夫他	拝島0C、1B
ガビチョウ	00.11/21	2羽	元八王子3-2153-153・自宅庭植え込み内、朝食時毎朝のようにスズメ数羽が庭の梅の木に止まっていた。その時、茶色のヒヨドリ大の鳥が梅の木の下の下から柘植の木の下の方へ移動するのを見つけ、もしかしたらガビチョウではと思ひガラス窓越しに見ると正しくガビチョウ2羽が植え込み下で何かを採餌していた。さえずりは全くなく、数分後西側の家の庭へ移動した。♀♀不明(1羽は長めの尾だったが他の1羽は極端に尾羽が短かった)。翌11月22午後3時頃、北側隣家の庭にガビチョウ3羽が採餌していた。低い所を移動しながら何かを採餌、4~5分後高尾台住宅東公園へ飛び去った。この時もさえずりは全くなかった。	川上憲	八王子2H
ガビチョウ	00.11/22	3羽	国道20号大平林道入り口直ぐ近くの南側傾斜林内	川上憲	与瀬9E
ガビチョウ	00.11/23	4羽	板当林道(700m地点2、1600m地点2)	粕谷和夫	与瀬9K、8J
ガビチョウ	00.12/01	1羽	高尾山6号路	木村晴美他	八王子0E
ガビチョウ	00.12/02	10羽	北浅川・夕焼け橋上流50m1(拝島1A)、深沢橋と松竹橋の間の右岸で1(拝島0A)、圏央道上流100m付近で8(八王子0K)	今井達郎他	拝島1A、拝島0A、八王子0K
ガビチョウ	00.12/09	4羽	高尾山・4号路吊り橋1羽、4号路頂上トイレ下3羽	粕谷和夫	八王子0F、
ガビチョウ	00.12/11	3羽	北浅川・陵北大橋左岸で声(拝島1B)、深沢橋と松竹橋の間で声(拝島0A)、松竹橋と東大沢橋の間で声(八王子0K)	今井達郎他	拝島0A、拝島1B、八王子0K
ガビチョウ	00.12/16	3羽	天合峰・谷戸の沖1羽、尾根2羽	粕谷和夫他	拝島0C

ガビチョウ	00.12/17	6羽	板当林道(350m地点1, 650m地点2, 800m地点3)	粕谷和夫	与瀬9K
ガビチョウ	00.12/30	4羽	裏高尾日影沢・NTTゲート上側200mで2羽、NTTゲート上側350mで2羽、いずれも藪の中をガサゴソと音をたてて餌を探している様子・視認	小池一男	与瀬8F
ザル	00.09/23	1頭	陣場山・ミズキの木で休んでいた	阿江範彦	与瀬3H
ソウシチョウ	00.12/01	数羽	高尾山6号路・声	木村晴美他	八王子0E
ソウシチョウ	00.12/03	2~数羽	小津・リンゴ園先の右側に北へ向かう溪流に沿った林道があり、分岐点から100mほど入った右側の斜面・視認、グエグエ・・・などと独特の声で騒ぎ、そのたびに周りのヒヨドリやカラ類、メジロ、ホオジロが大声で反応してました。寒かったせいか、周辺にガビチョウは確認できませんでした。	馬場裕・百合亜	五日市7C
イソシ出没跡	00.09/18		天合峰・谷戸の沖、松木入	粕谷和夫他	拝島0C
イソシ出没跡	00.10/12		高尾山・蛇滝上	粕谷和夫	八王子0F
イソシ出没跡	00.10/14		天合峰・谷戸の沖、松木入、紙屋入	粕谷和夫他	拝島0C, 1B
イソシ出没跡	00.11/18		天合峰・谷戸の沖、松木入、紙屋入	粕谷和夫他	拝島0C, 1B
イソシ出没跡	00.12/16		天合峰・谷戸の沖、松木入、紙屋入	粕谷和夫他	拝島0C
ガカガ	00.07/01	13匹	小仏川・上栢田橋~蛇滝入り口間で声	粕谷和夫	八王子1G, 0G
ガカガ	00.07/01	声	北浅川・河原橋下流付近、深沢橋上流付近、松竹橋上流付近、東大沢橋下流付近	今井達郎他	拝島1B, 0A, 八王子0K
カチホヘビ	00.08.28	1匹	楢原小近く的小林養鶏場の近くの道でタカチホヘビの糞死体を見つけました。八王子夕焼け小焼け文化農園	南波興之	拝島4A
リス	00.10/02	1頭	八王子夕焼け小焼け文化農園	新田茂	五日市8A
リス	00.11/03	1頭	高尾山6号路	木村晴美他	八王子0E

## 今後も以下の情報をお寄せ下さい

- 冬鳥の初認(渡り鳥、漂鳥等その年の初認、終認と思われる情報)
- 通過(旅鳥の通過情報)
- 希少種(希少種と思われる野鳥の情報)
- 猛禽類(ワシタカ類やフクロウ類の情報)
- シギ・チドリ類(シギ・チドリ類の情報)
- 託卵鳥(託卵鳥の情報)
- 繁殖(野鳥繁殖の情報。繁殖段階の区分は会報かわせみの夏号を参照下さい)
- 集団罫(野鳥の集団罫の情報)
- 行動(野鳥の行動で「おやっ!」と思われる観察記録)
- 事故(ガラス窓に衝突した落鳥等の死亡情報や事故情報)
- その他(カゴ抜け鳥や野鳥と関係ありそうな環境の指標的な動物の情報)



# 15周年記念浅川流域冬鳥一斉調査報告

事務局：門口一雄

15周年記念事業の一つである浅川流域冬鳥一斉調査を12月3日に実施しました。調査は、浅川源流付近から多摩川合流までの主な探鳥地を5か所選び、会員が分担して終日（8時～15時）行いました。結果は別表のとおり、54名の会員が参加し65種の野鳥を確認しました。

## 1 調査範囲と責任者及び参加者数等

調査地	確認した主な野鳥等	責任者 (参加者数)
①多摩丘陵と浅川下流部 (一番橋～ふれあい橋)	ルリビタキ(平山城址公園) オカヨシガモ カワセミ等 42種	下重光正 (14名)
②浅川中流(長沼橋～浅川橋)から小宮公園	オオタカ ノスリ タシギ等 46種	田中英吉 (8名)
③浅川上流 (松枝橋～小津)	アオサギ ツグミ シメ等 43種	今井達郎 (15名)
④浅川最上流部(大沢橋～夕焼けこやけ)	アオゲラ カシラダカ マヒワ(駒木野林道)等37種	門口一雄 (11名)
⑤高尾山から裏高尾	カワガラス(小仏川) ノスリ(低空飛行) チョウゲンボウ(低空飛行)等27種	丸山二三夫 (6名)

## 3 担当者の記録の一部を紹介します。

- ・殆どの出現鳥は、午前中に見られ、昼食後はバツタリと出現鳥が減った。やはり探鳥は午前中が勝負と感じられた。
- ・種の確認のみで、個体数をカウントしないので、楽しい鳥見ができた。



## 15周年記念冬鳥一斉調査

平成12年12月3日、8時00分～15時

天気：晴後曇

◎はベスト

	多摩丘陵から一番橋～ふれあい橋	浅川中流域長沼橋～小宮公園	浅川上流域松枝橋～小津	浅川上流部大沢橋～夕焼けこやけ	高尾山裏高尾		多摩丘陵から一番橋～ふれあい橋	浅川中流域長沼橋～小宮公園	浅川上流域松枝橋～小津	浅川上流部大沢橋～夕焼けこやけ	高尾山裏高尾
鳥名、参加人数	14名	8名	15名	11名	6人	鳥名					
1 カイツブリ			○			34 ハクセキレイ		○	○	○	○
2 カワウ	○	○	○			35 セグロセキレイ	○	○	○	○	○
3 ゴイサギ	○					36 タヒバリ	○	○			
4 ダイサギ	○	○	○			37 ヒヨドリ	○	○	○	○	○
5 コサギ	○	○	○			38 モズ	○	○	○	○	
6 アオサギ	○	○	◎	○		39 カワガラス	○				◎
7 マガモ	○		○			40 ミソサザイ				○	
8 カルガモ	○	○	○		○	41 ルリビタキ	◎			○	
9 コガモ	○	○	○			42 ジョウビタキ	○	○	○	○	○
10 オカヨシガモ	◎					43 ツグミ	○	○	◎	○	
11 ヒドリガモ	○	○				44 ウグイス	○	○	○	○	○
12 オナガガモ		○				45 エナガ	○	○		○	○
13 ハシビロガモ		○				46 ヒガラ					○
14 トビ	○	○	○		○	47 ヤマガラ	○	○		○	○
15 オオタカ		◎	○	○	○	48 シジュウカラ	○	○	○	○	○
16 ハイタカ				○		49 メジロ	○	○	○	○	○
17 ノスリ		◎	○	○	◎	50 ホオジロ	○	○	○	○	○
18 チョウゲンボウ			○		◎	51 カシラダカ			○	◎	
19 コジュケイ	○		○	○		52 アオジ	○	○	○	○	
20 キジ			○			53 アトリ				○	
21 イカルチドリ	○	○	○			54 カワラヒワ	○	○	○	○	○
22 ハマシギ	○					55 マヒワ				◎	
23 クサシギ	○		○			56 イカル		○		○	
24 イソシギ	○	○	○			57 シメ			◎		
25 タシギ		◎				58 スズメ	○	○	○	○	○
26 ユリカモメ	○	○				59 ムクドリ	○	○	○	○	
27 セグロカモメ	○	○				60 カケス		○			○
28 キジバト	○	○	○	○	○	61 オナガ		○	○	○	
29 カワセミ	◎	○	○	○		62 ハシボソガラス	○	○	○	○	○
30 アオゲラ		○				63 ハシブガラス	○	○	○	○	○
31 アカゲラ			○	◎		64 ドバト	○	○	○	○	
32 コゲラ	○	○	○	○	○	65 ガビチョウ			○		○
33 キセキレイ	○	○	○	○	○	確認数計	42種	46種	43種	37種	27種



# 多摩川拝島橋下流ツバメ集団ねぐら調査

渡辺 仁

## 1. はじめに

ツバメ *Hirundo rustica* はヨシ原等の草原に集団で集まって夜を群れて過ごす集団ねぐらをつくることが知られています。

そもそもツバメはなぜ、集団ねぐらを形成するのでしょうか。

集団ねぐらを形成することによって、天敵の捕食圧の軽減効果があるというもの。また、集団ねぐらは情報交換場所としての機能があるというもの（うまく餌にありつけなかったツバメは、うまく餌にありついたツバメに着いていくことで効率的な採餌場所を見つけることができる）という2つの説が有名なようです。しかし、どちらも決め手に欠け、実際は、その理由は謎である、というのが現状のようです。

カワセミ会においても、多摩川拝島橋下流付近にも集団ねぐらを形成することが、数年前からの調査・報告により知られていました。

本年（2000年）は季節的な変化を把握するために、6月～9月にかけて、原則として毎週末に継続的な調査を実施した結果について、参加された多数の調査者を代表してご報告いたします。

## 2. ねぐら入りするツバメの数え方（調査の方法）

ツバメのねぐら入りの状況を見て、A 拝島橋下流左岸（昭島市側西濃運輸倉庫前）の堤防上か、B 日野用水堰（平の堰）上流右岸（八王子側）の堤防上2地点のどちらかで、日没前後もしくは早朝にカウント調査を実施しました。本当は、2地点双方から同時に観察するのがベストでしたが、人数の関係から本調査ではねぐら入りが見られるA、Bいずれかの地点から観察する方法をとりました。

調査は、原則として6月～9月の毎週末に有志により実施しました。

ねぐら入りするツバメの数のカウントは非常に難しいです。集まったツバメから順番にねぐら入りしてくれれば、まだ数えようもありますが、上空広い範囲を舞うように飛ぶので正確にカウントするのは不可能に近いと感じました。今回は、ねぐらの規模が小さい初期の段階の調査でカウントしている調査者や前週の調査者が増減の状況を判断して、飛翔している段階の個体数の概数を推測しました。結果論ですが、比較的個体数がカウントしやすい早朝のねぐら立ち時の調査との個体数に大差はありませんでしたので、オーダーとしては個体数をとらえられたのではないかと考えています。

また、ねぐら入りした後のヨシ原等に、懐中電灯（ハロゲンライト等の光力の強いものが便利）を照らしてフィールドスコープで観察すると、ツバメの眼が無数に光り、壮観です。ツバメの総数を把握するのは難しいと思いますが、ツバメがどの位置にねぐらをとっているのか、どの程度の密度かというのは把握できます。補足的には有効な調査方法と思われます。



### 3. 2地点のねぐらを確認(調査結果①)

下図にしめすとおり、2地点のねぐらを確認しました。



2つのねぐらの位置

#### ねぐらA: 拜島橋下流左岸(昭島市側西濃運輸倉庫前)

ねぐらAは、多摩川拜島橋下流左岸に広がる河川の高水敷に形成されています。

草原は、ヨシ、オギ等で構成され、群落の高さは1.5~2.0mです。ところどころにヤナギの高木が混じりますが、ねぐらが形成されているのはヨシ、オギ等の草原部だけのようです。

ねぐらAは、ねぐら形成初期6月下旬~7月下旬に利用されています。7月下旬以降は、やや下流の中州のねぐらBに移動してしまうようです。また、9月になってから利用されることもあるようですが、南下途中のツバメが一時的に利用するためなのか、その利用状況は不安定なようです。

高水敷であることから、ヨシ・オギ群落の下は陸地であり、ノネコ等の天敵の侵入は容易なのではないかと思われます。また、冬季にねぐらが形成された高水敷を歩いてみましたが、ホームレスの簡易住宅？も設営されており、ねぐらに影響を及ぼす可能性も考えられます。

福島県の福島盆地阿武隈川河川敷に形成されたツバメ集団ねぐらの例では、ツバメの集団ねぐらは、若鳥が中心となる早い時期は、水面にヨシ群落がせりだしている状態の場所（天敵が侵入しにくい安全な場所）を利用し、成鳥がねぐらに参加するにつれ、群落の中央部（陸地）に変化することが報告されています。多摩川の例は、陸地にあるねぐらAから水面上のねぐらBに変化したわけですから、全く、逆の変化をしたこととなります。



ねぐらA（拝島橋下流左岸）の状況（2001.7.1 神谷古牧氏撮影）  
左岸の高水敷上のヨシ・オギ群落にねぐらを形成







## ねぐらB: 日野用水堰(平の堰)上流中州

ねぐらBは、多摩川日野用水堰（通称：平の堰）上流の中州に形成されていました。

草原は、ガマ、ヨシ、イ等で構成され、群落の高さは1.5~2.0mです。中州の中央部にはヤナギの高木が混じりますが、ねぐらAと同様に、ねぐらが形成されているのはガマ、ヨシ等の草原部だけのようで、ヤナギ等の樹木は利用していないようです。

ねぐらAに比べて、ねぐらBの形成される範囲は非常に小さく、よく狭い範囲に2万羽もの大群が入るものだと思われるほどです。

ねぐらBは、ねぐら形成後期7月下旬~9月上旬に利用されていました。

中州であることから、ガマ・群落の下は水面であり、ねぐらAよりは天敵の侵入という点では安全であると思われます。



ねぐらB（日野用水堰（平の堰）上流中州）の状況（2001.1 渡辺仁撮影）  
中州のヨシ・ガマ群落にねぐらを形成

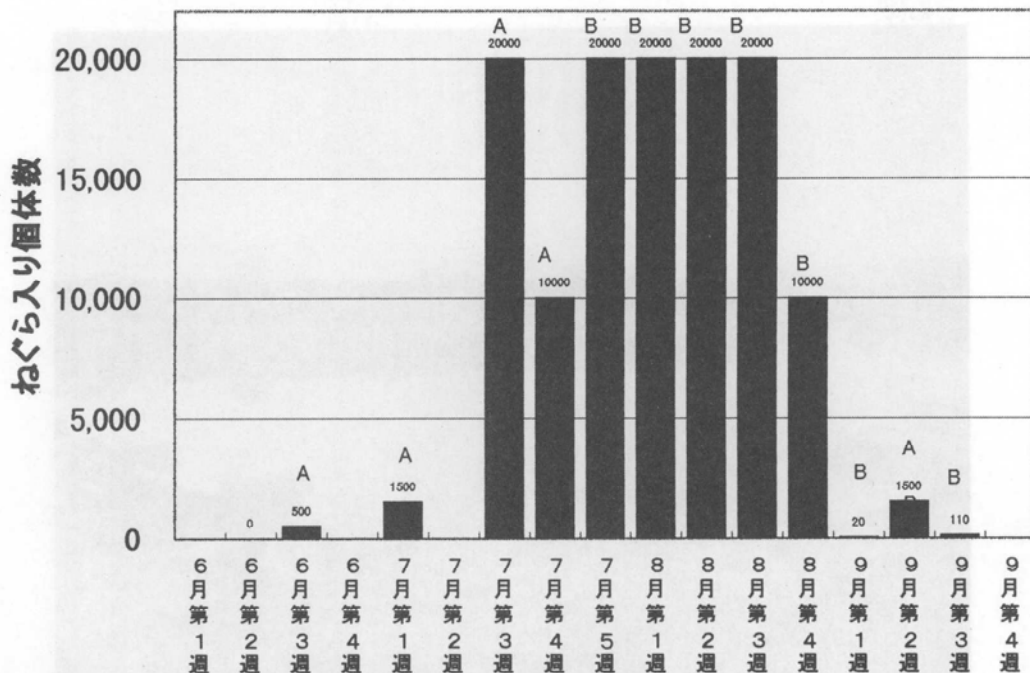
#### 4. ねぐらのピークは7月下旬から8月下旬(調査結果②)

6月18日の調査ではねぐらの形成は認められませんでした。6月25日の調査では約500羽のねぐら入りを確認されています。その後順調に増加を続け、7月16日に約2万羽でピークに達し、8月27日までその水準を維持した後に、減少し始めました。その後は不規則に増減し9月の下旬には集団ねぐらは解消していると思われます。

この変動は、都内でのツバメの繁殖状況とよく対応しており、一番仔が巣立ちし初めてから1~2週間後からねぐらが形成されはじめ、最後の雛が巣立つ8月中旬頃までピークが続き、その後越冬地への渡去するために増減を繰り返しながら減少するようです。

なお、9月に入り変動が大きくなるのは、8月までのねぐらを構成するツバメが周辺で繁殖したツバメが中心と思われるのに対して、9月以降は北方の地方で繁殖したツバメが越冬地へ向かう途中に立ち寄るためではないか、と考えられます。

2000年拝島橋下流ツバメ集団確認数の推移



#### 5. ねぐら入り・ねぐら立ちのパターン(調査結果③)

ねぐら入りの時刻は、辺りが大分暗くなる日の入時刻の約30分後でした。神谷さんの指摘によれば、ねぐら上空を一番群れ飛ぶのは、日の入時刻の20分後ですから、ねぐら入りするのはその約10分後ということになります。

集団でねぐら上空を飛び交い、木の葉落としのようにねぐら入りするパターンと、ねぐらの上空低く飛翔して、いつの間にかねぐら入りしているパターンがあるようです。ねぐら入り後は、しばらく鳴き声が聞こえる場合と聞こえない場合があるようで、一概にパターン分けするのは難しいようです。ねぐら入りした後、1本のヨシに約10羽のツバメが止まっているのが観察されるなど、かなり高密度であることが確認されています。

また、ねぐら立ちは、まだ周辺が薄暗い日の出時刻の約30分前でした。ねぐら立ちは、一気に飛び立ちはじめ、群で旋回しながら高度を上げて飛び去るパターンが多いようです。群は数群に分かれて断続的に飛び立ちます。ねぐら立ちの方が統率のとれた飛び方をするようで、上空で交錯するように飛び交うことがない分、カウントしやすいと思われます。

## 6. 2001年調査にむけて(残された疑問)

本調査によって、季節的な消長や2カ所のねぐらの変化などについて、その概況が把握されました。しかし、今回の調査はねぐらA、Bの常に2カ所で実施していたわけではないことから、ねぐらA、Bの使い分けについては、疑問が残ります。

本調査によって、6月～9月においてツバメの繁殖と渡去に関連してねぐら入り個体数の増減が起こることがわかりました。海外の調査事例では、デンマークのツバメの集団ねぐらは、4～6月の春季と、7月下旬～10月初旬までの秋季に形成されるそうです。これはおそらく、繁殖に入る前の渡来当初にも集団ねぐらを形成する時期があるということと思われます。日本では春季のねぐら報告はないのではないのでしょうか。春季ねぐらが形成されるかどうかということも非常に気になります。

ツバメの集団ねぐらには、京都や石川で実施された既往の調査報告では、少数ながら渡り途中のショウドウツバメが混じることが報告されています。また粕谷会長からはコシアカツバメを見たとの話を聞きました。目視調査での薄明時の識別は非常に難しいとは思いますが、ツバメ以外がねぐら入りするかどうか、2001年はチャレンジしてみたい項目です。

多摩川ではなく、浅川流域には本当にツバメの集団ねぐらはないのでしょうか。多摩川ほどの規模のものはないかもしれませんが、私はどこかにあってもおかしくないような気がします。明らかに拝島橋下流のねぐらに入らない個体群も存在すると考えられる観察例もあります。夕暮れ時のツバメの動向に注意すると新しいねぐらの発見があるかもしれません。

最後に・・・、ツバメがねぐらを形成するようなヨシやオギの草原は、全国的にも減少が指摘されています。広大なヨシ原はツバメのねぐらとなるだけではなく、オオヨシキリやヨシゴイ等の鳥類の繁殖地、あるいは他の動物にとっても貴重な自然環境です。ツバメのねぐらを通じて、貴重なヨシ原の環境を見守っていききたいものですね。

2001年も楽しく調査をしましょう。

### 参考図書

唐沢孝一,1991,夜鳥生態学入門 ネオン街に眠る鳥たち

Anders Pape Moller,1994,Sexual Selection and the Barn Swallow

2000年ツバメ集団ねぐら調査 生データ一覧表(1/3)

日時	確認数	観察者	場所	観察内容
6月18日 (夕)	0	渡辺仁 報告者(渡辺仁)	A	ねぐら入りは確認できない
6月25日 (夕)	約500	渡辺仁、緒方直美 報告者(渡辺仁)	A	今シーズン初のねぐら入り確認。
7月2日 (夕・雨)	約 1,500	参加者: 粕谷和夫、神谷古 牧、古山隆、渡辺仁、緒方 直美、川上憲ほか (報告者: 粕谷和夫)	A	
7月16日 (夕)	約 20,000	粕谷和夫、古山隆、関根伸 一、渡辺仁、緒方直美、山 崎悠一・久美子 (報告者: 粕谷和夫)	A	19:10 頃集まり出し、約2万羽が上空を蚊柱上 に乱舞。 19:30 迄には、目の芦原に全て入り、芦原の 中から賑やかな声。
7月30日 (夕)	約 10,000	粕谷和夫、神谷古牧、古山 隆、川上憲、、今井達郎ほ か(報告者: 粕谷和夫)	A	増入り数: わずか 状況: 上空には 7/16 の約 半分の約1万羽の出現を認めるも、観察地目 前のヨシ原には殆ど入らなかった。
7月31日 (朝)	約 20,000	関根伸一 (報告者: 関根伸一)	B	
8月2日 (朝)	約 15,000 ~ 20,000	渡辺仁 (報告者: 渡辺仁)	B	4:00 過ぎからさかんに中州のガマ、ヨシ、オギ の草原から鳴き声をする。 4:20 に第一弾が飛び出し、群で旋回しながら 高度を上げる。 4:28 までに第4群が同様に飛び出す。 おそらく、総数 15,000~20,000 ぐらいと想定さ れる。
8月6日 (朝)	約 15,000 ~ 20,000	渡辺仁 (報告者: 渡辺仁)	B	堰上流の中洲から数群に別れて断続的に飛 び出していく。8月2日と同様。
8月6日 (夕・雨)	約 20,000	粕谷、神谷、関根、丸山、 笹川、今井 (報告者: 今井達郎)	B	18:20 現地到着 18:30 ツバメが来始める 18:30 上空を数 100 羽が飛び交う 18:47 上空のツバメは数 1,000 羽に増える、 水面すれすれに飛び水浴び・水飲みを するものも多い 18:52 薄暮の状態となり更に数がふえる。上 空のツバメは高度差を持って群がり飛 び交い、ぶつからないのが不思議とお もわれるほどの数である。一旦塹に入 ったものも再び飛び立ち、塹と上空の ツバメの声が賑やかである。 19:07 大部分が塹に入るが、未だ上空に沢山 飛んでいる、コウモリが出てきた。 19:11 概ね全部が塹に入ったようだ。 19:12 観察終了 ツバメの数は約2万羽と推 定



2000年ツバメ集団ねぐら調査 生データ一覧表(2/3)

日時	確認数	観察者	場所	観察内容
8月12日 (朝)	約 20,000	参加者: 渡辺仁 (報告者: 渡辺仁)	B	堰上流の中洲から数群に別れて断続的に飛び出していく。朝のねぐら飛び出しは、毎回同じ状況で出ていく。
8月13日 (夕・雨)	約 20,000	参加者: 粕谷和夫 (報告者: 粕谷和夫)	B	台風9号が伊豆諸島沖通過中で断続的な雨の中、風は無く、18時15分頃から集まり出し、18時45分頃には約2万羽が上空を蚊柱上に乱舞。多摩川水面上にも飛び交い、18時55分迄には、平堰上のヨシ原に全て入り、ヨシ原の中から賑やかな声。 雨中で雲が低く、18時30分には暗くなる。
8月20日 (夕・曇)	約 20,000	参加者: 神谷古牧、新田茂、大川征治、白川司・史子、粕谷和夫・寿美子、関根伸一、緒方直美、渡辺仁、小沢礼子 (報告者: 粕谷和夫)	B	曇空、11名の参加、ビールを飲みながらツバメの集結を待つ。 ツバメは18時15分頃からぼちぼち上空に現れる。大きな固まり(群)が高く飛び交い、低空飛翔や水面すれすれ飛翔は少なく、19時迄にいつのまにか、堰上流中洲の畔に入る。畔入り後もいつもと違って鳴き声が殆ど聞こえない。 しかし、ヨシ原をハロゲンライトで照らすと、これに反射して光る多数のツバメの目は本当に蛍を見ているように、きれいでした。
8月27日 (夕)	約 20,000	参加者: 神谷古牧 (報告者: 神谷古牧)	B	現地入りしたのが遅い時間だったので、上空を飛ぶ姿は無し。また、私以外カワセミ会の会員は見あたりませんでした。 ハロゲン電球にパワーアップした懐中電灯とフィールドスコープで中洲を見ると、無数のツバメが畔入り済みであった。(この時、オオタカが薄暗い中を飛んでいった)その数は8月20日の観察会と同程度であった。
8月28日 (夕)	約 10,000	参加者: 神谷古牧 (報告者: 神谷古牧)	B	現地入りしてまもなくツバメがやってくる。たまに肉眼で見えるが、上空高く、ほとんど見えない。推定一万羽。(二万羽とした時よりは群が小さい) 過去の私のデータ通り、東京の公式日没時刻の約二十分後が一番群れ飛ぶ。畔入りする瞬間は、何故か確認できず、上空を群れ飛ぶ姿が、双眼鏡でいくら探しても、どうしても見つからなくなって初めて、畔入りしていたことがわかる。昨日同様無数のツバメがいる。懐中電灯で照らし、フィールドスコープ20倍で見て、視界の中に100羽以上観察できる。ヨシが強いのか、ツバメが軽いのか、よくぞこんなに止まられると思う。 畔入り確認時刻 18:40。



2000年ツバメ集団ねぐら調査 生データ一覧表(3/3)

日時	確認数	観察者	場所	観察内容
8月29日 (夕)	約 5,000 ~ 10,000	参加者: 神谷古牧 (報告者: 神谷古牧)	B	18:25~18:50 10,000~5,000 羽が肉眼でやっ との高空を旋回。 18:41 突然増入り
8月30日 (夕)	約 5,000 弱	参加者: 神谷古牧 (報告者: 神谷古牧)	B	18:15~18:50 5,000 羽弱が高空を旋回。 18:40 頃増入り
9月2日 (夕)	約 20	参加者: 渡辺仁、緒方直美 (報告者: 渡辺仁)	B	18:00 頃に上空を下流方向に通過する 20 羽 のみ。ねぐら入りしない。しかし、ライトで照ら すと数羽は入っているようである。
9月3日 (夕)	数羽	参加者: 神谷古牧ほか 14 名 (報告者: 神谷古牧)	B	18:20 9羽の群が上空通過(久保山町方向へ 飛ぶ) 18:30 30 羽ほどの群が水面を飛ぶ 18:40 二本のハロゲンライトで照らすと、数羽 が増入りしていることが確認できた。大 群での上空旋回は全くなし。情報に依 れば、数日前から姿が見えなくなったと のこと。
9月10日 (夕)	約 1500	参加者: 渡辺仁、緒方直美 (報告者: 渡辺仁)	A	平の堰上流(B)で観察しているが、18:10 頃 に左岸側の上空を飛翔し、かたまりで渦巻くよ うに増時前飛翔しているが、やがて下降し見え なくなる。多摩川左岸西濃運輸側(A)に増入 りしたと思われる。平の堰側ではライトで照らし ても1個体も確認できず。
9月17日 (夕)	約 110	参加者: A粕谷和夫、渡辺 仁、緒方直美、B神谷古牧 (報告者: 渡辺仁)	B ?	左岸昭島市側(A)から観察。 17:30 頃には、上空を飛翔している数個体 がある。 また、八高線鉄橋上空あたりを飛翔する 50 羽程度、また上流方向で飛翔する 60 羽程度 が観察されるが、どこに増入りしたかはわから ず。 同時に八王子側で神谷氏が観察している が、平の堰上流(B)の中州ヨシ原に5~6個 体のツバメの眼を確認したとのこと。

拝島橋下流以外の報告

日時	確認数	観察者	場所	観察内容
8月13日	—	参加者: 渡辺仁、緒方直美 (報告者: 渡辺仁)	稜北大橋下流	稜北大橋の下流。始めは稜北大橋上空やアンテナ山付近上空を飛翔している。 18:17 頃から上空を下流側に飛翔するものが現れる。しばらくは、アンテナ山より下流の左岸側で鳥柱を飛翔しているが、18:40 頃、70 羽程度が一斉に右岸側の堤防並木の上空を越えて南東側へ消える。北浅川にはまだ数羽が残り、水面上低く、飛び回っているが、暗くなり見えなくなる。おそらく近辺にねぐらを取っているとおもわれる。
8月16日	—	参加者: 清水盛通 (報告者: 清水盛通)	下恩方町	16:00~16:30 74 羽 16:30~17:00 59 羽 17:00~17:30 108 羽 17:30~18:00 131 羽 18:00~18:30 230 羽 18:30~19:00 73 羽 18:40 を最後に通過終わり この時期、昼間は恩方の山々の上空にはツバメが飛び交っています。 そして夕方端を目指して帰っていきます。いくどとなく目撃するので夕方屋上よりカウントを試みました。 前半の移動方向は北東方向にシフトしています。サマーランド方面にも端があるのでしょうか？時間を追うにつれ東が多くなり方向としては拝島橋方面です。また最後の方は行きつ戻りつといったことはなく一気に飛んでいきます。 小型のタカが出現したときは、25~30羽程が取り囲み警戒飛行を行っている様子も見えました。 一人でのカウントです。確度は十分ではありませんが傾向はつかめていると思います。



## ハクセキレイの集団ねぐら (2000年7月~12月)

### 八王子市横山町三角広場 (八王子7J) 倉本 修

#### (1) ねぐら入りした時間と個体数

7月28日 (曇)	18時51分~19時06分	約122羽
8月29日 (晴)	18時26分~18時35分	約85羽
9月26日 (晴)	17時44分~17時54分	約96羽
10月24日 (曇)	17時08分~17時19分	約318羽
11月27日 (曇)	16時34分~16時47分	約239羽
12月26日 (晴)	16時53分~17時03分	約496羽

#### (2) ねぐら入りした樹木

7月28日：一番大きいクスノキだけに集中した。

8月29日：9月26日、10月24日

小田原屋ビル西側にある小さなクスノキ3本に分散。

11月27日・12月26日

甲州街道沿いにある5本のヤマモモに分散。それ以外の樹は枝の刈り込みをし、豆電球を飾り付け、点燈していた。そこには一羽も入らなかった。

#### (3) 気づいた点

(A) 10月24日の318羽というのは、これまでの最大個体数で何処かのねぐらから集団移動してきたのではないかと疑う程の増加だった。

(B) 10月24日観察していると、ねぐら入りする前に交差点の西北部の建物の屋上に終結するグループが現れたことに気がついた。そのグループの大半は交差点を直接斜めに横切って飛び込んできた。直線距離にすると100m以上あると思う。

(C) 従来のねぐら入りは、北側の富士銀行の屋上に一度終結するというのが普通だった。

八王子市北野町西東京三菱北野ショップ (八王子8J) 調査無し

# 元信和通信機の北側の歩道街路樹(八王子3G)横山由美子

(信和通信機の建物は取り除かれ現在はホンダクリオ新・東京八王子店となっています)

月日	観察時間 (午後)	天気	数	メモ
1月28日	6:00		0	セキレイの巣になっていたエンジュ3本の内、真ん中の1本はホンダクリオ店の出入り口となったため取り除かれている。残ったエンジュは枝を殆ど落とされている。
2,3月			0	エンジュは丸坊主状態のため巣としては使われていない。
4月			0	枝の伸びが十分でなく巣としては使われていない。
5月21日	6:32	晴	4	ハク電線上に。入り込んだかどうかは不明
5月22日	6:45 ~ 6:50		2	ハク電線上に。入り込んだかどうかは不明
6月20日	7:10 ~ 7:15		20+	エンジュ1本だけに入り込んだ。ハク、セグロ、セグロ地鳴き
6月26日	7:30		+	エンジュの中に入っている姿が見える。
7月9日	7:00 ~ 7:25	晴	52	7:15頃からセグロセキレイも来ている。
7月11日	7:00 ~ 7:15	晴	30	ハク、セグロ
7月18日	~ 7:15	雷	50	ハク、セグロ
7月20日	~ 7:15	晴	24+	ハク、セグロ。エンジュの花咲いている。
8月14日	6:40 ~ 6:55	晴、前日は雨	82	車道側路上はフンで白くなっている。
8月22日	6:30 ~ 6:45	晴	57+	よく入っている。
8月29日	6:50	晴	+	入り込みは終わっている。葉の陰に姿が見える。虫が鳴いている。
9月5日	6:00 ~ 0.25	雨、暗い	20+	ハク、セグロとも地鳴き。飛んできて直ぐにエンジュに飛び込む。
9月6日	6:10 ~ 6:20	明るい雨上がり	86	少し入っている。ヨーカドー屋上アンテナ→ホンダクリオ店屋根→エンジュの順。
9月9日	6:15	曇	+	既に入り込み終了。
9月9日	6:15	遠雷、夜半雨	+	既に入り込み終了。ハクの姿のみ確認。
9月11日	5:55	雨	+	5~10羽が屋上にいる。
9月12日	6:15	雨上がり	+	既に入り込み終了。姿が見える。別に6:00頃、スリーボンド本社屋上アンテナに5~6羽が集まってから近くの常緑広葉樹に入り込む姿が見えた。
9月13日	6:15		0	姿が見えない。
9月14日	6:08 ~ 6:10	曇	12	殆ど鳴かない。
9月19日	6:00		0	エンジュの葉陰に姿は見えない、路上のフンもごく少量。
9月20日	6:00		0	//
9月22日	6:00		0	//
9月24日	6:00		0	//
10, 11, 12月			0	毎月数回は見に行っているが、これ以後12月まで入り込み、またはとまっている姿を見ることはなかった。また、12月にはほとんどの枝が切り落とされてしまったため、当分セキレイが巣として使うことは出来ない状態。

## 1998年から2000年までの変化

年次	初認	終認	セキレイ初認	最高数を数えた日	最高数
1998	4月22日	10月11日		7月19日	40以上
1999	7月6日	9月11日	7月15日	8月8日	84
2000	5月21日	9月14日	6月20日	9月6日	86

またこの界隈で元信和通信機北側以外に確認できた小規模な巣は次のとおりです。

### 1. スリーボンド本社南西角常緑広葉樹

年次	初認	終認	備考
1999	9月12日		ハクセキレイねぐら入り前集合
2000	9月12日		ハクセキレイねぐら入り(5羽)

### 2. 狭間町の狭間住宅敷地内の北西角常緑広葉樹と針葉樹

年次	初認	終認	備考
1999	12月18日	12月31日	ハクセキレイねぐら入り(最高4)
2000	1月4日	4月24日	ハクセキレイねぐら入り(最高13)

千美由山鳥(206千王八)樹器諸藍巻の博士の對語藍味器示  
(てま/てーまう千王八鳥、諸本いくやく本お羽野ハは納り羽石味製の新器藍味器)

## ヒメアマツバメの動向 (2000年7月~12月)

### 1. 京王線高尾駅西側ホーム高架下・八王子2G (川上憲調査担当)

8月29日・夕 使用中と思われる巣0個確認、帰巢無し

11月26日・夕 使用中と思われる巣0個確認、帰巢無し

1999年8月に2羽を確認した後、帰巢が確認できない状態が続いている。  
放棄したと思われる。古巣は2個残っているが一部破損している。

### 2. 八王子学園八王子高校体育館・高床の下 (ピロティ) 八王子5J

(川上憲調査担当)

8月9日・昼 ヒメアマツバメ約10羽が周边上空を巡回しては頻繁に巢に  
出入りしていた (ヒナが巢中にある模様)。

8月26日・夕 使用中と思われる巣40個確認、75~80羽帰巢確認 (18:10  
~18:35)

11月28日・夕 使用中と思われる巣50個確認、約80~85羽帰巢確認  
(16:05~18:35)

一度入巢した後、再び飛び出すものがいて、数は確定できない。  
11月の観察で巣の数や帰巢状況からみてヒメアマツバメは増  
えているように思われる。

### 3. 京王線高尾山口駅東側高架下 八王子1F (川上憲調査担当)

(95年に発見された所)

8月30日・夕 使用中と思われる巣2個確認、2羽 (又は3羽、暗くて特定不  
能) 帰巢確認放棄と復活を繰り返している所で、暫く確認していな  
かったが、8月25日夕方高尾山口駅付近でヒメアマツバメの飛翔  
を観たので、8月30日調査し、復活を確認した。従来よりかなり  
駅改札口に寄ったトイレ東側の高架下にあった。昼間の調査では出  
入りなく、ヒナは無い模様。イワツバメはなく、スズメがイワツバ  
メの巣を数個利用していた。

11月27・29日・夕 使用中と思われる巣1個確認、帰巢確認出来ず。

8月30日は2羽の帰巢を確認できたが、今回は2日とも確認でき  
ず。ヒメアマツバメのすぐ横にはドバトの集団がネグラをとって  
おり、スズメも周りの巣を利用しているため、巣の下の糞はドバトか  
スズメかヒメアマツバメか特定できない。



4. 東浅川小学校校舎（屋根裏） 調査せず

5. 浅川・中央高速道橋下・拝島4A（福井司郎、福島弥四郎調査担当）調査せず

6. 南大沢駅・武蔵府中0D（木村信幸調査担当）

12月3日 朝（6:20～8:00）15巣確認（使用中かどうか不明）、

（内訳：駅北側多摩ニュータウン通り12巣，駅構内3巣）

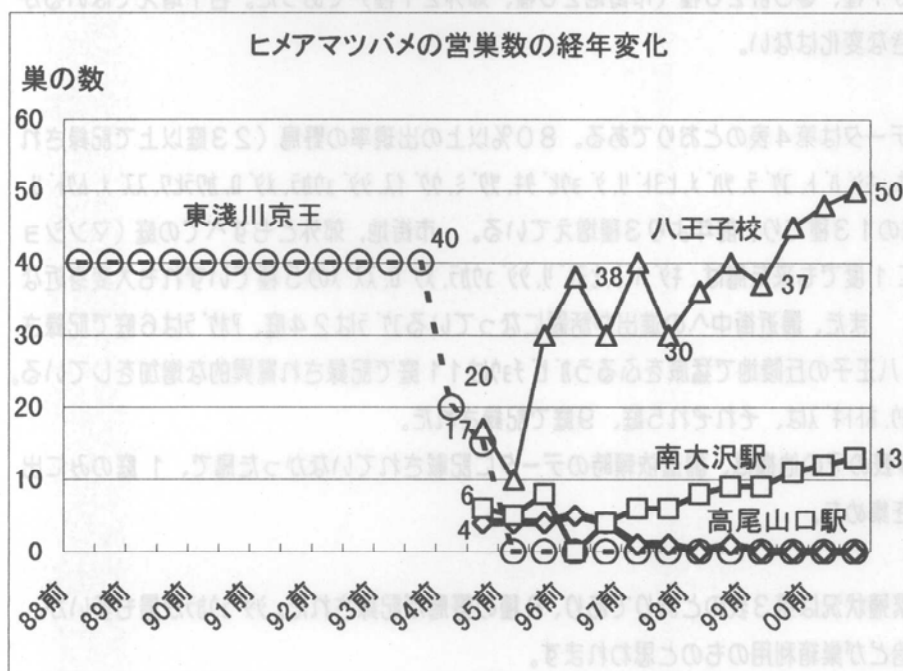
7羽の巣から飛び出し確認（6:56～7:21）

（内訳：駅北側多摩ニュータウン通り5羽，駅構内2羽）

イワツバメは駅北側多摩ニュータウン通りでは1998年以降繁殖していない。

駅構内は96年から繁殖開始、97年に8巣で繁殖ピークになったが、ヒメアマツバメの進出（？）で繁殖は2に減少。

（参考）八王子市内ヒメアマツバメ営巣地別営巣数の経年変化





(第1表) 2000年に会員の庭及びその付近に訪れた野鳥の種類数

注：本表は第4表を基に作成した M：マンション	市街地				郊外			計	
	庭	M	計	累計種類	庭	M	計		累計種類
調査に参加した会員(庭等)数	8	0	8		19	2	21		29
●実際に1回でも庭に来た鳥の種類数	24	0		24	33	3		33	累計種類
○庭の付近に来た鳥の種類数	11	0		11	8	20		9	
●○合計	35	0		35	41	23		42	44

(第2表) 1庭当たりの平均飛来種類数(2000)

注：本表は第4表を基に作成した M：マンション	市街地			郊外			計
	庭	M	計	庭	M	計	
調査に参加した会員(庭等)数	8	0	8	19	2	21	29
●実際に1回でも庭に来た鳥の種類数	15	0	15	14	2	12	13
○庭の付近に来た鳥の種類数	5	0	5	7	13	8	7
●○合計	20	0	20	21	15	20	20

(第3表)2000年・我が家の庭で繁殖した野鳥

八:八王子 梓:梓島、武:武蔵府中、立:立川	市街地(M:マンション)							郊外(M:マンション)													合計・産数											
	大室君子	箱谷夫妻	小池一男	久保田ヤス子	佐伯直寛	杉森ユリ	峯尾良雄	三好恒雄	小計・産数	新井洋子	井手龍世	今井達郎	上田昌生	大川夫妻	小笠原敏子	門口一雄	川上憲	木村正子	白川夫妻	千葉楓子		永見博子	新田茂	平井豊	福本順吉	星野美美子	丸山二三夫	本島てるみ	山崎夫妻	小計・産数	M木村信幸	M横山由美子
メッシュ位置	武0G	八6J	梓4A	八4H	梓4A	梓6B	梓5A		八5G	梓6B	梓1A	梓1D	八8K	八8F	八7G	八2H	武0C	梓1F	八3J	梓4A	梓6B	梓1C	八2G	立1G	立1C	梓1K	八7G	武0G		武1E	八3G	
296 キジバト		②	③	②				5	②										②											4	④	9
347 ツバメ					③	③		2	③						①												③		3		5	
367 ヒヨドリ		②		③	③	①		4	②③			③	①③			③					③						③	9	④	13		
441 シジュウカラ	①			③				2	③	③		①	①		①	③				②	①	①	③		②	③	16	④	18			
444 ギロ									③				①③			③													4		4	
488 スズメ	①			①	③	③		4	③			①	①		①	③			①	①	③				②	①	10		14			
493 ムクドリ				③	①			2																								
498 オナガ									③			③																2		2		
計①営業巣立ち	2		1	1	1	1		6			2	2	2	1	3				1	1	1	1	1			1	16		22			
②営業途中放棄		2			1			3	2											1	1					2	1	7		10		
③親子連れ来庭			1	4	3	2	10	4	3		2	2			4						3	1				3	22		32			
④隣の庭で営業																												3	1	2	3	
合計①②③④	2	2	2	5	5	1	19	6	3		4	2	4	1	3	4			2	2	4	1	2		2	1	4	48	1	2	67	

注：郊外の小計、産数はMも含めた数字

(第4表)2000年・我が家の庭に来た野鳥調査結果

八: 八王子 拝: 拝島、武: 武蔵府中、立: 立川	市街地(M:マンション)							郊外(M:マンション)														合計・ 座数											
	大室 君子	粕谷 夫妻	小池 一男	久保 田ヤス子	佐伯 直寛	杉森 ユリ	釜尾 良雄	三好 恒雄	小計・ 座数	新井 洋子	井手 龍世	今井 達郎	上田 昌生	大川 夫妻	小笠 原敏子	門口 一雄	川上 憲	木村 正子	白川 夫妻	千葉 禎子	永見 博子		新田 茂	平井 豊	福本 順吉	星野 美英子	丸山 二三夫	本島 てるみ	山崎 夫妻	小計・ 座数	M木村 信幸	M横山 由美子	
メッシュ位置	武 OG	八 6J	拝 5A	八 4H	拝 6A	拝 4B	拝 6A	拝 5A		八 5G	拝 6A	拝 1D	八 8K	八 8F	八 7G	八 2H	武 OF	拝 1C	八 3J	八 4A	拝 6B	拝 1C	八 2G	立	拝 1C	八 7K	武 OG		武 1E	八 3G			
088 カルガモ							○		1																						1		
149 コジュケイ					○	○	○		3	○	○		○	○	○								○	○		○				8	11		
キジ						○			1																					○	2		
296 キジハト	●	●	●	●	●	●	●	●	8	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	19	○	29		
302 カッコウ					○				1	○		○											○	○		○			4	5			
304 ホトキス	○								1		○						○	○				○	○	○	○	○	○		8	9			
331 アオケラ							○		1	○					○	○						○	○						5	6			
339 コケラ	○	●	●	●	●	●	●	●	7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	16	○	24		
347 ツハメ	○	○	○	○	○	○	○	○	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	○	28		
354 キセキレイ	○	●	●	●	●	●	●	●	4			●					○	○				○	○						4	○	9		
355 ハウセキレイ	○	●	●	●	●	●	●	○	6	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		11	○	18		
356 セグロセキレイ		●				●	○	○	3		○	○					○	○				○	○						6	○	10		
367 ヒヨドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	8	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	19	○	29		
369 モズ	○	●	●	●	●	●	○	○	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		15		22		
386 ルリビタキ	○								1			●											○						3		4		
387 ショウビタキ	●	●	●	●	●	●	●	●	8	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17	○	26		
402 シロハラ	●								1		●					●										○			3		4		
405 ツグミ	●	●	●	●	●	●	●	●	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	○	24		
410 ウグイス	●	●	●	●	●	●	●	●	8	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	○	26		
435 エナガ				●					1	●		●	○					○	○			○	○						7	○	9		
439 ヒガラ												●											○						2		2		
440 ヤマガラ										○	●	●				●						○	○	○	○	○			8	○	9		
441 シジュウカラ	●	●	●	●	●	●	●	●	8	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	19	○	29		
444 メジロ	○	●	●	●	●	●	●	●	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	○	29		
449 ホオジロ	○			○	○				3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12		15		
455 ガシラダカ	○								1	○	●									○		●							4		5		
461 アオジ	○			●	●	●			4	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		8	○	13		
471 カワラヒワ	●	○	○	○	○	○	○	○	8	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	○	26		
485 イカル										○	○	●	○	○								○	○	○	○	○			9		9		
486 シメ	○								1						●							●	●						3		4		
488 スズメ	●	●	●	●	●	●	●	●	8	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	19	○	29		
493 ムクドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	○	28		
498 オナガ	●	●	●	●	○	○			7	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	○	23		
503 ハシホソガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	○	22		
504 ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	○	26		
ドバト	○	○	○	○	○	○	○	○	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5	○	11		
カビチョウ				●					2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9		11		
その他							アオ		1	カ	ミ											ア	アカ、オ、キ					6		7			
種類計	●	12	9	18	13	21	19	17	10	[15]	17	14	9	26	18	11	12	17	13	10	9	13	17	16	13	13	11	9	12	[14]	1	3	[13]
	○	14	5	1	3	3	3	6	7	[5]	6	10	9	0	6	7	11	7	5	7	9	5	11	5	20	2	7	9	6	[7]	9	18	[7]
●○合計		26	14	19	16	24	22	23	17	[20]	23	24	18	26	24	18	23	24	18	17	18	18	28	21	33	15	18	18	18	[21]	10	21	[20]

種類計欄の[ ]内の数字は平均を表す

●: 1年間の内、最低1回でも実際に庭に飛来したもの

○: 上記の庭の付近に飛来したもの(例えば隣り近所に来たもの、自分の庭で声を聞いたものなど)

注: その他欄 ア: アカハラ、アオ: アオハスリ、アカ: アカケラ、オ: オオルリ、カ: カケス、キ: キビタキ、ミ: ミソサザイ

上田さんのミソサザイと新田さんのアカハラが●で、他は○。 その他欄のアカ、オ、キは福本さんのデータ



## 2000年浅川流域イワツバメ営巣調査

取りまとめ：粕谷和夫

この調査は1987年から毎年行っているもので2000年は14年目となった。調査方法は前年までと同じで、5月から7月の間に2回、その年に繁殖に利用している巣の数をカウントして、多かった方をその場所の営巣数とした。浅川流域を川筋別に16に分割し、その他に谷地川、程久保川及び大栗川を加えて行った。調査区域と調査者は第1表、結果は第2表の2000年欄の通りであり、前年よりやや増加した。

調査者からの主なコメントは次の通りである。人による破壊がかなり有るのは残念である。

- ③北浅川中央高速道橋下：中央高速道橋下にホームレス2名が生活していること、橋の耐震工事以来イワツバメの巣が撤去され、巣の数は少なくなってきている。他にヒメアマツバメの巣が2個有りました。
- ④大和田橋は復活の兆しがみられます。暁橋には壊れかかった使われてない巣が6個ありました。
- ⑩都立八王子工校体育館の巣は昨年までは一部残っていた（使われてなかったが）ものの、今年は無残にも全部の巣が落ちていた（原因は分からない）。
- ⑪市立八王子高校体育館：巣の数は前年と大差ないが、実際の営巣数は大幅に減った。隣に8階の校舎を新築中で工事の影響かも。しかし、一緒にあるヒメアマツバメの巣は前年より多いと思われる。
- ⑫南多摩病院：前年より4個多く6個となったが、別の4個がスズメにより破壊された。
- ⑬台町市民センター：駐車場の天井のため問題がある。5個造巣したが、途中で2個が人為的に破壊された。7月20日の調査時難は巣立した後だが、全部破壊されていた。来年に影響がなければよいが。
- ⑭都立第二高等学校：今年は8個巣造りをしたが、7個が人により破壊された。自転車置き場で天井が低いので悪戯されやすい。校長と守衛さんに保護を頼んでおいた。
- ⑮JR八王子駅：駐車場側の天井の32個が人により破壊された。車に糞をされるので壊したと思う。
- ⑯片倉小学校：営巣は1個で7個の巣の巣が落とされていた。巣が昇降口に有るため子ども達に糞がかかるので落とされたのか？
- ⑰谷地川・八幡宿橋に始めて営巣した。
- ⑱中央高速下石川西児童公園が久しぶりに回復した。



(第1表)2000年イワツバメ営巣調査地域と調査者

	調査地域	調査者
①	北浅川 (大沢橋～陵北大橋)	今井達郎、関根伸一、清水盛通、柚木鎮夫、白川司・史子、笹川佳子
②	北浅川 (陵北大橋～松枝橋)	河村道寛・洋子
③	浅川本流 (松枝橋～鶴巻橋)	福井司郎
④	浅川本流 (鶴巻橋～大和田橋)	倉本修、田中英吉
⑤	浅川本流 (大和田橋～長沼橋)	新村哲也
⑥	浅川本流 (長沼橋～一番橋)	山崎悠一・久美子
⑦	浅川本流 (一番橋～多摩川合流)	門口一雄、青木繁昌
⑧	川口川 (川口橋～明治橋)	鈴木昌七、川戸恵一、井手龍世、杉森熊二・ユリ、石井昇・よし子
⑨	川口川 (明治橋～浅川合流)	佐伯直寛
⑩	南浅川 (案内橋～敷島橋)	川上恵、横山由美子
⑪	南浅川 (敷島橋～浅川合流)	小池一男
⑪	南浅川・八王子総合福祉センター	川上恵
⑪	南浅川・南多摩病院他	平井国二
⑫	城山川 (月夜峯新橋～浅川合流)	木村晴美
⑬	山田川 (山田橋～浅川合流)	平井国二
⑬	山田川・市民会館	粕谷和夫
⑭	湯殿川 (白旗橋上流部)	横山由美子、川上恵
⑮	湯殿川 (白旗橋～時田橋)	三富恒男
⑯	湯殿川 (時田橋～浅川合流)	加藤岸男
⑰	程久保川	青木繁昌
⑱	谷地川 (月夜橋～新左入橋)	新田茂、井手龍世
⑱	谷地川 (新左入橋～多摩川合流)	大川征治・香
⑳	大栗川	木村信幸

(第1図)浅川、谷地川、大栗川のイワツバメ営巣数及び営巣ヶ所数



(第2表) イワツバメ営巣数 (○内数値は前表の流域別に対応) 単位: 巣数 (X: 人による破壊、-: 未調査)

	マツノNo	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	1998	1999	2000
①北浅川(大沢橋~陵北大橋)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②松枝住宅(A)	拝島3B	-	-	X	3	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	拝島4A	17	30	34	14	16	0	12	13	12	16	15	28	10	14
③市立第2中学校(A)	拝島5A	-	16	2	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④萩原橋(B)	八王子6K	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④浅川曉橋(B)	八王子7K	0	14	42	35	21	22	17	11	3	8	1	0	0	0
④浅川浅川大橋(B)	八王子7K	0	0	0	6	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤浅川大和田橋(B)	八王子8J	69	60	39	36	7	0	0	3	0	10	18	15	7	36
⑤北野清掃工場(A)	八王子8J	X	X	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤ヤマシ生コン工場(A)→西東京生コン	八王子8H	25	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤浅川JR中央線鉄橋高架(C)	八王子9H	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
⑥浅川長沼橋(B)	八王子9H	0	0	0	0	10	6	3	0	0	0	0	0	0	0
⑥浅川滝合橋(B)	武蔵府中0H	0	0	0	0	0	9	19	19	20	22	17	7	5	3
⑥平山中学校	武蔵府中1H	-	3	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦浅川一番橋(B)	武蔵府中1J	1	0	0	0	2	12	6	0	1	6	1	2	6	4
⑦浅川高橋橋(B)	武蔵府中2K	1	0	0	5	0	5	20	25	11	0	0	0	0	20
⑧川口児童館(A)	拝島2C	-	-	2	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨陶館小学校(A)	拝島4C	-	1	0	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨中央道中野山王町高架(B)	拝島6A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0
⑨清水小学校(A)	拝島5A	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨シンワ(株)(A)	拝島5A	-	9	5	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨榎原中学校(A)	拝島5B	-	X	5	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨川口川吹守橋(B)	拝島6A	0	0	0	0	0	4	0	4	8	3	0	0	0	0
⑩京王高尾山口駅(C)	八王子1F	6	7	6	10	7	20	13	15	20	15	15	23	25	40
⑩京王高尾駅(C)	八王子2G	10	5	5	20	20	20	20	15	18	17	20	25	20	30
⑩高尾駅南口マンション(A)	八王子2G	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	20	40
⑩東浅川小学校(A)	八王子3G	0	0	0	0	0	0	1	5	13	0	0	0	0	0
⑩京王線東浅川小学校前(B)姫天燕	八王子3G	20	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪私立八王子高校体育館(A)	八王子5J	-	-	-	-	-	-	-	100	50	40	30	27	94	45
⑪南浅川東横山橋(B)	八王子4J	6	8	5	0	0	0	4	2	7	6	6	3	3	0
⑪都立八王子工校体育館(A)	八王子4J	0	0	5	7	8	8	13	6	3	0	0	0	0	0
⑪八王子総合福祉センター(A)	八王子3H	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	0	1
⑪南多摩病院(A)	八王子5J	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	2	6
⑪台町市民センター(A)	八王子5J	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	3
⑪都立第2商業高校(A)	八王子5J	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	1
⑫城山川(月夜峯新橋~浅川合流)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬JR八王子駅(D)	八王子7J	50	92	45	51	117	100	120	120	148	43	38	70	148	118
⑬八王子市民会館(A)	八王子6J	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	6	2	2	0
⑬湯殿川新田中橋下	八王子5H														造巢中
⑬イトヨーカドー八王子店駐車場ビル5階	八王子3H														11
⑬はざま住宅(A)	八王子3G	-	-	-	-	-	-	-	27	7	1	2	0	3	3
⑬メジロ台ハイム(A)	八王子3G	-	-	-	-	-	-	-	0	1	0	0	0	0	0
⑬スリーポンド本社(A)	八王子3G	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	23	37	9	6
⑬大信プラスチック(A)	八王子3G	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	17	24	14	9
⑬富士重工第2スバル寮(A)	八王子3G	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1	0
⑬JR片倉駅(C)	八王子7G	0	0	0	0	5	12	14	10	12	27	19	8	0	12
⑬片倉台小学校(A)	八王子7F	0	0	0	0	0	0	0	4	0	3	5	0	0	1
⑬片倉サンライズ幼稚園(A)	八王子7F	0	0	0	0	8	10	25	0	0	0	0	0	0	2
⑬湯殿川東橋(B)	八王子7G	-	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
⑬兵衛川横浜線鉄橋(C)	八王子8H	0	0	0	0	3	4	0	0	4	10	3	0	0	7
⑬湯殿川打越大橋(B)	八王子8G	0	0	0	0	0	0	2	11	4	2	0	0	0	0
⑬湯殿川時見橋(B)	八王子8G	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	0	0	0

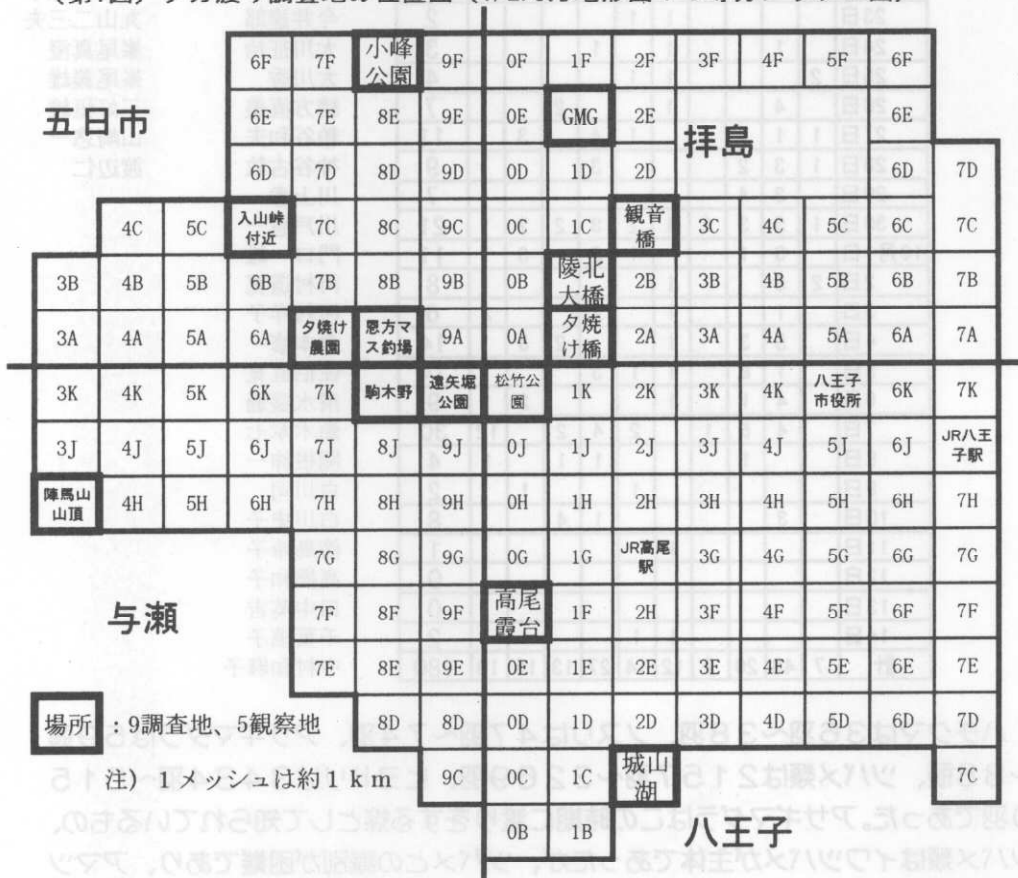


## 2000年、秋のサシバ渡り調査

取りまとめ：粕谷和夫

2000年は12カ所（第1図）で、9月15日から10月14日まで調査した。通過するサシバ、ハチクマ等の渡り鳥及び渡りをする蝶・アサギマダラのカウント調査を実施した。調査には延べ180名の八王子カワセミ会会員が参加した（第1表）。本年のテーマは①数のカウントと経年変化、②ルート探索、③渡る時期、④渡るワシタカの種類であり、本年もEメールを使い関東近辺の調査グループと情報の相互交換を行った。

（第1図）タカ渡り調査地の位置図（1/2.5万地形図10等分メッシュ図）



### 1. サシバ、ハチクマ、ノスリ等の通過羽数(数のカウント)

サシバは第2-1表の通りで、全体では596羽~1223羽通過した。羽数に幅があるのは複数ヶ所でカウントしたものの内、第2表の表側の「月日記」欄に示したとおり、最も多かった所の羽数をXn、複数ヶ所の計をXmとしその日の数をXn~Xmとして表現し合計をΣ(Xn~Xm)としたことによる。場所別では本年から新たに調査地とした遠矢堀公園が最も多かった。ここは、昨年まで、最も多く観察された松竹公園近くで、松竹公園より展望が利く所である。

(第1表) 2000年タカの渡り調査参加者

延べ参加者人数	陵北大橋	松竹公園	遠矢堀公園	駒木野	夕焼農園	入山峠付近	陣馬山	高尾山麓台	城山湖	その他	計
9月15日						2	3				5
16日											0
17日											0
18日						1					1
22日									1		1
23日					1	1					2
24日		1			1		1				3
25日	2				1	1					4
26日		4			1			2			7
27日	1	1	1			1	4		3		11
28日	1	3	2				3				9
29日		3	4								7
30日	1	5	3	1	1	2	3	2	2	1	21
10月1日		3	1			1	2		3	1	11
2日	2	5			1						8
3日		1			1		2			2	6
4日		5	3		1			2	3		14
5日		1	8		1	1	3				14
6日		4	1		1				2	1	9
7日		4	5	1		2	4	2		12	30
8日			1				1	1		1	4
9日						1			1		2
10日		3					1	4			8
11日					1						1
12日											0
13日											0
14日					1	1					2
計	7	43	29	2	12	14	27	13	15	18	180

調査参加者氏名

阿江範彦	新田茂
青木繁昌	馬場裕
青木千里	平井国二
井上典子	平井智恵子
今井達郎	丸山二三夫
大川征治	峯尾真澄
大川香	峯尾義雄
緒方直美	三好恒雄
粕谷和夫	山崎悠一
神谷古牧	渡辺仁
川上悳	
川戸恵一	
門口一雄	
河村道寛	
河村洋子	
倉本修	
佐伯直寛	
清水盛通	
鈴木章七	
関根伸一	
白川司	
白川史子	
傍島玲子	
高橋和子	
田中英吉	
千葉慎子	
中村和麻子	

ハチクマは36羽~38羽、ノスリは47羽~74羽、アサギマダラは59頭~88頭、ツバメ類は2157羽~3269羽、ヒヨドリは3434羽~5150羽であった。アサギマダラはこの時期に渡りをする蝶として知られているもの、ツバメ類はイワツバメが主体であったが、ツバメとの識別が困難であり、アマツバメの仲間も一部混ざっていたので、これらを「ツバメ類」として総数をカウントした。



## 2. 経年変化

サシバの経年変化は第3表の通りで本年は前年より多かった。

(第3表) 八王子上空を通過するサシバ総数の経年変化

最低 (ΣXn)	最高 (ΣXm)	多く通過した日	調査期間	主調査 ヶ所数	調査者 延べ数	備考	
1993	・	100羽	9/26,	9/26,	4ヶ所	24名	特定日調査
1994	・	90羽	10/2,	9/17~10/10	3ヶ所	58名	特定日調査
1995	・	20羽	特に無し	9/21~10/7	1ヶ所	32名	特定日調査
1996	・	318羽	9/28,	9/15~10/16	4ヶ所	117名	連続日調査
1997	379羽	510羽	9/20, 9/24	9/17~10/19	5ヶ所	154名	連続日調査
1998	755羽	1291羽	9/27, 10/3	9/19~10/12	6ヶ所	174名	連続日調査
1999	509羽	937羽	9/26, 27, 10/3, 4, 9	9/18~10/12	5ヶ所	204名	連続日調査
2000	596羽	1223羽	9/27, 30, 10/5, 6, 10	9/15~10/14	9ヶ所	180名	連続日調査

注) 1997年以降羽数に「最低」と「最高」の幅があるのは複数ヶ所でカウントしたものの内、各調査日について、最も多かった所の羽数をXn, 複数ヶ所の計をXmとしその日の数をXn~Xmとして表現し合計をΣ(Xn~Xm)としたことによる。

## 3. トビを除く他のタカの出現羽数 (渡るワシタカの種類)

その他のワシタカについては、トビ、オオタカ、ハイタカ、ツミ、ハヤブサ、チゴハヤブサ、クマタカが出た。本年はミサゴは出ず、チゴハヤブサ1羽が観察された。これらのワシタカは通過のものか、地着きのものか区別できないが、トビ以外のものの出現回数は第4表のとおりである。

(第4表) トビを除く他のタカの出現回数 (2000. 9/15~10/14)

単位: 羽	陵北 大橋	恩方 松竹	遠矢 堀公 園	駒木 野	夕焼 け公 園	入山 峠付 近	陣馬 山山 頂	高尾 霞台	城山 湖	その 他	計
オオタカ	2	23	20	0	2	4	7	2	3	0	63
ハイタカ	0	4	11	0	0	0	4	2	0	3	24
ツミ	0	3	9	0	1	0	5	0	4	1	23
ハヤブサ	0	4	1	0	0	0	1	0	1	0	7
チゴハヤブサ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
クマタカ	0	1	1	0	1	2	4	0	0	0	9

注1) その他ハイタカ2羽は小峰公園、1羽はGMGゴルフ場

注2) その他ツミ1羽はGMGゴルフ場

注3) 地着きのタカが複数日に出現した場合はダブルカウントになっている

#### 4. サシバの通過したコース（渡る時期、渡るルートの探索）

サシバが多く通過した日は、9月27日、30日、10月5日、6日、10日であった。サシバの渡る時期は例年9月下旬～10月上旬であり、本年も例年通りの結果となった。

サシバ通過したコースを検証するため、多く通過した5日間の日別・場所別の10分刻み記録を第5-1,2,3,4,5表に掲げた。この表から主に①陣場山方面に飛んだコース（9月27日、30日、10月5日）と②高尾山・城山湖方面に飛んだコース（10月6日、10日）があったことが理解できる。

サシバが多く観察される松竹公園（八王子0K）、遠矢堀公園（与瀬9K）を通過後どの方向に行くか。第5表のとおりこの地域から南西、南南西、西南西に飛んでいるものが多く、第1図で分かるように、陣場山～高尾山・城山湖の間に飛んでいる。本年はこの2地域のほぼ中間に位置する景信山～小仏城山方面に調査地を置かなかったため、この方面（中間地）のコースに飛んだかどうかは、把握できなかった。

9月27日（第5-1表）や第5-2表（9月30日）を見ると、松竹公園～遠矢堀公園から陣場山の方面に飛んだものが多いようである。

(観察の代をビでる蓋) 遠矢堀公園の代をその邊へ飛ぶコト、  
 せてサハ、ミヒ、代をトハ、代を本、コト、おアノコにコトをビでる蓋の子  
 飛ぶ公園トせてサハにも、を出おにサミお手本、コト、おアノコにコトをビでる蓋の子  
 イ、おアノコにコトをビでる蓋の子、おアノコにコトをビでる蓋の子、おアノコにコトをビでる蓋の子  
 るおアノコにコトをビでる蓋の子、おアノコにコトをビでる蓋の子、おアノコにコトをビでる蓋の子

(A1407-2146 0005) 遠矢堀公園の代をその邊へ飛ぶコト (第5表)

時	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
分	陣	高	景	小	松	遠	松	遠	松	遠	松	遠
	場	尾	信	仏	竹	矢	竹	矢	竹	矢	竹	矢
	山	山	山	山	公	公	公	公	公	公	公	公
	東	東	東	東	園	園	園	園	園	園	園	園
28	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
32	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



(第2-1表) 2000年の通過羽数・サシバ、ハチクマ

月日	天気	最高気温	サシバ										ハチクマ														
			陵北大橋	恩方松竹	遠矢堀公園	駒木野	夕焼け農園	入山峠付近	陣馬山山頂	高尾霞台	城山湖	その他	最少計	最大計	陵北大橋	恩方松竹	遠矢堀公園	駒木野	夕焼け農園	入山峠付近	陣馬山山頂	高尾霞台	城山湖	その他	最少計	最大計	
9月15日	晴	29.9					0	0					0	0					0	1					1	1	
16日	雨	25.2																									
17日	雨	27.7																									
18日	晴	28.9					2						2	2					1						1	1	
19日	晴	29.7																									
20日	晴	28.6																									
21日	晴	28.8																									
22日	晴	29.9							0				0	0							0				0	0	
23日	雨	22.6					0	0					0	0				0	0						0	0	
24日	曇	27.0		4			0		4				4	8		1		0		0					1	1	
25日	晴	28.6	0				0	0					0	0	0			0	0						0	0	
26日	曇	24.9		0						0			0	0				0			0				0	0	
27日	晴	26.3	8	67	126		41	195		35		195	472	0	0	0		0	12		0			12	12		
28日	晴	26.1	0	4	11			0				11	15	0	0	0			1						1	1	
29日	晴	22.7		1			12					12	13		0			0							0	0	
30日	雨	25.3	0	20	28	23	0	6	32	4	0	0	32	113	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
10月1日	曇	22.9		1	9		0	0		0	3	9	13		0	2		0	0		0	0		0	2	2	
2日	雨	20		1			4					4	5		0			0							0	0	
3日	雨	25.4		0			0	0			0	0	0		0				1					0	1	1	
4日	雨	25.3		7	13		0		2	12		13	34		0	0		1			0	0			1	1	
5日	曇	20.4		5	68		32		0	78		78	183		0	0		1		0	0				1	1	
6日	曇	23		5	1		0				83	47	83	136		0		0				1	0		1	1	
7日	晴	23.8		22	16	5		0	5	20		3	22	71		0	4	0		0	0	0			4	4	
8日	曇	20.3			3			8	0			2	8	13			1			0	0				0	1	1
9日	雨	17.7			16			0		1		16	17			4			0			0			4	4	
10日	晴	24.4		19				2	101			101	122		1				0	4					4	5	
11日	晴	26.8					6					6	6					0							0	0	
12日	晴	28.5										0	0	0											0	0	0
13日	曇	17.6																									
14日	晴	23.2					0	0				0	0					0	0						0	0	
計			8	156	291	28	42	61	246	205	131	55	596	1223	0	3	12	0	2	1	15	4	1	0	36	38	

10/1のその他3羽とは恩方マス釣り場(五日市8A)

天気及び最高気温は八王子市天気相談所発行

10/6のその他4羽とは小峰公園ビジターセンター(五日市8F)

「八王子市気象月報」から引用

10/7のその他2羽は川口川・観音橋付近(拝島2C)、1羽は北浅川・夕焼け橋付近(拝島1A)

10/8のその他2羽はGMGゴルフ場(拝島1E)

(第2-2表) 2000年の通過羽数・ノスリ、アサギマダラ

月日	天気	最高気温	ノスリ										アサギマダラ													
			陵北大橋	恩方松竹	遠矢堀公園	駒木野	夕焼け農園	入山峠付近	陣馬山山頂	高尾霞台	城山湖	その他	最少計	最大計	陵北大橋	恩方松竹	遠矢堀公園	駒木野	夕焼け農園	入山峠付近	陣馬山山頂	高尾霞台	城山湖	その他	最少計	最大計
9月15日	晴	29.9					4	2					4	6					0	2					2	2
16日	雨	25.2																								
17日	雨	27.7																								
18日	晴	28.9					0						0	0					0						0	0
19日	晴	29.7																								
20日	晴	28.6																								
21日	晴	28.8																								
22日	晴	29.9																				0			0	0
23日	雨	22.6				0	0						0	0				0	0						0	0
24日	曇	27.0		4		0		0					4	4		0		0	0						0	0
25日	晴	28.6	0			0	3						3	3	0			0	0						0	0
26日	曇	24.9		5		0		0					5	5		1		6		0				6	7	
27日	晴	26.3	0	2	2		3	1		1			3	9	0	0	0		1	0		0		1	1	
28日	晴	26.1	0	2	4			3					4	9	0	0	0			1				1	1	
29日	晴	22.7		0	7								7	7		0			0						0	0
30日	雨	25.3	0	3	2	0	0	0	1	0	0	0	3	6	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	5
10月1日	曇	22.9		1	0		0	0		0	0	0	1	1		1	0		0	0		0	0	0	1	1
2日	雨	22.0		0		0							0	0		0		5							5	5
3日	雨	25.4		1		0		0					0	1	1		1		0		4			1	4	6
4日	雨	25.3		3	2	0			0	0			3	5		2	0	0			1	0			2	3
5日	曇	20.4		1	0	0		0	0				1	1		0	3	0		0	0				3	3
6日	曇	23		1	0	0				0	0			1	1		0	2				1	1		2	4
7日	晴	23.8		3	4	1		3	0	1			4	12		1	0	0		0	1	1			1	3
8日	曇	20.3		0				1	0				0	1	1		12			1	13			3	13	29
9日	雨	17.7					0			1			1	1				0				1			1	1
10日	晴	24.4		1				0	1				1	2		1			0	10					10	11
11日	晴	26.8				0							0	0				0							0	0
12日	晴	28.5											0	0	0									5	5	5
13日	曇	17.6																								
14日	晴	23.2				0	0						0	0				1	0						1	1
計			0	27	21	1	0	13	8	2	2	0	47	74	0	7	16	0	15	1	10	26	2	11	59	88

9/30のその他1頭とはあきりの市小峰台(五日市9F)

10/3のその他1頭とは八王子市みつい台(拝島6B)

10/6のその他1頭とは小峰公園ビジターセンター(五日市8F)

10/8のその他3頭はGMGゴルフ場(拝島1E)

10/12のその他5頭とは高尾山口(八王子1F)

(第2-3表) 2000年の通過羽数・ツバメ類・ヒヨドリ

月日	天気	最高気温	ツバメ類(ツバメ、イソツバメ、アマツバメ等)										ヒヨドリ														
			城北大橋	恩方松竹	遠矢堀公園	駒木野	夕焼け農園	入山峠付近	陣馬山山頂	高尾露台	城山湖	その他	最少計	最大計	城北大橋	恩方松竹	遠矢堀公園	駒木野	夕焼け農園	入山峠付近	陣馬山山頂	高尾露台	城山湖	その他	最少計	最大計	
9月15日	晴	29.9						1	0					1	1					0	0				0	0	
16日	雨	25.2																									
17日	雨	27.7																									
18日	晴	28.9						8						8	8				0						0	0	
19日	晴	29.7																									
20日	晴	28.6																									
21日	晴	28.8																									
22日	晴	29.9										6		6	6							0			0	0	
23日	雨	22.6					160	0						160	160			0	0						0	0	
24日	曇	27.0		200			280		0					280	480		6		100		0				100	106	
25日	晴	28.6	0				0	5						5	5	0		7	4						7	11	
26日	曇	24.9		43			120			8				120	171		6				30				30	36	
27日	晴	26.3	20	100	225			10	36		0			225	391	0	0	0		0	0	0			0	0	
28日	晴	26.1	0	27	0				15					27	42	0	22	0			0				22	22	
29日	晴	22.7		27				20						27	47		6			0					6	6	
30日	雨	25.3	0	87	0	160	110	0	27	10	0	0	0	160	394	0	24	0	0	8	70	0	50	7	0	70	159
10月1日	曇	22.9		197	0			5	1		22	420		420	645		76	0		0	0	0	10		76	86	
2日	雨	20		135			96							135	231		9		53						53	62	
3日	雨	25.4		0			50		0				0	50	50		0		0		0		0		0	0	
4日	雨	25.3		7	0		6			0	0			7	13		210	0	311		35	24			311	580	
5日	曇	20.4		45	0		110		5	2				110	162		103	128	384		0	0			384	615	
6日	曇	23		180	0		0				18	0		180	198		335	0	673				43	169	673	1220	
7日	晴	23.8		0	0	76		0	15	0				76	91		306	319	93		26	15	30		319	789	
8日	曇	20.3							12	5		0	12	17				715			0		25		715	740	
9日	雨	17.7						0		0				0	0					0		33			33	33	
10日	晴	24.4		45					0	9				45	54		103			0	50				103	153	
11日	晴	26.8					100							100	100				310						310	310	
12日	晴	28.5										3	3	3									20		20	20	
13日	曇	17.6																									
14日	晴	23.2					0	0						0	0				202	0					202	202	
計			20	1093	225	236	1032	49	111	34	46	423	2157	3269		0	1206	1162	93	2048	100	15	195	107	224	3434	5150

10/1のその他420羽とは恩方マス釣り場(五日市8A)  
10/12のその他3羽とは高尾山口(八王子1F)

10/1のその他10羽とは恩方マス釣り場(五日市8A)  
10/6のその他169羽とは小峰公園ビジターセンター(五日市8F)  
10/8のその他25羽はGMCゴルフ場(拜島1E)  
10/12のその他20羽とは高尾山口(八王子1F)





(第5-1表) サシバが多く出た日のデータ・9月27日

(数字は羽数、「南西」等の表示は飛んで行った方向、ゴシック太字は鷹柱)

時：分	陵北大橋	松竹公園	遠矢堀公園	駒木野	夕焼け農園	入山峠付近	陣馬山山頂	高尾霞台	城山湖	その他
	拝島1B	八王子OK	与瀬9K	与瀬8K	五日市7A	五日市6C	与瀬3H	八王子0F	八王子2C	
07:30-07:39										
~										
08:40-08:49										
08:50-08:59									2南西	
09:00-09:09										
09:10-09:19										
09:20-09:29							15北西 3北西			
09:30-09:39		40西	2北北西			8南西			5南西 2西	
09:40-09:49							33北西			
09:50-09:59		4南西	24南西				8西北西 4北北西			
10:00-10:09	1西		4							
10:10-10:19	1西	11南西	11西北西							
10:20-10:29	5西		1西南西							
10:30-10:39			1				8南西			
10:40-10:49										
10:50-10:59	1西									
11:00-11:10			1西南西				4北西			
11:10-11:19			44南南西				27北西・南西			
11:20-11:29		6西								
11:30-11:39		3南西	1南南東							
11:40-11:49			7西南西							
11:50-11:59			9西南西							
12:00-12:09						27南西	14南西		2南西	
12:10-12:19							28南西			
12:20-12:29		3南	3西							
12:30-12:39						6南	46南西		22西	
12:40-12:49										
12:50-12:59									1南西 1南西	
13:00-13:09										
13:10-13:19										
13:20-13:29			9西南西							
13:30-13:39			6北北西							
13:40-13:49										
13:50-13:59										
14:00-14:09			3西南西							
14:10-14:19							6南西			
14:20-14:29										

(第5-2表) サシバが多く出た日のデータ・9月30日

(数字は羽数、「南西」等の表示は飛んで行った方向、ゴシック太字は鷹柱)

時：分	陵北大橋	松竹公園	遠矢堀公園	駒木野	夕焼け農園	入山峠付近	陣馬山山頂	高尾霞台	城山湖	その他
	拝島1B	八王子OK	与瀬9K	与瀬8K	五日市7A	五日市6C	与瀬3H	八王子0F	八王子2C	
07:30-07:39										
~										
09:00-09:09										
09:10-09:19		2西北西	2西					2南西		
09:20-09:29										
09:30-09:39						2北東				
09:40-09:49						1南西				
09:50-09:59										
~										
10:40-10:49										
10:50-10:59			1南西							
11:00-11:10										
11:10-11:19										
11:20-11:29										
11:30-11:39		10西	10西南西							
11:40-11:49		1	8西			3南西				
11:50-11:59										
12:00-12:09										
12:10-12:19		3西	5西	20西				2南西		
12:20-12:29										
12:30-12:39							27			
12:40-12:49										
12:50-12:59		2	2南東							
13:00-13:09										

(第5-3表) サシバが多く出た日のデータ・10月5日

(数字は羽数、「南西」等の表示は飛んで行った方向、ゴシック太字は鷹柱)

時：分	陵北大橋	松竹公園	遠矢堀公園	駒木野	夕焼け農園	入山峠付近	陣馬山山頂	高尾霞台	城山湖	その他
	拜島1B	八王子0K	与瀬9K	与瀬8K	五日市7A	五日市6C	与瀬3H	八王子0F	八王子2C	
07:30-07:39										
~										
09:10-09:19								9南		
~										
10:00-10:09								69南		
10:10-10:19										
10:20-10:29			5西							
10:30-10:39					20南西					
10:40-10:49			8西							
10:50-10:59										
11:00-11:10										
11:10-11:19			25南西							
11:20-11:29		13西	16南西							
~										
12:00-12:09					12西					
~										
12:50-12:59			3西							
~										
14:00-14:09			2西							
14:10-14:19			9南							
14:20-14:29										
14:30-14:39		6南南西								
14:40-14:49										

(第5-4表) サシバが多く出た日のデータ・10月6日

(数字は羽数、「南西」等の表示は飛んで行った方向、ゴシック太字は鷹柱)

時：分	陵北大橋	松竹公園	遠矢堀公園	駒木野	夕焼け農園	入山峠付近	陣馬山山頂	高尾霞台	城山湖	小峰公園
	拜島1B	八王子0K	与瀬9K	与瀬8K	五日市7A	五日市6C	与瀬3H	八王子0F	八王子2C	五日市8F
07:30-07:39										
~										
09:40-09:49										15西
09:50-09:59										
10:00-10:09										
10:10-10:19										8西・南
10:20-10:29										
10:30-10:39									1南西	1南
10:40-10:49										1南
10:50-10:59		3東南							14南西	2南南東
~										
11:40-11:49									16西	
11:50-11:59									1西	
~										
12:30-12:39										6西
12:40-12:49										14西
12:50-12:59										
13:00-13:09									43西	
13:10-13:19		2南西								
13:20-13:29										
13:30-13:39										
13:40-13:49									7西	
13:50-13:59									1西南	
14:00-14:09										
14:10-14:19			1西							
14:20-14:29										

(第5-5表) サシバが多く出た日のデータ・10月10日

(数字は羽数、「南西」等の表示は飛んで行った方向、ゴシック太字は鷹柱)

時：分	陵北大橋	松竹公園	遠矢堀公園	駒木野	夕焼け農園	入山峠付近	陣馬山山頂	高尾霞台	城山湖	その他
	拝島1B	八王子0K	与瀬9K	与瀬8K	五日市7A	五日市6C	与瀬3H	八王子0F	八王子2C	
07:30-07:39										
~										
08:50-08:59								1南		
09:00-09:09										
09:10-09:19								<b>37南西</b>		
09:20-09:29								4南		
09:30-09:39								<b>16南西</b>		
09:40-09:49								<b>27南西</b>		
~										
10:30-10:39								2南西		
10:40-10:49								2南西		
10:50-10:59										
11:00-11:10										
11:10-11:19								5南西		
~										
11:50-11:59								4南		
12:00-12:09										
12:10-12:19								1北西		
12:20-12:29										
12:30-12:39										
12:40-12:49								1北西		
12:50-12:59							2南			
13:10-13:19										
13:20-13:29										
13:30-13:39								1南		

## 2000年 片倉城跡公園の巣箱調査

新田 茂

平成元（1989）年片倉城跡公園にシジュウカラ用巣箱14個を架設して以来、毎年末に行われる利用状況調査が平成12年12月10日会員有志によって行われ、同時に冬季ねぐらとしての利用、年次の繁殖に備えての清掃、補修、取付けシュロ縄の交換及び各巣箱に番号の記入を行った。

前年架設した16個の内、調査日当日完全に保たれていたものは14個でその利用状況は次の通りであった。

繁殖に利用したもの	7個
利用されなかったもの	6個(内1個破損)
営巣を途中で中止したもの	3個(内1個破損)

### ①繁殖に利用されたもの

\*全てにシジュウカラの繁殖の形跡が認められた。内1個については5月20日9羽の巣立ちを川上会員が目視している。

\*同一巣箱の2回利用については今回の調査だけでは確認できなかった。

### ②利用されなかったもの

\*破損した1個は筒型巣箱の屋根が外れてしまっていたもの、また1個にはゴキブリ一匹が、1個にはクモ数匹認められたがこれが不利用の原因となったのかは疑問である。

\*6個の内2個は周辺の環境、高さ、出入り口の方向等を考え利用されやすいと思われる場所へ架け替えを行った。

### ③営巣を途中で中止したもの

巣材のこけが厚く運び込まれていながら産座形成までには至らず中止したもので1個は木製箱型巣箱の屋根の一部と前面の一部が割れ落ちてしまったのが原因と思われる。残り2個については原因不明である。

\*毎年見られるキツツキ類によるとと思われる出入り口の拡大は認められなかった。

\*カラスによるもの、人為による破壊もなく紛失したものもなかった。

架設状況（平成12年12月10日現在）

No	形式	樹木名	地上高 (m)	出入口 方向	提供者	備考
1	プラスチック 植木鉢改良 筒形	アカシデ	2.6	南西	神谷古牧	遊歩道脇
2	木製箱形	ケヤキ	2.4	東	川上恚	彫刻広場
3	〃	イチヨウ	2.4	南東	神谷古牧	遊歩道脇
4	杉皮筒形	ホウノキ	3.1	西	粕谷和夫	遊歩道脇
5	木製箱形	アカシデ	2.5	南東	川上恚 千葉禎子	本丸広場に面した林縁
6	〃	ケヤキ	2.6	北	神谷古牧	空堀南端林縁
7	〃	サクラ	2.9	南	小笠原正顕	二の丸広場面した林縁
8	〃	アカシデ	2.1	東	新田茂	〃
9	〃	クヌギ	2.2	南	小笠原敏子	〃
10	丸太くりぬき筒形	コナラ	2.1	北西	栗原勝	遊歩道脇
11	木製箱形	サクラ	2.3	南西	神谷古牧	休憩広場
12	プラスチック 植木鉢改良 筒形	コナラ	1.9	東	神谷古牧	遊歩道脇東斜面
13	木製箱形	ケヤキ	2.1	北東	小笠原正顕	遊歩道林縁
14	〃	不明	2.6	南	小笠原正顕	〃
15	〃	ケヤキ	2.3	西	川上恚	本丸広場に面した林縁
16	塩ビ管筒形	コナラ	3.15	東	粕谷和夫	休憩広場

\*平成10年12月に3個、平成11年12月に9個、会員より提供されたものと、以前より使用しているものから使用に耐えられる4個を残し、それ以外の巣箱は撤去した。

\*取付けに際し出入口は方位にこだわらず明るく開けた側に向け架設した。

\*今回の調査には、次ぎの会員のご協力を頂きました。

今井達郎・川上恚・門口一雄・神谷古牧・千葉禎子・山崎悠一・新田茂



架設位置

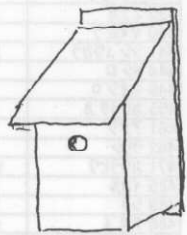


片倉城跡公園は八王子市が管理する面積 39,272 m<sup>2</sup>、クヌギ、コナラ等の自然林を生かしながら良く手入れされた公園で湧水池、湿地もあり頂上部は芝生広場となっている。

箱形

12年間の利用状況

年次	巣箱数	利用数	利用率(%)
1989	14	3	21
1990	13	4	31
1991	14	8	57
1992	14	7	50
1993	23	9	39
1994	25	11	44
1995	24	16	67
1996	23	15	65
1997	19	7	37
1998	12	4	33
1999	16	5	31
2000	16	7	44



## 2000年の浅川定期カウント記録

### 1. 浅川・大沢橋～陵北大橋 (2000)

今井達郎I, 関根伸一S, 柚木鎮夫Y, 青子y, 馬場裕B, 白川司し・史子シ, 渡辺仁W, 笹川佳子サ

河村洋子k, 前田善明M, 緒方直美o, 清水盛通・清, 丸山二三夫ま

2000年 月・日	1*16	2*5	3*4	4*1	5*13	6*3	7*1	8*5	9*9	10*7	11*11	12.02
開始 時:分	8:00	8:00	8:00	7:30	7:30	7:30	7:30	7:30	7:30	7:30	8:00	8:00
終了 時:分	12:15	11:40	12:30	11:05	10:30	11:30	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	11:30
天候 (前後)	曇	晴	曇	晴	曇霧雨	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴
調査報告者	I清まし yWM	SしYy まさ清 WoB	IS清し Wo	I清し Yy	IS清Y	ISWサk	IS清サし シ	ISしY まさ	IS清し まYwo	ISしYy	IS清ま しシ	I清し まyW
005 カイツリ	1											
040 カワウ			3								1	
057 タイサキ	1		2			1			1			
059 コサキ	3	2				1			3	1		
062 アオサキ			2						1			
086 オシドリ									1			2
087 マカモ	8	8									1	4
088 カルカモ	48	36	11	25	12	16	17	21	15	31	37	33
089 コカモ	8										1	9
118 ミサコ				1								
120 ヒ	1	1	4			1	1	1		2	4	1
123 オオカ	3	1	3	2		2	2	1			4	1
125 ツミ					1							
126 ハイカ												1
129 ノスリ	1	2	1	1				2	2	1	3	2
130 サンハ									1	1		
145 チョウゲンボウ			1									
149 コジュケイ				3	1	1	1					
151 キシ	1			2	5	4		5		1	2	
177 イカルドリ	2											
296 キシハト	17	17	20	6	31	16	17	15	20	13	19	31
304 ホトキス						1	1					
319 ヒメアマツハメ								3				
320 アマツハメ							6					
321 ヤマセミ			1									
326 カウセミ	5	8	5	4	2			4	6	4	2	1
331 アオケラ		1	1			1	1	2		1		
336 アカケラ										1		
339 コケラ	3	3	4	1	2	2	4	3	4	2	2	6
347 ウハメ				11	28	22	47	30	27			
350 イワツハメ				25			7		6	21		
354 キセキレイ	2	4	11	13	6	10	10	6	5	3	5	5
355 ハウセキレイ	5	11	11	5	1	6	1			2		2
356 セウロセキレイ	18	22	17	16	16	12	9	12	15	16	15	18
360 ヒンスイ			4	1								
363 死ハリ												
367 ヒヨドリ	12	15	31	16	21	28	36	26	27	82	26	32
368 チコモス							2					
369 モス	3	6	3	5		4			3	7	4	9
387 ショウビタキ	7	8	4	5							9	9
402 シロハラ	1											
405 ツグミ	12	14	24	16								
410 ウグイス	4	4	1	4	3	3	3	3	2		8	5
427 キビタキ						1						
433 コサビタキ										1		
435 エナカ			2									
440 ヤマカラ				1					1			
441 シンユウカ	21	34	18	12	6	6	14	7	15	11	13	13
444 シシロ	5	7	5	1	4		15	1	16	1	8	9
449 ホオジロ	7	23	26	23	9	3	5	4	3	7	10	15
455 カシラダカ	3	28	13								1	7
461 アオシ	13	14	13	14							4	8
462 クシ		1										
471 カラヒビ	118	63	36	51	13	4	12	20	1	13	28	30
485 イカル	15	6	2	1					29		1	16
486 シメ	19	12	10	4	1							2
488 スズメ	64	66	69	32	27	31	49	33	73	69	109	81
493 ムクドリ	42	36	71	27	43	48	28	16	41	18	9	40
496 カケス	6	3										1
498 オナカ	7	2	14		3	2	16	11	9			12
503 ハシホソカラス	18	2	17	15	3	13	10	5	7	17	7	7
504 ハシナカラス	2	4	5	7	5	3	4	5	7	1	2	2
トハト	26	8	17	16	3	14	4	33	6		48	40
不明鳥									3種			
カヒツウ		2	4		8	5	3	4	4	4	3	10
出現総羽数	542	484	486	366	254	261	325	270	354	331	386	464
種類数	39	36	38	33	25	29	28	25	31	27	30	34

## 2. 浅川・陵北大橋～松枝橋(2000)

(2000)調査区～調査区・川表区

河村道寛K・洋子k、青木静子a

2000年 月 * 日	1*9	2*19	3*22	4*15	5*27	6*17	7*16	8*15	9*10	10*15	11*11	12*9
開始 時:分	晴	8:00	8:45	8:55	7:40	7:15	7:00	7:20	5:30	7:00	7:30	8:00
終了 時:分	7:50	11:45	11:40	12:40	10:50	9:35	9:30	9:40	8:10	10:00	10:10	11:20
天候 (前後)	10:40	曇	晴	曇	曇	曇	晴	曇晴	晴	曇	晴	晴
調査報告者	Kk	ka	k	k	ka	Kk	Kk	Kk	Kka	Kk	Kk	Kka
005 カイツリ	4	2									3	3
040 カウ		3	6	1		1	1	3	3		1	83
057 タイサキ	1	4	3	2					2	1		27
059 コサキ	1	1	23	6	1	2	1	6				39
062 アオサキ	3	1				3	3	1	1	2	1	3
087 マカモ							1					
088 カルカモ	20	12	15	26	32	35	18	42	62	57	18	3
089 コガモ									2	20	2	37
120 トビ	1	1	2			2	1	1			1	2
123 オオカ		2										2
126 ハイカ	1											
129 ノスリ		1										1
145 チョウケンホウ	1											
149 コシユケイ	1		1	2	1	1	1	1	2		1	
151 キジ	2		2	13	9	7	3	1	1			1
167 ハン									1	1		
176 コチドリ				2	2							
177 イカルチドリ	1	2	1			3	1	3	1			
214 クサシキ									4	1		1
218 イソシキ		1					1	1	1	1	1	1
245 ユリカモメ												33
246 セウロカモメ												10
296 キシハト	21	27	6	21	18	16	19	10	19	31	14	41
302 カッコウ					3							
394 ホトキス						1						
319 ヒメアマツハメ								6				
326 カウセミ	4	2	5	4	1	2	2		3	5	4	5
331 アオケラ				2				1				
336 アカケラ	1											
339 コケラ	1	1	3	3	3	5	2	1		1		6
347 ツハメ			9	21	18	73	48	8	19			
350 イワツハメ								2				
354 キセキレイ	3	3		2			1	1	6	6	4	2
355 ハクセキレイ	8	13	2	1	4		1	2	3	6	4	11
356 セウロセキレイ	27	21	17	16	11	19	14	12	16	24	24	18
363 タヒバリ	2	2										
367 ヒヨドリ	23	33	16	38	18	37	17	21	5	135	40	24
369 モス	1	9	7	8	5	3	1		4	12	3	10
387 ショウビタキ	4	8	3								11	4
388 ヒタキ										3		
405 ツグミ	12	21	14	13								4
410 ウグイス	5	4	2	4	4	4	2	1			3	9
416 オオヨシキリ					1							
441 シジュウカラ	73	45	16	7	14	26	13	10	9	10	19	16
444 メジロ		11										
449 ホオジロ	31	46	53	16	14	12	26	10	3	8	50	24
455 カシラダカ		3										4
461 アオシ	8	22	9	2							6	6
471 カウラヒワ	168	195	43	16	17	10	5	7		5	14	21
486 シメ	6	9	1	2								2
488 スズメ	110	133	122	41	115	71	105	116	77	181	91	177
493 ムクドリ	37	34	29	19	68	22	43	11	75	21	16	3
498 オナカ	22			6				5	1		12	1
503 ハシボソガラス	8	36	14	10	16	23	19	12	7	16	6	11
504 ハシブトガラス	6	1	2	2	1	1		3	1		2	4
B トハト	155	7		7	13	34	32	1	107	70	36	61
カビチヨウ	1	1	5	8	9	4	3	4	2	2	2	
出現総羽数	772	717	427	318	397	423	385	302	439	619	389	710
種類数	35	36	29	31	25	27	28	30	28	24	28	38

## 3. 浅川・松枝橋～鶴巻橋(2000)

(000S) 鶴巻橋～松枝橋・浅川

福井 司郎 F. 福島 弥 四郎 H. 山浦 秀雄 Y

2000年 月*日	1*10	2*26	3*26	4*30	5*27	7*1	7*20	8*15	9*30	10*28	11*26	12*29
開始 時:分	10:00	7:30	7:30	7:10	6:30	7:00	7:00	7:50	6:00	7:00	7:00	7:10
終了 時:分	12:00	9:30	10:00	9:30	9:00	9:30	9:00	10:00	8:30	9:12	9:30	9:20
天候(前後)	曇晴	曇	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	曇	晴	晴
調査報告者	FH	F	F	F	FH	FY	FY	Y	Y	FY	Y	Y
040 カウ		4	6	2	1	1	2	3	1	1	50	6
052 コイサキ					1			1				
057 タイサキ	3	3	3					1			10	1
059 コサキ	1		5	1			2	2		3	100	
062 アオサキ		2								1	2	1
087 マカモ	6											
088 カルカモ	23	25	41	16	17	20	11	11	15	10	35	3
089 コカモ	93	112	73							32	7	20
093 ヒトリカモ		3	3									
095 オナカガモ	9	2									2	4
120 トビ	1	1	1		1				1			
123 オオカ	1		1									
145 チョウゲンボウ		1										
149 コシユケイ				2							1	
151 キジ		1	1	2	3	1		1				
177 イカルチドリ	2	2	4	2	4	8	1	2				
186 タケリ		1										
218 イソシキ	3			4	2	3	2			3	1	1
245 ユリカモメ	15											
246 セグロカモメ	1											
296 キンハト	7	18	7	11	5	11	7	5	5	17	14	10
319 ヒメアマツバメ					3	4						
326 カワセミ			2		1				1	1		1
339 コケラ	1		1			3					1	
344 ヒバリ								2				
347 ツバメ			2	24	10	29	16	10				
350 イワツバメ				2	2	2	2		10			
354 キセキレイ		2	2			3	5	1	2	3	2	3
355 ハクセキレイ	6	5	9	3		7	2	5	1	8	4	25
356 セグロセキレイ	10	6	4	5	9	3		5	3		6	5
363 タヒバリ	1										1	
367 ヒヨドリ	8	15	7	19	8	19	15		5	21	10	10
369 モズ	2	1	2	1					1	4	2	
387 ショウビタキ	4									1	1	3
405 ツグミ	9	18	15									20
410 ウグイス	1		6							1	1	1
416 オオヨシキリ				1	1	4		1				
435 エナカ												10
441 シジュウカラ	6	15	15	6		4		1		6	7	2
444 マジロ											2	
449 ホオジロ	7	11	6		3	1		2		3	7	10
455 カシラダカ		1										1
461 アオジ	2		2							8	2	5
471 カワラヒワ	20	90	21	6	5	7	20	3		20	10	50
472 マヒワ	5											
485 イカル	2											
486 シメ	3		1								4	
488 スズメ	200	100	50	100	150	150	100	10	30	200		100
493 ムクドリ	47	17	20	13	15	85	12	50	3	33		20
498 オナガ								6				
503 ハシホソガラ	7	10	16	5	7	17	12	4	5	4	6	2
504 ハシブトガラ	2		3					1	1	1	3	5
トバト	8	4	5	10	3	9	18	25	200	20	100	5
ガビチョウ										1		
出現総羽数	516	470	334	235	251	391	227	152	284	402	391	324
種類数	34	27	31	21	21	22	16	23	16	24	28	27



4. 浅川・鶴巻橋～大和田橋(2000) (S) 調査員～謝田研大・川野 2

倉本修K

2000年 月*日	1*27	2:23	3*29	4*25	5*24	6*27	7*28	8*26	9*26	10*24	11*23	12*26
開始 時:分	7:40	8:00	6:45	6:35	6:30	6:40	7:00	6:30	6:30	7:00	6:50	7:20
終了 時:分	11:05	11:10	10:45	10:20	10:00	9:50	10:00	9:40	9:30	10:00	10:10	10:30
天候(前後)	晴	晴	晴	晴	晴	曇	曇	曇晴	曇	晴曇	曇	晴
調査報告者	K	K	K	K	K	K	K	K	K	K	K	K
040 カワウ	5	4	9	3	3	4	4	5	2	1	32	18
052 コイサキ						1						
054 ササコイ						1	1	1				
057 タイサキ	6	2	2	4			1	1	6	1	5	4
059 コサキ	16	8	7	3	4	2	2	8	28	7	43	23
062 アオサキ		1	1					1	1	1	3	3
087 マカモ		2	1									
088 カルカモ	53	61	38	28	27	39	74	28	56	46	32	66
089 コカモ	194	156	217	68						51	51	101
093 トリカモ	19	28	9									4
095 オナカカモ	90	87								6	6	46
120 ヒ	3	2	2	2	2	2	1	3	1	2	2	1
145 チョウゲンボウ		1	1	1	1							
151 キジ					1	1	1					
176 コトリ			6	3	2	4						
177 イカルトリ	4	1	3	1	1	2	1	3	2	2	3	3
217 キアシシキ					12		3	6				
218 イソシキ	1	1	3	3	4	5	1	2	3	2	2	2
230 タシキ				1								
245 コリカモメ	83									11	35	43
246 セグロカモメ	2	3	2								1	4
296 キジハト	12	12	8	8	10	14	18	16	19	15	12	10
319 ヒメアマツハメ			2		2	2		2		4		
320 アマツハメ												
326 カワセミ					2	1			1			1
339 コゲラ		2		1								
344 ヒバリ		2			1	2						
347 ツハメ			4	26	8	29	22	11				
350 イワツハメ			6	19	18	22	14					
354 キセキレイ	2	1	3	1	3	4	4	3	3	5	3	4
355 ハクセキレイ	26	24	22	11	9	14	18	12	12	24	21	28
356 セグロセキレイ	9	8	5	6	4	5	9	9	7	9	8	11
363 ヒバリ	4	2	6								7	4
367 ヒヨトリ	20	14	8	7	11	16	15	11	7	14	18	15
369 モズ	2	1	2						3	5	2	2
383 ノコマ					1							
387 ジョウビタキ		3	1								5	1
388 ヒタキ										1		
405 ツグミ	14	13	17	3							2	4
410 ウグイス			1							1	3	4
416 オオヨシキリ					2	4						
425 セッカ					1							
441 シュウカラ	15	7	4	3	9	4	4	7	2	5	7	3
444 シロ	4	3	3		2	2	3	3	3	3	2	2
449 ホオジロ	10	13	6	1	1	1					10	7
455 カシラダカ	4										2	6
461 アオジ	2	2	5	3							2	2
471 カワヒワ	59	48	26	7	3	17	11	8	10	17	59	51
488 スズメ	341	298	224	146	158	162	141	171	320	272	230	316
493 ムナリ	48	51	79	47	39	47	76	136	62	27	17	27
498 オナカ			2	3		2	3	2	5	2		
503 ハシホソガラス	13	7	4	6	7	11	11	9	16	14	13	14
504 ハシホソガラス	3	2	21	4	2	5	2	2	2	3	4	3
アヒル												
B トハト	285	274	184	148	146	189	151	194	274	322	269	255
出現総羽数	1349	1144	948	567	496	614	591	654	845	873	911	1088
種類数	31	35	39	30	32	31	26	26	24	29	33	35



5. 浅川・大和田橋～長沼橋(2000) (S) 謝田研大一 謝巻 川野

新村哲也N

2000年 月*日	1*16	2*3	3*19	4*17	5*16	6*15	7*13	8*15	9*22	10*20	11*23	12*27
開始 時:分	8:00	7:45	8:00	9:00	7:30	8:00	7:30	6:00	7:30	7:20	7:10	7:40
終了 時:分	11:30	12:00	11:50	12:00	11:30	11:30	11:30	9:30	10:30	10:30	11:05	11:40
天候(前後)	曇	晴	曇	曇	晴	晴	晴曇	曇雨	晴	曇雨	曇晴	晴
調査報告者	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N
040 カワウ	5	11	2	1		1	3	9			29	6
052 ゴイサキ						1						
057 ダイサキ	3	4	1	3	2	2	5	5	3	3	11	4
059 コサキ	10	3	3	5	2	2	12	6	6	10	4	12
062 アオサキ	7	9				1	3	4	10	9	10	10
87 マガモ				11								
088 カルガモ	19	17	28	35	21	39	17	15	10	20	6	1
089 コガモ	77	176	66	58					4	55	81	55
092 オカヨシガモ		1	8									
093 ヒトリカモ	8	19	23	12							2	7
095 オナカガモ	5	13	9									4
097 ハシヒロガモ	7	7	18	1								1
120 ヒ	3	1			1			5			1	2
123 オオカ	1											
145 チョウケンホウ		1										2
151 キジ	2											
177 イカルチドリ		5		6	6	6					2	3
217 キアジサキ					5							
218 イソサキ	3	2		3	2		4	1	1	3	1	3
230 タシキ	2											
245 ユリカモメ	40	15		2							37	16
246 セグロカモメ		10	3	1							4	4
296 キジハト	6	9	3		6	16	4	5	2	13	2	6
326 カワセミ	1		2							2	1	1
339 コケラ		1										
344 ヒバリ						1						
347 ツバメ				12	35	25	19	30	3			
350 イワツバメ				40	30	49	38			20		
354 キセキレイ	2	5	4							9	1	3
355 ハウセキレイ	11	13	8	2	4	1	4	11	4	30	13	14
356 セグロセキレイ	12	17	13	12	6	10	1	9	2	16	9	9
363 ヒバリ	13	19	15	4							12	11
367 ヒヨドリ	20	4	5	28	5	11	13	8	18	18	9	17
369 モス	5	2		3					1	9	1	2
387 ショウビタキ		2	1								2	2
405 ツグミ	13	23	12	2								
410 ウグイス		2	2	1								
441 シジュウカラ	1	5	4	2	1			4	7			2
444 メジロ									2		3	
449 ホオジロ		5									4	4
455 カシラダカ	9		1									
461 アオジ		1									4	3
471 カワラヒワ	30	63	6	1	3	3	4	7	5	2	92	51
486 シメ	1											
488 スズメ	118	225	25	30	59	66	30	76	152	170	121	171
493 ムクドリ	64	35	16	5	27	126	40	8	30	95	61	22
503 ハシホシガラ	12	14	19	11	9	3	19	10	6	12	5	5
504 ハシブトガラ	28	8	14	6	10	6	3	2	5	11	6	6
B ドハト	41	12	41	29	23	29	26	51	6	23	63	52
出現総羽数	579	759	352	326	257	398	245	266	277	530	597	511
種類数	33	36	28	28	20	20	18	19	20	20	30	33

6. 浅川・長沼橋～一番橋 (2000)

山崎悠一・久美子

2000年	月*	1*9	2*5	3*4	4*2	5*14	6*3	7*2	8*6	9*3	10*15	11*11	12*9
開始	時:	13:45	8:15	7:45	7:30	6:15	14:45	8:15	5:45	5:00	7:55	6:20	7:00
終了	時:	16:35	11:20	10:40	10:40	9:00	17:25	10:50	9:30	8:50	11:10	10:20	10:30
天候	(前後)	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	曇り	曇り	晴れ	晴れ	曇り	曇り	曇り	晴れ
調査報告者		Y.v	Y.v	Y.v	Y.v	Y.v	Y.v	Y.v	Y.v	Y.v	Y.v	Y.v	Y.v
050	カワツリ		2										1
040	カワ	2	12	5	13	17	1	2	5	6	9	8	38
052	コイサキ						1						
052	サコイ					1			1				
057	タイサキ	4	6	2	2			2	1	3	13	7	10
059	コサキ	30	13	6	42	3	3	2	15	15	22	13	91
062	アサギ		2	1	2		1	1	3	3	3	2	3
087	マカモ	1									1		
088	カルカモ	32	45	34	36	23	40	23	30	28	56	23	39
089	カモ	141	138	142	151						22	17	65
093	ヒトリカモ	82	34	67	53							35	74
095	オカカモ	31	13	27					1	1		1	14
097	ハジカモ	6	9	9									5
115	ミコイサ												
120	ヒ		1	1	1					1			
123	オカ												1
145	チョウゲンボ	1									1		1
149	コシユケイ									1			
151	ギン					2	2		1				1
176	コドリ				3	1	3	3	3	10			
177	イカルドリ	3	5	6	2	3			7	1	12	12	8
184	タイセン								1	1			
196	ハマシキ		76	77	10							11	79
214	クサシキ												
217	キアシシキ					13			5	2			
218	イツシキ	4	3	2	6	6	4	3	15	12	11	7	5
230	タシキ			4									
245	ウリカモメ	83	46									11	196
246	セウロカモメ		1	1	3							1	1
296	ギンハト	4	3	11	1	11		5	12	6	10	4	4
304	ホトギス							1					
319	ヒメマツハマ												
326	カワセミ	3		1	3	1	1		1	3	2	5	2
339	コケラ			1		1			3	1	1	2	1
344	ヒハリ					1							
347	ウハマ				32	27	26	21	19	13			
349	コシカツハマ								2				
350	ウツハマ					3	1	6	2				
354	セキレイ	3	4	4	1	1		2		2	6	7	3
355	ハクセキレイ	15	7	16	2	4	1	3	4	14	21	20	18
356	セウロセキレイ	8	5	6	6	2	8	1	7	11	25	28	11
363	アヒハリ	3	3	9	1							2	4
367	ヒヨドリ	10	6	7	6	13	11	6	8	2	15	24	10
369	モス	1									6	6	2
387	ショウビタキ	1	1	1					32			4	1
405	ウカミ	2	5	11	7								1
410	ウカイ		1	1	1								1
416	オオソシキ					4							
425	セッカ					4	4		1				
441	シユウカラ		4	3	2	2		2	2	4	2	4	5
444	シロ			1		1						4	1
449	オソシロ	10	12	11			1				3	5	7
455	カシラタカ												1
461	オソシ	8	4	5	2							3	7
464	オソシユリン												
471	カワヒバリ	3	88	51	7	7	19	5	9	6	17	13	52
485	イカル					1							
486	シメ												
488	スズメ	215	135	115	40	75	80	40	80	130	300	210	120
493	ムクドリ	45	25	23	36	18	67	10	16	62	92	57	17
498	オカ					2	2		7	2	2		12
503	ハシホソカラ	15	17	18	5	8	10	11	11	22	22	8	8
504	ハシホソカラ	1	5	4		1			1		7		5
	アヒル				2								
	マルカモ	1	1	1		1	1	1	1	1	1		1
B	トハト	60	105	110	85	70	57	37	100	180	155	180	130
	出現総羽数	828	837	794	563	328	344	187	406	543	837	734	1056
	種類数	32	35	37	31	33	23	22	33	29	28	32	43

7. 浅川・一番橋～多摩川合流(2000) (S) 調査一～調査五 川越 8

門口一雄K・裕子k,青木繁昌A,阿江範彦あ、小塩菊子こ、石橋公子i、倉本修く、馬場裕b、百合亜b、中村Nn、井上泰子i

2000 月*日	1*16	2*06	3*11	4*13	5*7	6*3	7*2	8*19	9*9	10*14	11*11	12*9
開始 時:分	8:00	8:20	7:00	8:00	6:30	6:00	6:00	6:00	6:00	6:30	7:00	7:00
終了 時:分	11:40	12:30	10:10	10:45	10:00	9:30	8:50	9:00	9:00	9:55	10:10	10:30
天候 (前後)	曇	晴曇	曇	晴	晴	曇	晴	曇	晴	晴	晴	晴
調査報告者	BbNnあコ li	Kk	KA	A<	KA	KA	KA	KA	KA	KA	KA	KA
005 カイツブリ			12									
040 カワ	36	12		9	3	4	10	6	9	4	5	90
052 コイサギ	1					1	1	1		1		
054 ササゴイ								1				
057 ダイヤサギ	6	4	3		1		1	2	3	3	2	6
059 コサギ	59	37	8	11	5	4	2	11	10	17	14	109
062 アオサギ	1			1	1	1	2	3	2	3	7	2
087 マカモ	5	4	5									9
088 カルガモ	33	46	50	41	22	24	21	6	37	33	31	65
089 コガモ	203	134	101	59						54	50	60
093 ヒトリカゲモ	71	61	38	11							37	21
095 オナガガモ	30	37	25						1			5
120 トビ	4		1	1							2	
123 オオカ	3											
145 ヨウゲンホウ	1				1					3	1	
149 コシユカイ	1	1		2	2	1	1	1		1	3	
151 キジ				3	8	5	5					
167 バン			1									
176 コチドリ				5	10	7	3					
177 イカルチドリ	4	9	7	2	7	6	11	8	15	10	13	13
183 ムナグロ									2			
196 ハマシギ					20						54	4
214 クサシギ	1		2						1	1		
217 キアシシギ					13			4				
218 イソシギ	6	8	2	8	12	4	8	6	10	12	9	8
245 コリカゲモ	228	88	3								92	380
246 せうロカゲモ	2		2	2						1	1	2
296 キンハト	35	10	13	15	14	18	12	14	9	9	13	13
302 カッコウ						1						
314 アオハスウ							1					
319 ヒメアマツバメ	3	5			3	2	2	1	4	1	2	4
326 カワセミ	4	4	4	1	3	2	2	1	4	1	2	4
338 カケラ		1			1							
339 コケラ	3	4		1	1	1	1		1	2		1
344 ヒバリ	4	2	4	1	5	5	5					
347 ツバメ				15	24	27	29	22	13			
349 コシアカツバメ								1	1			
350 イワツバメ				4	14	17	56					
354 キセキレイ	4	2	5					1	3	7	4	3
355 ハクセキレイ	33	14	9	6	6	7	3	3	6	13	7	12
356 せうロセキレイ	15	15	11	5	9	5	3	11	10	12	11	15
363 せうロヒバリ	24	12	8								5	15
367 ヒヨドリ	59	7	3	17	8	3	15	4	1	21	10	15
369 モス	7	1		2						9	4	5
387 シヨウビタキ	4	3	2								5	2
405 ツグミ	23	23	22	14								1
410 ヲカリス	3	1	1	2		1	2				3	2
416 オオヨシキリ					1	1	2					
425 セウカ	1			1	5	3	1	4	2			
441 シシユウカラ	6	8	7	3	5	7	14	1	4	4	6	9
444 ムジロ	4	4	6	3	2							2
449 赤オシロ	44	18	22	5	6	4	3	5		1	5	13
455 カシラガカ				1								
461 アオジ	11	6	3	3							6	6
471 カワラヒコ	127	39	19	4	5	3	7	1	4	6	22	31
486 シメ	5			1								
488 スズメ	199	220	120	59	56	87	100	147	340	175	65	106
493 ムクドリ	73	89	45	33	55	63	10	60	16	68	15	24
498 オカ	2	1		3	10	5		4	1		2	
503 ハシホシガラ	26	13	9	11	7	7	24	8	8	18	7	6
504 ハシブトガラ	15	12		8	15	2	1	1	2	3	3	7
ハリケン				1								
B ドバト	242	67	70	27	24	43	30	60	50	53	91	50
出現総羽数	1671	1022	643	401	381	369	386	397	566	545	607	1116
種類数	46	38	35	40	35	32	32	29	29	29	35	36

# 8. 川口川・川口橋～明治橋（2000）

鈴木章七S、川戸恵一K、井手龍世I、杉森熊二す、ゆり入、栗原勝く・正江ク、  
石井昇い・よし子イ、南波興之N

2000年 月*日	1:10	2:05	3:04	4*1	5*7	6*10	7*1	8*5	9*2	10*7	11*4	12*2
開始 時:分	9:30	8:00	7:00	7:00	7:00	7:00	7:00	7:00	6:50	7:00	7:00	8:00
終了 時:分	11:40	10:45	9:15	9:05	8:46	9:00	8:50	8:45	8:36	9:25	9:05	10:20
天候 (前後)	晴	晴	曇	晴曇	晴	小雨	晴	晴	晴	晴	曇晴	晴
調査報告者	SKすす くい	SKIす い	SKIく すい	SKIす す	SKす す	SKIす す	SKIす い	SKす い	SIKす い	SKす い	SKす す	SKす い
040 カワウ		3	8	5	3	1	1				1	2
057 タイサキ		3	6	1								
059 コサキ	4	11		30	1	3	3		1	14		
062 アオサキ		1	1	1			1		1	1		2
087 マカモ	2	3	4									
088 カルカモ	101	111	100	78	32	45	57	67	56	63	71	73
089 コカモ	99	85	74	67	9					6	44	50
120 トビ											1	
123 オオカ		1										2
125 ツミ	1											1
129 ノスリ												1
130 サシバ										2		
149 コシユケイ												1
151 キジ				1								
167 ハン	1											
296 キジハト	9	16	24	18	10	37	8	12	18	21	12	8
326 カワセミ	2	1	1	1				1	5	1		1
339 コケラ	5	2	2	1	1	5	1		1	1		
347 ツバメ				6	69	141	19	31	4			
350 イワツバメ						1						
354 キセキレイ	7	4	1	2			5	3	2	7	1	5
355 ハクセキレイ	14	13	14	11	7	21	8	15	15	6	7	21
356 セグロセキレイ	15	18	17	3	10	4	3	6	7	13	9	12
363 タヒバリ	1		1									
367 ヒヨドリ	21	13	93	18	13	34	11	11	12	31	22	35
369 モス	2	4	2	2	1		1			9	2	3
375 ミソサザイ												
387 ショウビタキ	2	1	1								4	1
402 シロハラ		1										
405 ツグミ	3	4	7	2								
410 ウグイス	1	3	1	1	1							2
435 エナガ										13		
441 シジュウカラ	4	8	3	5	6	2	2		5	5	4	3
444 メジロ	3	3	3	3	1	1	1			1		2
455 カシラダカ	1		2									
461 アオジ	3	11	8	3						1		4
462 クロジ		2										
471 カワラヒワ	21	20	42	5	5	3	1			1	9	11
486 シメ		1	1									
488 スズメ	100	165	145	60	61	60	50	51	94	200	65	110
493 ムクロリ	37	45	80	73	42	32	24	2	34	27	28	15
498 オナガ	9	2	3		1	11		11	17	30	9	31
503 ハシホソガラ	12	23	11	13	12	6	18	8	28	24	13	15
504 ハシブトガラ	3	5	8	4		3			5		1	1
アヒル	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1
マルカモ	1											
トハト	19	6	9	22	7	9	26	3	73	35	109	66
ガビチョウ			1		2	3			1			
出現総羽数	505	591	675	438	296	424	242	222	380	513	413	479
種類数	31	33	32	28	22	21	20	14	20	24	20	28



9. 湯殿川・白旗橋～時田橋 (2000)

三富恒男M

2000年 月*日	1*16	2*27	3*27	4*27	5*23	6*22	7*29	8*24	9*29	10*26	11*23	12*29
開始 時:分	8:00	9:00	9:00	9:00	8:30	8:00	7:30	8:30	8:30	7:30	7:30	8:00
終了 時:分	11:30	13:00	12:00	12:30	12:00	12:00	11:00	12:00	12:00	11:30	12:00	12:00
天候 (前後)	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
調査報告者	M	M	M	M	M	M	M	M	M	M	M	M
040 カワウ	2	2	1	1			2	1				1
057 ダイサキ	2											
058 チュウサキ								1				
059 コサキ	2	3	1	1	1	1	1	2	1	3	1	1
062 アオサキ	2	1										1
088 カルガモ	32	27	26	17	12	31	46	54	10	20	22	26
089 コガモ	53	61	75	34					16	65	68	78
095 オナガガモ	28	26	4							12	30	29
120 トビ			1	1			1					
149 コジュケイ				2	1		1					
151 キジ					2							
176 コチドリ			2									
218 イソサキ	2				2					1	1	2
245 ユリカモメ												1
296 キジハト	7	4	7	6	4	4	6	5	9	4	3	8
344 ヒバリ				3								
347 ツハメ				8	5	15	8					
354 キセキレイ	1	1							1	1	2	1
355 ハクセキレイ	11	13	15	2	6	10	6	5	6	13	18	17
356 セグロセキレイ	4	6	3				2	1	1	3	3	3
367 ヒヨドリ	8	6	7	5	1	10	5	4	3	7	10	3
369 モズ			1							1	1	1
387 ショウビタキ	1											
405 ツグミ	5	6	2									
410 ウグイス				2	2	2	1					
441 シジュウカラ		1	2	2		2			2	1	1	1
444 メジロ		1	2									1
461 アオジ	1											
464 オオジュリン		1										
471 カワラヒワ	15		6			2						
488 スズメ	75	32	32	31	48	43	42	31	42	90	90	50
493 ムクドリ	26	20	1	13				80	12		30	
498 オナガ	3					1			4		3	
503 ハシホソガラ	7	8	11	8	2	15	6	6	8	10	13	22
504 ハシブトガラ		1										
B トハト	3	8	4	5	4	6	15	3	2	3	31	30
出現総羽数	290	228	203	141	90	142	142	193	117	234	327	276
種類数	22	20	20	17	13	13	14	12	14	15	17	19



# 10. 多摩川・滝山城跡下(2000)

(0009) 羽村新合川系・川原

三好恒雄M、傍島令子s、井上典子I、佐伯直寛S

2000年 月*日	1*26	2*28	3*30	4*28	5*23	6*29	7*27	8*29	9*29	10*31	11*28	12*20
開始時:分	8:10	8:15	7:45	6:30	7:00	7:00	7:00	7:00	6:50	7:00	7:30	8:00
終了時:分	11:20	10:55	11:05	9:50	10:10	10:00	9:50	9:30	9:10	9:50	10:30	11:05
天候(前後)	晴	晴	晴	晴	晴	晴曇	曇	曇	晴曇	晴	晴	曇
調査報告者	M	M	S	M	S	S	S	SM	SM	S	SM	SM
005 カヅブリ	4	5	2	2						2	7	2
040 カワ	10	5	19	18	4	8	6	7	4	9	23	14
056 アマギ					2							
057 ダイヤ	6		3		5			12	7		1	8
058 チュウギ					4		6		1			
059 コギ	8	7	22			2	1	7	5	2		
062 アサギ	5	5	2	1		3	1	6	10	12	6	7
088 カガモ			13	4	7	1		10	2			
120 ト	1	3	7	1	2	2	2		1	2	6	
123 材効		1	1					1			1	3
129 ノリ	1										1	1
145 チョウンボウ							1					1
149 コジユイ	1		6	3	6	2	2	2				3
151 キジ		2	2	3	3				1		1	
176 コトリ				1								
177 イカルトリ	1	2			2	2						
214 クサギ											1	
218 イシギ		1					2					
245 コリカモ				2							26	29
246 せうカモ			1								1	
296 キバト	7	1	7	4	4	2	7	18	12	13	6	1
326 カワヒ								2	1	1	2	
331 アゲラ	1											
336 アゲラ												1
339 コガラ	2		1	2			3					
344 ヒバリ			1	1	1							
347 ツバメ				2	7	4	32	22	2			
350 イワツバメ									3			
354 キセキレイ	3	1	1			2	2		4	2	2	2
355 ハウセキレイ	9	5	6	2	2		2			8	5	7
356 せうロセキレイ	17	14	16	6	6	3	15	12	19	21	4	24
363 ヒバリ	6	2										3
367 ヒトリ	9	2	7	36	21	17	23	14	7	27	13	17
369 モズ	3	2	4	2	2	1	1		7	11	1	3
387 ジョウビト	3	1										3
388 ヒト									1			
405 ツグミ	12	8	21	12								21
410 ウグイス	1	1	3	5	3	5	3	1	2	1	2	1
416 オヨシサ				2	7	4						
425 セウカ					2	1						
435 イカ	2			2								
440 ヤマガラ								1				
441 シジュウカラ	11	11	12	6	5	6	5	2	2	3	2	5
444 シロ	2			3					1		2	
449 林シロ	18	40	43	11	13	12	8	1	1	8	10	28
455 カシラガ	32	4	3									1
461 オジ	18	10	3	4							3	6
471 カラスヒ	56	75	26		4	5	4	20	79	7	21	208
486 シメ	12	16										3
488 スズメ	80	30	36	30	41	34	38	50	142	76	65	53
493 ムクドリ		30	4	12	13	48	93		13	23		7
498 オカ					4		4	1				9
503 ハシロカラス	16	12	34	22	32	11	27	66	16	17	35	20
504 ハシロカラス	18	10	23	38	27	8	12	2	6	13	6	12
ドバト	21											
カビチヨウ				3	5		4	2		2	1	1
出現総羽数	396	306	329	240	234	183	304	259	349	260	254	504
種類数	33	29	30	30	28	23	26	22	26	21	28	32

11. 多摩川・浅川合流付近(2000)

(0005) 不規則山系・川原等

阿江範彦A・柚木鎮夫Y・青子y

2000年 月*日	1*3	2*11	3*25	4*8	5*3	6*17	7*16	8*19	9*15	10*14	11*11	12*10
開始 時:分	10:30	8:00	9:40	7:40	9:00	5:00	8:00	8:15	8:30	8:20	8:00	8:00
終了 時:分	12:00	11:15	11:00	10:00	11:00	7:00	10:00	10:30	10:30	10:00	10:30	10:15
天候(前後)	晴	晴	晴	晴	晴	曇	晴	曇	晴曇	晴	晴	晴曇
調査報告者	A	Y	A	Yy	A	Y	A	Y	A	Y	A	Y
005 カイツブリ	2	4	4	11					7		6	5
040 カワウ	7	35	27	62	7	21	1	40	19		600	20
052 コイサギ								1				
057 タビサギ	2	5	1	21		3		3	2	13	20	3
059 コサギ	7	34		50	5	3	3	7	15	35	400	1
062 アサギ	1	4	1	3		2		2	5	4	5	3
087 マカモ	2	12										
088 カルガモ	25	30	17	21	13	7	4	14	15	13		
089 コガモ	24	27	7	23							24	14
092 オカヨシガモ	10	14										4
093 ヒドリガモ	14	40	3	40								20
095 オナガガモ	16	5										
097 ハビロガモ	1	1										
115 ミコアイサ												1
120 ヒ			1	2	2	1						
123 材カ	1							1				
129 ノリ		1										1
145 チョウゲンボウ		1										
149 コシユクイ					1	1		1	2			
151 キジ		1	1	2	6		1					
176 コドリ				1								
177 イカルドリ		2	1						1	3	1	3
218 イソギ	1		2	1					3	1	3	1
245 コリカモ	39	8									450	8
246 セウロカモ			1	1							1	
296 キジバト	12	8	6	5	7	8	20	8	7	3	7	
302 カッコウ						1						
326 カワセミ	1	1				1		2			2	1
339 ムラサキ		2	1				1					2
344 ヒバリ				8	2	2						
347 ツバメ				2		17	30	8	20			
349 コシアカツバメ											1	
350 イワツバメ						8	30	2				
354 キセキレイ		1		2					1	1		2
355 ハウセキレイ	3	6	17	3	2	1	3	3	3	3	4	3
356 セウロセキレイ	1	4		4		1		1		1		2
363 ヒバリ	3	8	30									2
367 ヒヨドリ	17	3		25		3	12	8	7	20		25
369 モス		3	2	2	3	2			2	3		1
387 ジョウビタビ		3									1	3
405 ツグミ	1	8	4	12								6
410 ウグイス		3	2	5		4	1					2
416 オオソシキ					4	4	3		1			
425 セッカ				2	5	5	2	3				
441 シュウカラ	5	12	15	10	7	5	5	5	3	2	4	10
440 マジロ				2	1		1					
449 マジロ	25	25	24	13	5	8	6	10	1		4	5
461 アオジ	3	8		8							2	2
471 カワラヒラ	35	70	14	7		4	5	6	10	6	10	50
486 シメ	1	2										12
488 スズメ	40	26	12	22	20	42	15	20	50	25	30	110
493 ムクドリ	30	20	32	30	14	63	10	22	60			15
498 オナガ	10			10			3	15	12		25	
503 ハシホウガラ	40	10	7	15	7	15	7	5	7	6	32	25
504 ハシボトガラ	3	2		2		6					1	2
B ドバト	25	8	3		10	23	17	6	7			
出現総羽数	407	457	235	427	121	261	180	193	260	139	1633	364
種類数	33	39	26	34	19	28	22	24	24	16	23	33

## 12. 小宮公園 (2000)

(0005) 園公相録食共 81

田中英吉T,大川征治O・香o、本島てるみm

1999年 月*日	2*2	2*	3*31	4*28	5*25	6*29	7*31	8*3	9*26	10*28	11*29	12*29
開始 時:分	8:45	9:00	7:00	7:10	7:00	7:10	6:15	7:00	7:15	7:30	8:15	8:30
終了 時:分	11:00	11:30	9:20	9:15	8:50	9:00	8:00	9:10	9:20	9:40	10:20	9:50
天候 (前後)	晴	晴	晴	晴	曇晴	曇晴	晴	晴	曇	晴	晴	晴
調査報告者	T	Oo	T	T	T	T	T	Tm	T	T	T	T
087 マカモ										1		
088 カルガモ						1				12	18	
120 トビ		1									1	
123 オオカ		1										
149 コジュケイ	1	2		3	1	1	7		2			
151 キジ			1	4	5	1	1	1			2	
296 キジハト	5	9	3	3	2	4	2	3	1	3	1	
331 アオケラ		2						1				
339 コケラ	1	4	2	1				3	2	1	1	1
344 ヒバリ				1								
347 ツバメ			1	1	17	2	10					
355 ハクセキレイ	2	1								2		
356 セグロセキレイ	1											
367 ヒヨドリ	6	7	8	9	8	7	8	1	1	14	10	17
369 モス		5							2	3	1	
386 ルビビタキ		3										
387 ジョウビタキ	4	5	1							1		
396 トラツグミ			1									
400 アカハラ		1										
402 シロハラ		4										
405 ツグミ	5	6	1	9								2
410 ウグイス		1									1	
427 キビタキ				1								
435 エナガ		6	3									
440 ヤマガラ	4	3	1					1		5		
441 シジュウカラ	10	21	16		8	5		9	2	7	8	
444 ヒシロ								3				
449 ホオシロ	2	4	2		1		1	2			3	
455 カシラダカ	7	26										
461 アオジ	2		1									
471 カワラヒワ	1	7	54			1						8
486 シメ		3										
488 スズメ	108	20	67	25	31	20	8	55	121	12	15	7
493 ムナヅク	11	3	3	15	9	11						
496 カケス		5								1		
498 オナガ				2	5							
503 ハシボソガラス	2	5	7	14	15	3	6	7	7	4	3	6
504 ハシブトガラス	5	8	5	3		11	6	4	7	6	2	2
トハト							2					
出現総羽数	177	163	177	91	102	67	54	89	144	71	66	35
種類数	18	27	18	14	11	12	11	12	9	13	13	6

## 13. 片倉城跡公園 (2000)

(000S) 園公宮小 .S I

小池一男K

2000 月*日	1*29	2*20	3*26	4*29	5*27	6*29	7*22	8*27	9*29	10*31	11*23	12*23
開始 時:分	7:30	7:30	7:30	6:40	7:00	5:30	6:30	6:15	6:00	7:00	7:00	7:30
終了 時:分	9:30	9:30	9:45	9:00	9:15	7:30	9:00	8:30	8:30	8:10	9:15	9:50
天候 (前後)	晴	晴	晴	晴	曇	曇	晴	曇	晴	晴	曇	晴
調査報告者	K	K	K	K	K	K	K	K	K	K	K	K
059 コサキ	1								1			
0627 オサキ										1		
088 カルガモ	13	10	17	10	8	7	17	18	13	12	13	13
089 コガモ	4	4	7							1	1	5
149 コジュケイ			3	2	2	2		1	1	1	2	1
218 イソシギ	1											1
247 セグロカモメ												1
296 キジハト	7	6	8	5	6	5	4	6	7	2	2	4
326 カワセミ			1	1	1		1	1		1		1
331 アオゲラ				1								
339 コゲラ	4	4	6	4	3	6	7	4			4	2
347 ツバメ				3	14	7	4	5				
359 イワツバメ					11							
354 キセキレイ									1	1	1	
355 ハクセキレイ	1	2	4	2		2	1	1		2	1	4
356 セグロセキレイ	1	2	2	2		1	1	2	2	2		
363 タヒバリ		1										
367 ヒヨドリ	18	21	30	24	21	28	47	22	31	50	37	51
369 モズ		1								2		1
386 ルリヒタキ		1										
387 ジョウビタキ		1								2	1	1
405 ツグミ	1	2	6	1								
410 ウグイス	3	2	2		2		3			2	4	3
416 オオヨシキリ					1							
422 センダイムシクイ				1								
430 オオルリ				1								
435 エナガ		6	8									6
440 ヤマカラ	4	6	10						6	4		4
441 シジュウカラ	14	21	28	26	27	16	31	15	21	18	18	19
444 メジロ	14		16	31	18	16	16	13	21	24	24	12
449 ホオジロ		11										
455 カシラダカ			6									2
461 アオジ		4	4								3	3
471 カワラヒワ	15		8				5			23	6	6
486 シメ			1								2	
488 スズメ	66	56	51	61	43	50	40	32	46	53	55	48
493 ムクドリ	3	7	4	7	26	10	27					
498 オナガ				2	4	3			6			
503 ハシホトガラ	10	11	7	3	10	9	6	11	8	5	8	8
504 ハシブトガラ	2	3	1	2	3	2	2	4	2	3	2	2
トハト	42	57	46	12	21	36	12	58	53	41	57	42
出現総羽数	224	239	276	201	221	200	224	193	219	250	241	240
種類数	20	23	24	21	18	16	17	15	15	21	19	24



# 14. 長沼公園(2000)

馬場裕B・百合垂b

2000年月*日	1*23	2*29	3*20	4*30	5*31	6*29	7*31	8*31	9*25	10*30	11*30	12*30
開始 時:分	8:30	8:20	8:30	9:00	8:30	8:30	8:30	8:30	8:25	8:10	8:30	8:15
終了 時:分	12:30	13:00	12:00	12:45	12:00	11:30	11:10	11:40	11:15	12:00	12:15	12:15
天候(前後)	曇	快晴	快晴	晴	雨曇	曇晴	快晴	小雨曇	快晴	晴曇	快晴	曇
調査報告者	Bb	Bb	Bb	b	Bb	b	b	Bb	b	b	Bb	Bb
040 カワウ			1									
054 コイサキ										5		
062 アオサキ					1							
088 カルカモ									3			
120 トビ	3	2							1		2	
123 オオカ											1	
1?? ノスリ	1										1	1
145 ヨウゲンホウ				1	1							
149 コジュケイ	1	5	5	16	8	2	3	9	9	7	1	18
296 キジハト	13	12	6	11	12	8	10	13	9	7	13	13
320 アマツハメ						2						
331 アオケラ	2	1	1		4	3	1	1		3	1	3
336 アカケラ		2		3								1
339 コケラ	8	12	9	9	8	10	1	6	7	18	9	11
347 ツハメ				18	9	12	10	8	2			
350 イワツハメ					2	9						
354 キセキレイ	1	1		2		3	4	1	1	2	3	1
355 ハクセキレイ			1							5		
356 セグロセキレイ	1											
360 ビンズイ	2	4	1									
367 ヒヨドリ	38	34	42	61	74	67	82	55	39	77	82	97
369 モス	3	3	3		1					7	3	
386 ルビータキ	6	3	1								6	3
387 ジョウビタキ	1	1								9	5	
400 アカハラ				1								
402 シロハラ	4	4	3							1	3	4
405 ツグミ	12	14	3								3	5
409 ヤブサメ				2	1					1		
410 ウグイス	5	7	4	13	17	11	17	2	3	20	18	10
422 センダイムシクイ								2				
424 キクイタタキ	3		5								2	
427 キビタキ					1	1			1	2		
430 オオルリ				1								
435 エナガ	44	40	16	8		22		7		50	18	26
438 コガラ	1											
439 ヒカラ	3	4	6					2				2
440 ヤマガラ	26	30	13	4	1			6	7	2	4	2
441 シジュウカラ	47	65	20	36	78	62	17	45	57	83	63	48
444 メジロ	36	22	16	30	42	57	34	64	38	48	35	30
449 ホオジロ	3	3	4	14	15	8	1	4	3	17	10	3
455 カシラダカ	13	18		2							10	11
461 アオシ	18	8	6		1					16	19	29
462 クロシ				2								
471 カラビト	11	16	5	11	12	11	2			7	11	73
483 ウソ			4									
485 イカル	7				4	3	3					
486 シメ	2	4	1	3								6
488 スズメ	23	39	5	27	99	33	5	22	15	45	42	3
493 ムクドリ	2		5	9	15	3			2		5	6
496 カケス	2	5	7	1					1			
498 オナガ			6			1	5			2		
503 ハンボウガラス	3	2	2	3	4		1	4		3	3	2
504 ハシトガラス	23	19	15	41	25	39	38	21	26	47	27	25
B トハト										21	10	
カビチョウ			2	2	2	1	2	2	4	8	4	6
ソウシチョウ			3				3					
出現総羽数	368	380	221	331	437	368	239	274	228	513	414	439
種類数	34	29	32	27	25	22	19	19	19	27	30	27



## (編集メモ)

今回もたくさんの方の原稿が寄せられ無事発行の運びとなりました。特に調査報告は、会員の積極的な働きかけにより、従来粕谷会長が中心であった取りまとめを分担して頂きました。原稿を準備して頂いた会員の方々ご苦労さまでした。さらに多くの会員の参加をお願いします。

本年1月の総会で会の名称に“日野”が加わり、「八王子・日野カワセミ会」となりました。いち日野市民として嬉しいと思う一方、より積極的な参加と責務を感じます。本年からツバメの営巣調査も予定されています、みなさんの積極的な参加をお願いします。

浅川と多摩川が合流する区域の河川改修が完成したと思いや(25号)、今度は左岸で大規模な工事が始まった。アズマネザサや低木の茂みが切り開かれ、流れはきりまわされ、土がむき出しの状態が続いている。同区域で実施した1月の調査では、過去6年間の平均に比べカモ類が種類数で1/2。総数で1/14と惨たんな結果であった。来年こそは、たくさんのカモ類と出会いたいものである(N/ae)

## かわせみ

2001年3月発行 第26号

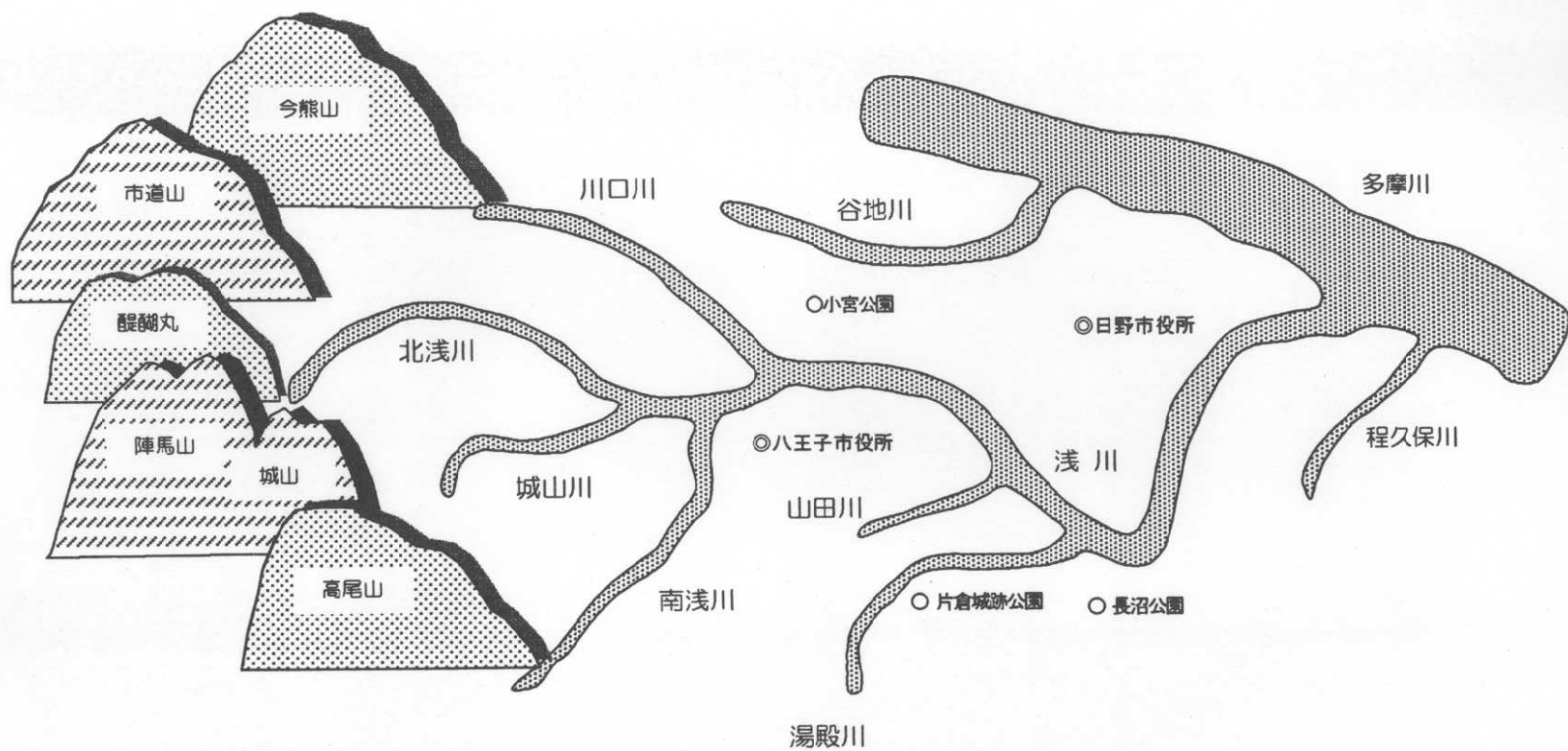
発行 八王子・日野カワセミ会

発行人 粕谷 和夫

編集人 阿江 範彦

連絡先 日野市三沢 2-6-42

E-Mail: CZB14024@nifty.ne.jp



八王子・日野カワセミ会の主な調査範囲





**Hachiōji·Hino**  
**Kawasemikai**